

第4章 公共施設類型分類別の分析

本章では、中分類又は小分類別に主として利用者数やコスト、延床面積といった情報を基に分析を行い、公共施設の現状と今後の課題を明らかにしていきます。

【図・表例とデータの見方】

1. 施設基本情報一覧

公共施設類型分類別の施設の一覧です。施設が所在する地域と施設名称、運営主体、複合施設、延床面積、建築年度と構造の状況を整理しています。

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
コミュニティセンター	〇〇	1	〇〇コミュニティセンター	直営		433	昭和55年度	鉄骨造
	××	2	××コミュニティセンター	直営	●	339	昭和63年度	鉄骨造
公民館	〇〇	1	〇〇中央公民館	直営		996	平成17年度	木造
	〇〇	2	〇〇東地区公民館	直営		692	昭和50年度	鉄筋コンクリート
	△△	3	△△中央公民館	直営		2,581	昭和53年度	鉄筋コンクリート
	△△	4	△△地区公民館	直営		655	昭和62年度	鉄筋コンクリート
その他集会所	〇〇	1	〇〇ふるさと会館	指定管理者		2,023	平成03年度	鉄筋コンクリート

- ◆ 運営主体・・・主として施設の管理や運営を行っている団体を指しています。本表では、本市が運営している場合は「直営」、指定管理者制度を導入している場合は「指定管理者」と表記しています。
- ◆ 指定管理者制度・・・公の施設の管理を、民間事業者を含む自治体以外の団体（指定管理者）に委託することができる制度です。
- ◆ 複合施設・・・一つの建物に、複数の施設が存在するものです。本表では該当する施設に「●」を表示しています。
- ◆ 主要建物建築年度・・・施設内の主要建物が建築された年度を表記しています。
- ◆ 主要建物構造・・・施設内の主要建物の建築構造を表記しています。

2. 市内施設配置図

公共施設類型分類別に、該当施設の市内配置状況を地図情報で明らかにしています。地図情報を基に、公共施設の配置が適切であるかどうかを検討する際の参考とします。



3. 利用度・コスト一覧

公共施設毎に、利用度やコストを明らかにしています。維持管理費と事業運営費の合計を「コスト」、建物の老朽化の進行を表す減価償却費を含めたコストを「フルコスト」、フルコストから利用者等から受け取る収入を差し引いたものを「ネットコスト」として整理しています。

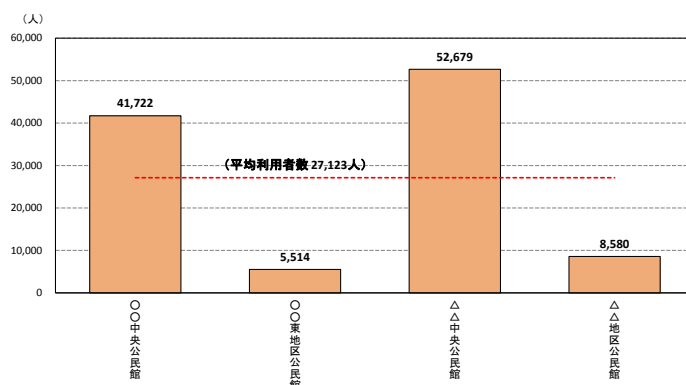
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
コミュニティセンター											
〇〇コミュニティセンター	3,810	11,816	15,627	7,433	2,102	3,677	19,304	2,597	65	19,239	—
××コミュニティセンター	3,819	6	3,826	5,316	719	813	4,640	872	512	4,127	0
小計	9,516	12,936	22,453	43,058	521	9,835	32,288	749	1,248	31,040	0
公民館											
〇〇中央公民館	5,023	6,005	11,028	41,722	264	3,974	15,003	359	61	14,941	—
〇〇東地区公民館	2,938	1,838	4,777	5,514	866	2,491	7,268	1,318	433	6,835	—
△△中央公民館	6,063	498	6,562	52,679	124	8,929	15,491	294	198	15,293	0
△△地区公民館	1,012	520	1,533	8,580	178	2,358	3,891	453	0	3,891	0
小計	54,463	65,091	119,555	326,507	366	65,967	185,522	568	2,725	182,796	0
その他集会所											
〇〇ふるさと会館	16,954	7,785	24,740	38,323	645	7,282	32,023	835	5,015	27,007	—
小計	16,988	9,259	26,248	38,323	684	10,402	36,650	956	5,015	31,634	0
合計	82,498	91,156	173,655	412,688	420	91,003	264,659	641	9,019	255,639	0

- ◆ 維持管理費・・・改修や修繕にかかる費用（修繕費）と、ランニングコスト（光熱水費、土地建物賃貸借料等）の合計額を表記しています。
- ◆ 事業運営費・・・事業を運営するためにかかる費用（人件費、運営業務委託費等）の合計額を表記しています。
- ◆ コ ス ト・・・維持管理費＋事業運営費
- ◆ 利 用 者 数・・・平成 25 年度に施設を利用した人数を表記しています。
- ◆ 減 価 償 却 費・・・建物の取得費用を、建物を使用する期間で除した額を表記しています。
- ◆ フルコスト・・・維持管理費＋事業運営費＋減価償却費
- ◆ ネットコスト・・・維持管理費＋事業運営費＋減価償却費－収入
- ◆ 指定管理料・・・利用料金（制）だけでは管理・運営に係わる経費が賄われない施設等の場合に、行政から指定管理者へ支払われる委託費です。

※ 運営主体が指定管理者の場合、指定管理者の収入・支出を、維持管理費・事業運営費・収入に計上しています。

4. 利用度

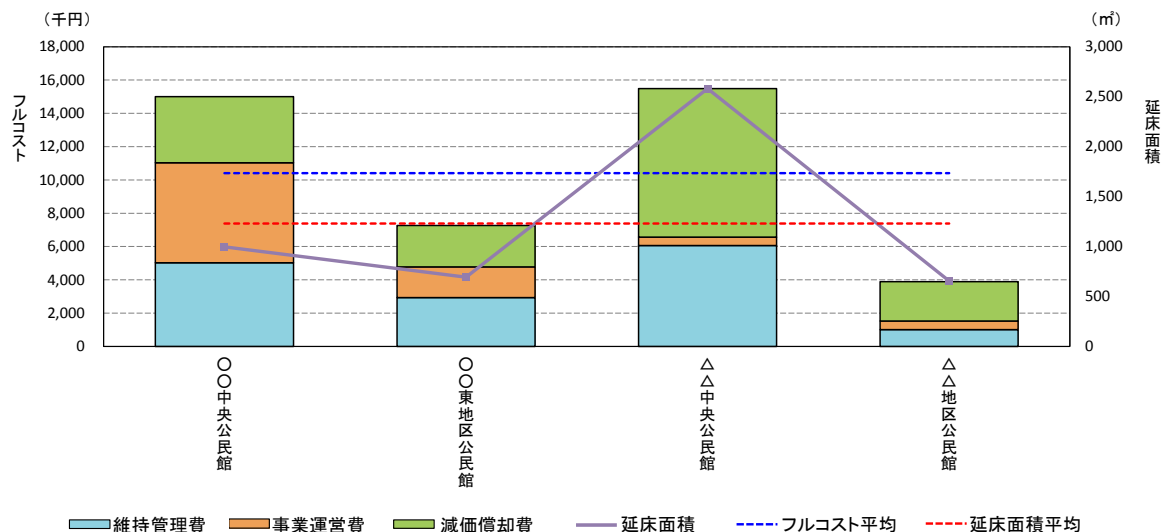
棒グラフで公共施設類型分類別に、各施設の利用者数と平均値を示しています。グラフ形式で比較分析を行うことで、利用度が低い施設の特定などに役立てます。



5. 施設規模

棒グラフでフルコストとその内訳、折れ線で延床面積を示しています。フルコストの平均値を青の破線、延床面積の平均値を赤の破線で示しています。

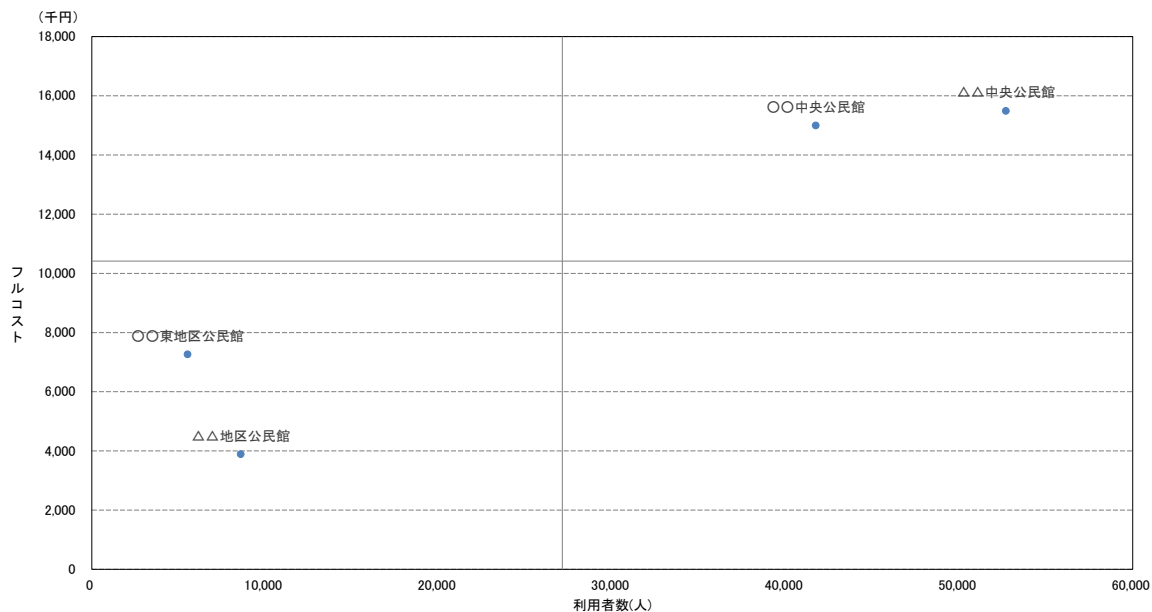
グラフ形式で比較分析を行うことで、類型内の各施設の規模や財政的な影響を把握します。



6. 利用度とコスト状況

散布図で利用者数とフルコストを示しています。縦に引かれたグレーの実線は利用者数の平均値を、横に引かれたグレーの実線はフルコストの平均値を示しています。

2軸で表示することにより、利用度に比べて多くのコストがかかっている公共施設の有無等を把握します。



1 集会施設の状況

表 4-1-1 集会施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
地区公民館	大田原	1	大田原東地区公民館	直営		810	平成 4年度	鉄骨造
	大田原	2	大田原西地区公民館	直営		1,398	昭和 63年度	鉄筋コンクリート
	金田	3	金田北地区公民館	直営		860	平成 15年度	鉄骨造
	金田	4	金田南地区公民館(大田原市農業者健康管理センター)	直営	●	1,213	昭和 56年度	鉄骨造
	親園	5	親園地区公民館(農村環境改善センター)	直営		1,039	平成 1年度	鉄骨コンクリート
	野崎	6	野崎地区公民館(野崎研修センター)	直営		654	昭和 63年度	鉄骨造
	佐久山	7	佐久山地区公民館	直営		589	平成 2年度	鉄骨造
	湯津上	8	湯津上地区公民館(農村環境改善センター)	直営		1,989	平成 2年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	9	黒羽・川西地区公民館	直営	●	806	平成 20年度	鉄骨造
	川西	10	黒羽・川西地区公民館公会堂	直営		692	昭和 35年度	鉄骨造
	両郷	11	両郷地区公民館	直営	●	384	平成 21年度	鉄骨造
	須賀川	12	須賀川地区公民館(農業構造改善センター)	直営	●	494	平成 1年度	木造
コミュニティセンター	大田原	1	市民交流センター	直営	●	1,011	平成 25年度	鉄筋コンクリート
	湯津上	2	佐良土多目的交流センター	直営		390	平成 17年度	鉄骨造

地区公民館は 12 施設あり、延床面積は合計 10,928 ㎡です。

コミュニティセンターは 2 施設あり、延床面積は合計 1,401 ㎡です。

図 4-1-1 集会施設の配置状況

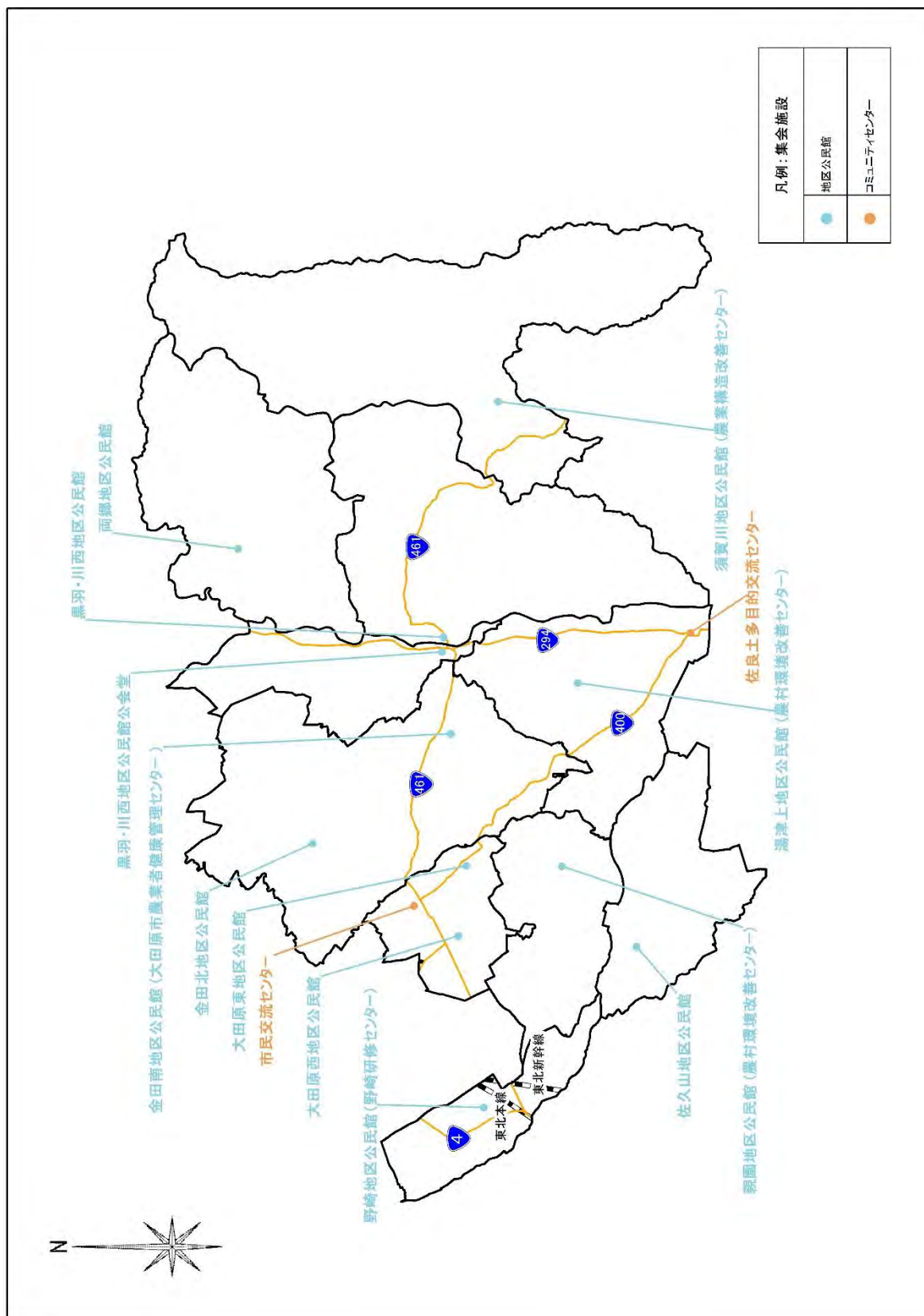


表 4-1-2 集会施設の利用度とコストの一覧

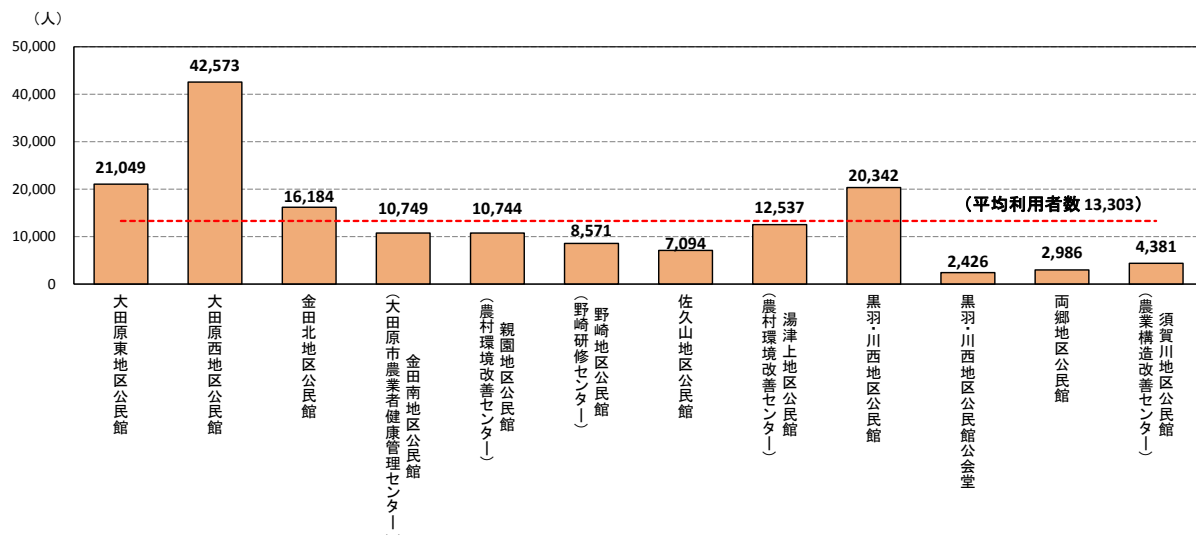
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
地区公民館											
大田原東地区公民館	1,732	8,180	9,912	21,049	470	7,297	17,209	817	6	17,203	—
大田原西地区公民館	4,963	3,528	8,492	42,573	199	7,228	15,720	369	0	15,720	10,401
金田北地区公民館	5,379	3,409	8,788	16,184	543	5,335	14,123	872	9	14,113	—
金田南地区公民館 (大田原市農業者健康管理センター)	4,171	7,842	12,014	10,749	1,117	5,592	17,606	1,637	0	17,606	—
親園地区公民館(農村環境改善センター)	3,363	9,428	12,792	10,744	1,190	8,283	21,075	1,961	0	21,075	—
野崎地区公民館(野崎研修センター)	1,727	11,460	13,188	8,571	1,538	4,515	17,704	2,065	0	17,704	—
佐久山地区公民館	2,752	8,081	10,833	7,094	1,527	5,513	16,346	2,304	0	16,346	—
湯津上地区公民館(農村環境改善センター)	3,641	10,552	14,194	12,537	1,132	6,554	20,748	1,654	120	20,628	—
黒羽・川西地区公民館	1,338	1,142	2,481	20,342	121	642	3,123	153	0	3,123	—
黒羽・川西地区公民館公会堂	790	0	790	2,426	325	0	790	325	0	790	—
両郷地区公民館	0	8,846	8,846	2,986	2,962	3,089	11,936	3,997	0	11,936	—
須賀川地区公民館(農業構造改善センター)	0	1,255	1,255	4,381	286	4,659	5,915	1,350	0	5,915	—
小計	29,861	73,727	103,589	159,636	648	58,711	162,300	1,016	136	162,164	10,401
コミュニティセンター											
市民交流センター	21,556	8,414	29,971	9,945	3,013	0	29,971	3,013	544	29,426	—
佐良土多目的交流センター	3,206	0	3,206	2,000	1,603	3,257	6,463	3,231	305	6,158	—
小計	24,763	8,414	33,178	11,945	2,777	3,257	36,435	3,050	850	35,585	0
合計	54,625	82,142	136,767	171,581	797	61,968	198,736	1,158	986	197,749	10,401

地区公民館の延利用者数の合計は159,636人で、施設にかかるフルコストは合計162,300千円です。

コミュニティセンターの延利用者数の合計は11,945人で、施設にかかるフルコストは合計36,435千円です。

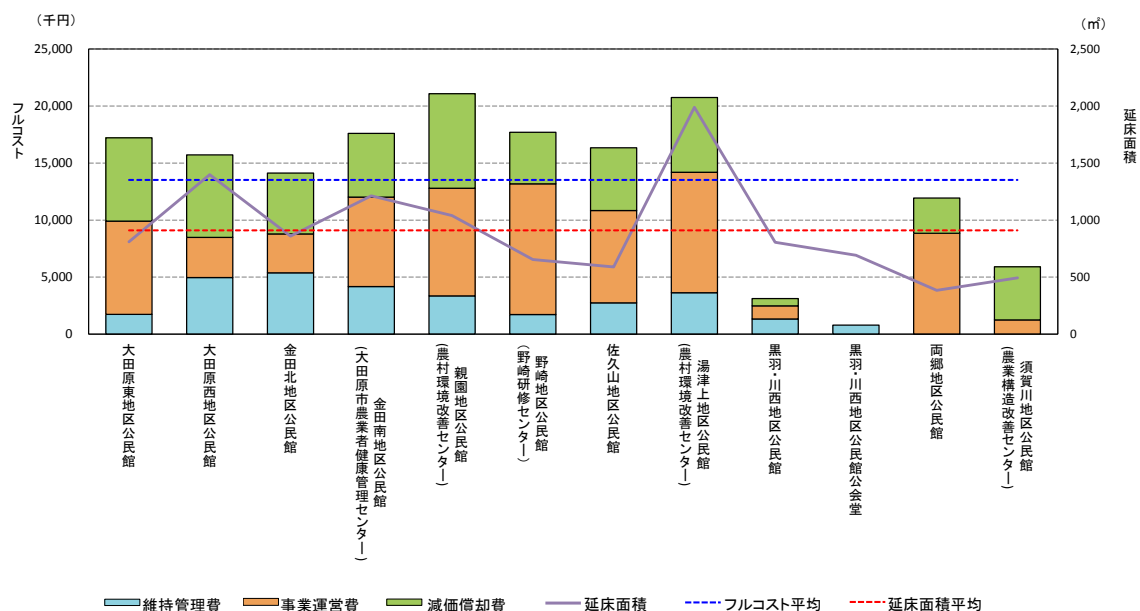
① 〔集会施設〕地区公民館の状況

図 4-1-2 地区公民館の利用者数



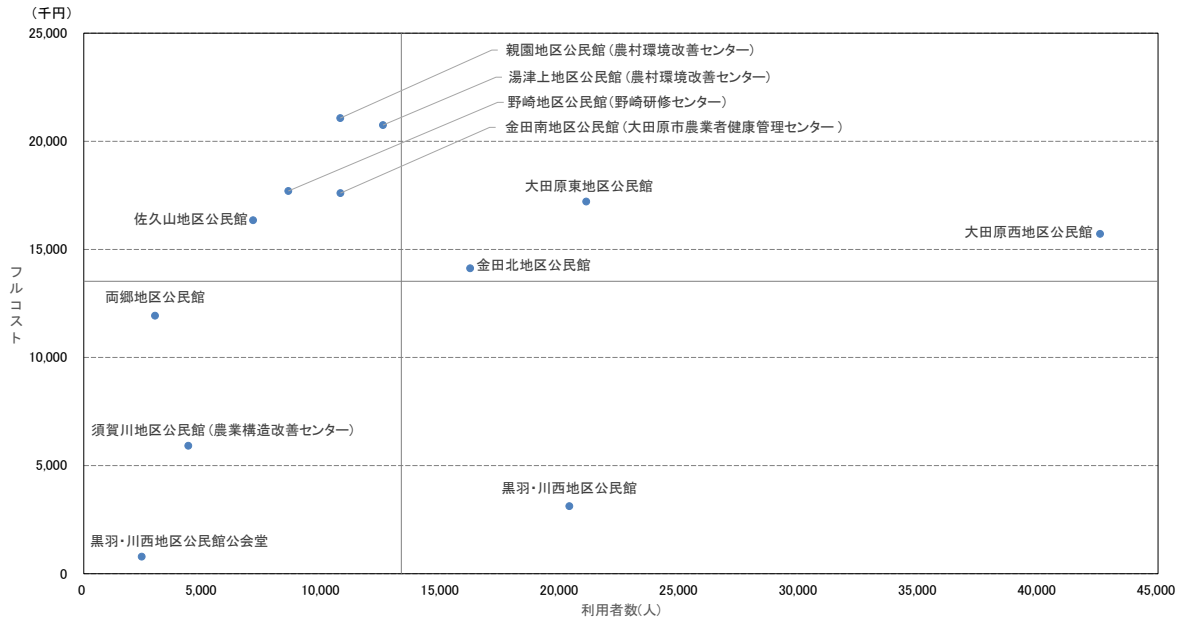
地区公民館のうち、年間の利用者数が最も多いのは、大田原西地区公民館の 42,573 人で、次いで大田原東地区公民館の 21,049 人です。最も利用者数が少ないのは、黒羽・川西地区公民館公会堂の 2,426 人で、次いで両郷地区公民館の 2,986 人です。

図 4-1-3 地区公民館のフルコストと延床面積



地区公民館のうち、延床面積が最も広いのは、湯津上地区公民館(農村環境改善センター)の 1,989 ㎡で、次いで大田原西地区公民館の 1,398 ㎡です。また、地区公民館のうち、フルコストが最も高いのは、親園地区公民館(農村環境改善センター)の 21,075 千円で、次いで湯津上地区公民館(農村環境改善センター)の 20,748 千円です。

図 4-1-4 地区公民館の利用者数とフルコスト



地区公民館は、各地域に設置しており、市民活動の拠点として位置付けられる施設で、全て本市による運営管理です。

昭和 50 年代に建築したものなど、老朽化が進んでいる施設もみられます。利用者数は施設により異なるため、今後の更新を検討するにあたっては、利用者数の状況を適切に踏まえた規模とするなどの検討が必要です。

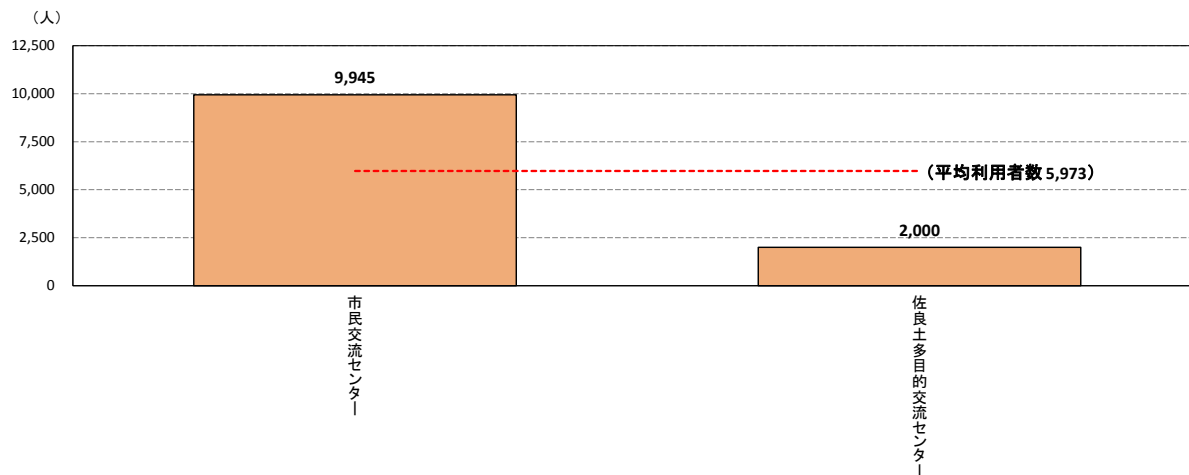
また、市民活動の拠点となる施設であるため、他の施設が有している機能を集約するなどの検討も必要です。

利用者数とフルコストの関係では、両郷地区公民館、佐久山地区公民館、野崎地区公民館（野崎研修センター）は、利用者数に比べてフルコストが高く、コスト面での運営方法等の見直しが必要です。

また、黒羽・川西地区公民館公会堂は、他の公民館と比べて利用者数が少なく、昭和 35 年度に建築されていることから老朽化も進んでいるため、統廃合等を含めた検討が必要です。

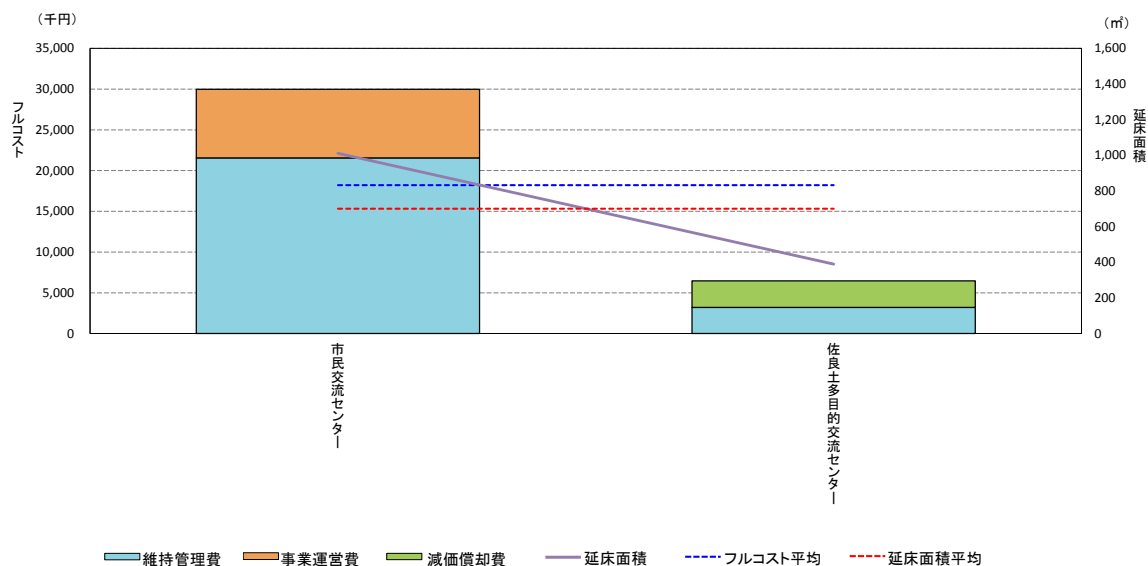
② 〔集会施設〕コミュニティセンターの状況

図 4-1-5 コミュニティセンターの利用者数



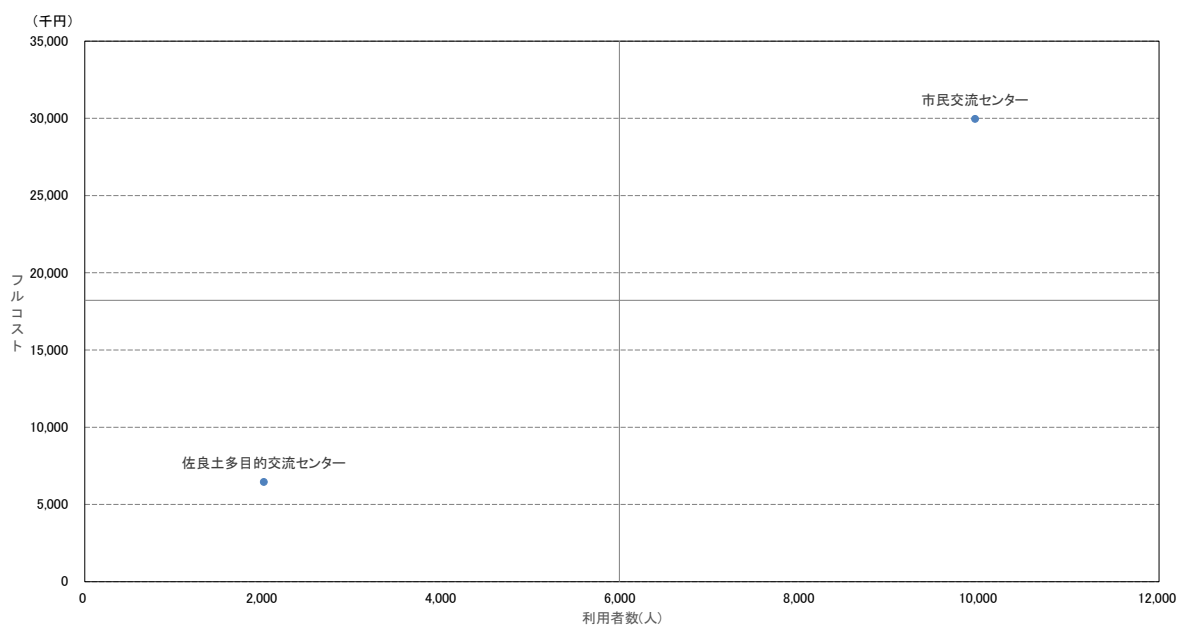
コミュニティセンターの年間利用者数は、市民交流センターが 9,945 人であり、佐良土多目的交流センターが 2,000 人です。

図 4-1-6 コミュニティセンターのフルコストと延床面積



コミュニティセンターの延床面積は、市民交流センターが 1,011 ㎡で、佐良土多目的交流センターが 390 ㎡です。また、フルコストは、市民交流センターが 29,971 千円で、佐良土多目的交流センターが 6,463 千円です。

図 4-1-7 コミュニティセンターの利用者数とフルコスト



コミュニティセンターは2施設あり、どちらも本市による運営管理です。また、市民交流センターは平成25年度建築、佐良土多目的交流センターは平成17年度建築と、比較的近年に建築された施設です。

佐良土多目的交流センターは、利用者数が年間2,000人と利用度が低いため、地区公民館とも合わせて、各地域で必要な集会機能の精査が必要な状況です。

また、利用者数とフルコストの関係では、市民交流センターはフルコストが高く、特に維持管理費が高いため、コスト面での運営方法等の見直しが必要です。

2 文化施設の状況

表 4-2-1 文化施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
文化会館・ホール	大田原	1	総合文化会館	直営		2,226	昭和 44年度	鉄筋コンクリート
	大田原	2	那須野が原ハーモニーホール	指定管理者		8,909	平成 6年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	3	ピアートホール	直営	●	4,339	平成 6年度	鉄筋コンクリート
文化系施設	両郷	1	大田原市芸術文化研究所	直営		2,550	平成 9年度	鉄骨造

文化会館・ホールは 3 施設あり、延床面積は合計 15,474 ㎡です。

文化系施設は 1 施設あり、延床面積は合計 2,550 ㎡です。

図 4-2-1 文化施設の配置状況

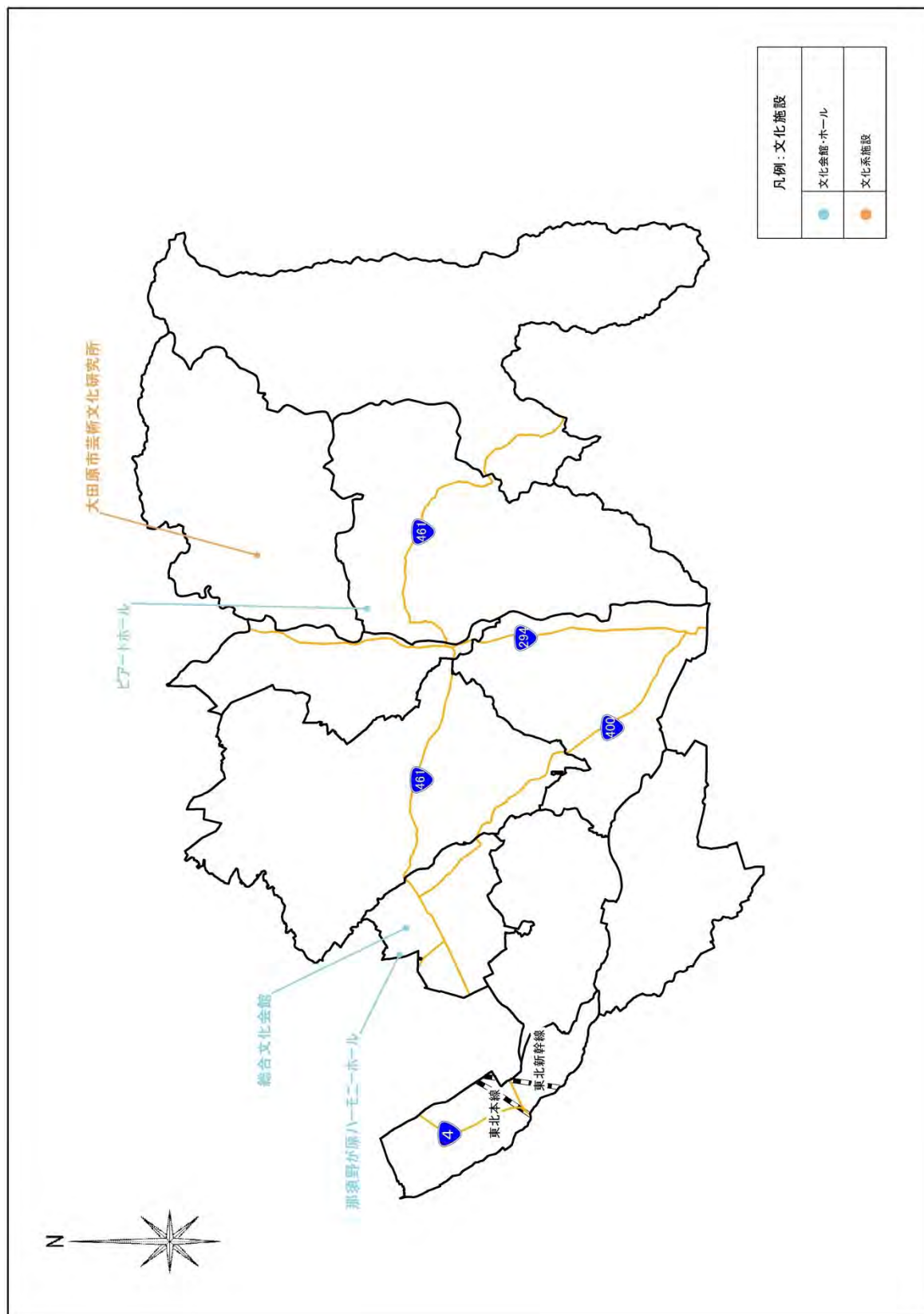


表 4-2-2 文化施設の利用度とコストの一覧

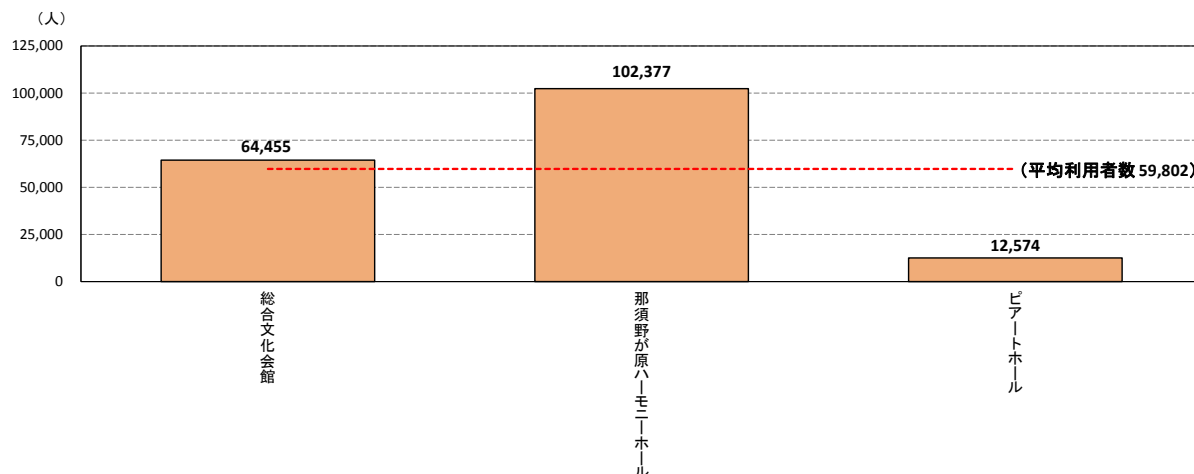
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
文化会館・ホール											
総合文化会館	18,662	14,082	32,745	64,455	508	11,783	44,528	690	1,587	42,940	—
那須野が原ハーモニーホール	224,616	265,334	489,950	102,377	4,785	162,944	652,895	6,377	464,394	188,500	111,600
ピアートホール	25,453	16,923	42,376	12,574	3,370	45,990	88,366	7,027	2,490	85,876	—
小計	268,732	296,340	565,072	179,406	3,149	220,717	785,790	4,379	468,472	317,317	111,600
文化系施設											
大田原市芸術文化研究所	3,607	2,106	5,713	—	—	21,387	27,101	—	0	27,101	—
小計	3,607	2,106	5,713	0	0	21,387	27,101	0	0	27,101	0
合計	272,339	298,446	570,786	179,406	3,181	242,105	812,892	4,531	468,472	344,419	111,600

文化会館・ホールの延利用者数の合計は 179,406 人で、施設にかかるフルコストは合計 785,790 千円です。

文化系施設にかかるフルコストは 27,101 千円です。

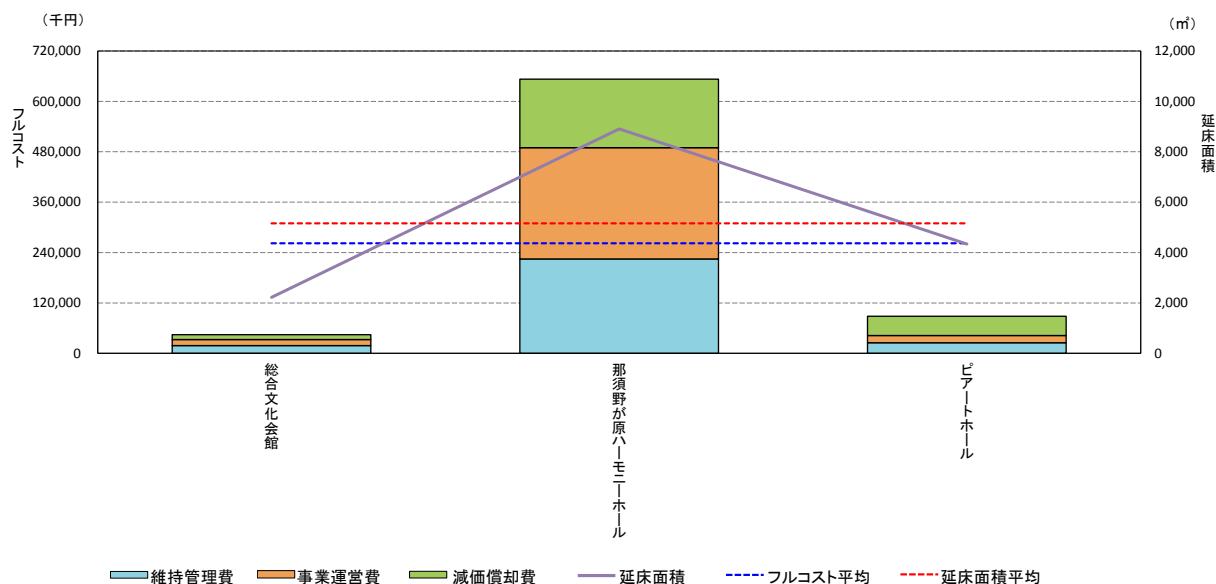
① 〔文化施設〕文化会館・ホールの状況

図 4-2-2 文化会館・ホールの利用者数



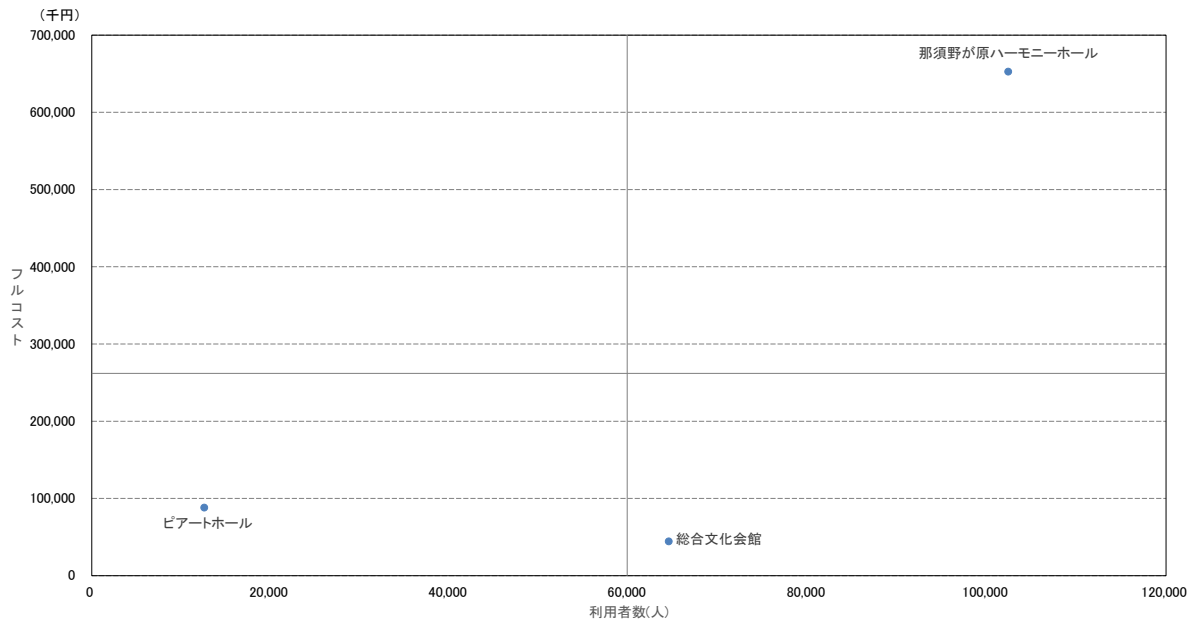
文化会館・ホールのうち、年間の利用者数が最も多いのは、那須野が原ハーモニーホールの 102,377 人で、次いで総合文化会館の 64,455 人です。なお、最も利用者数が少ないのは、ピアートホールの 12,574 人です。

図 4-2-3 文化会館・ホールのフルコストと延床面積



文化会館・ホールのうち、延床面積が最も広いのは、那須野が原ハーモニーホールの 8,909 ㎡で、次いでピアートホールの 4,339 ㎡です。また、文化会館・ホールのうち、フルコストが最も高いのは、那須野が原ハーモニーホールの 652,895 千円で、次いでピアートホールの 88,366 千円です。

図 4-2-4 文化会館・ホールの利用者数とフルコスト



文化会館・ホールは3施設あり、那須野が原ハーモニーホールは指定管理者による運営管理、他の2施設は本市による運営管理です。

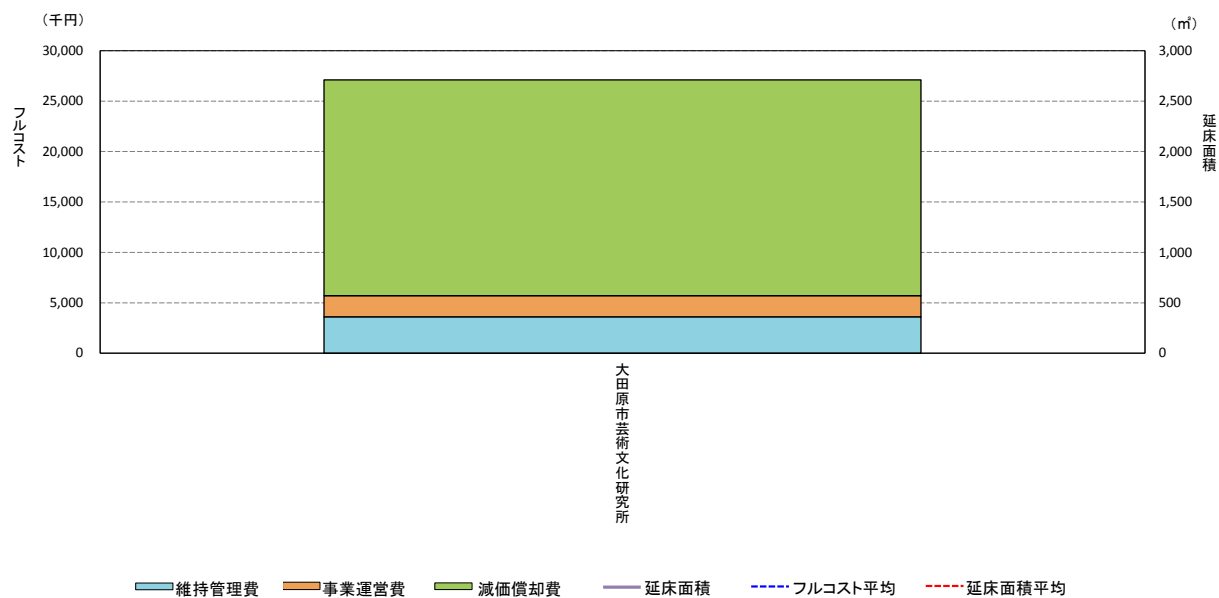
総合文化会館は、昭和40年代建築で老朽化が進んでいます。また、ピアートホールは年間利用者数12,574人に対して、フルコストは88,366千円となっており、年間利用者一人当たりのフルコストは7,027円と、総合文化会館の690円に対して高い数値となっています。減価償却費が主な要因ですが、建替えに要する費用がそれだけ多額であることを示しています。

ピアートホールは黒羽図書館、黒羽保健センター等、他の施設と複合化された施設であり、今後の当施設の維持運営にあたっては、各施設の利用者数、維持管理費用と今後の人口動向を踏まえて運営していくことが重要です。

さらに、各施設とも減価償却費が数千万円から億円単位で発生していることから、将来の建替え時には多額の費用負担が見込まれます。現状では、総合文化会館を除いて老朽化が逼迫しているという状況ではありませんが、各施設の長寿命化を図るための、予防保全的な維持修繕といった取組も必要です。

② 「文化施設」文化系施設の状況

図 4-2-5 文化系施設のフルコストと延床面積



大田原市芸術文化研究所の延床面積は 2,550 ㎡で、フルコストは 27,101 千円です。

3 図書館の状況

表 4-3-1 図書館の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
図書館	大田原	1	大田原市立大田原図書館	指定管理者	●	1,830	平成 25年度	鉄筋コンクリート
	湯津上	2	大田原市立湯津上庁舎図書室	指定管理者	●	250	平成 16年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	3	大田原市立黒羽図書館	指定管理者	●	1,182	平成 7年度	鉄筋コンクリート

図書館は3施設あり、延床面積は合計 3,262 ㎡です。

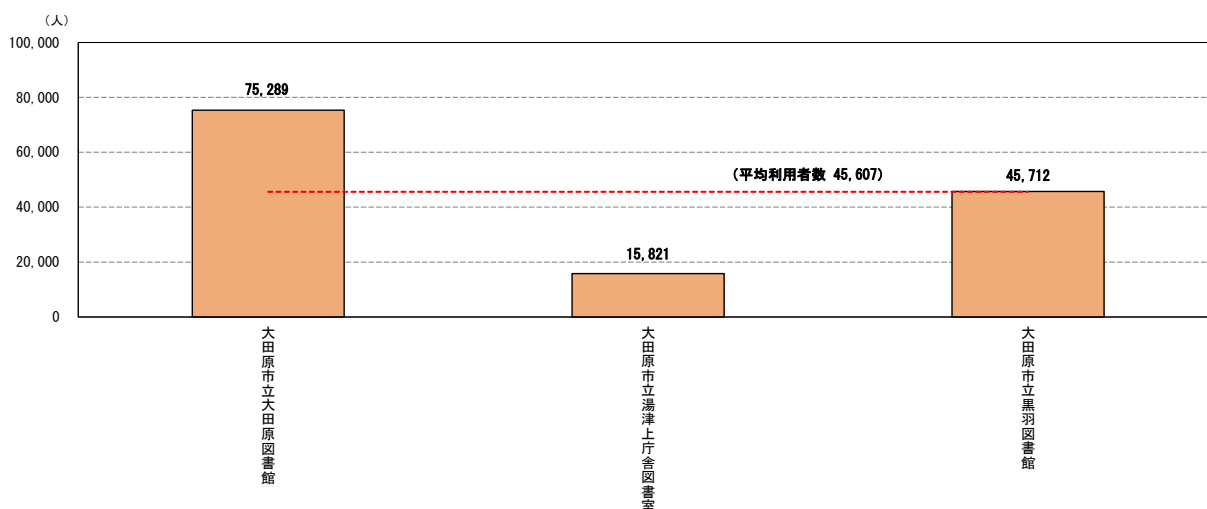
表 4-3-2 図書館の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
図書館											
大田原市立大田原図書館	19,024	0	19,024	75,289	252	0	19,024	252	0	19,024	115,753
大田原市立湯津上庁舎図書室	2,599	0	2,599	15,821	164	50	2,649	167	0	2,649	—
大田原市立黒羽図書館	12,288	0	12,288	45,712	268	3,192	15,480	338	5	15,474	—
小計	33,911	0	33,911	136,822	247	3,243	37,154	271	5	37,148	115,753
合計	33,911	0	33,911	136,822	247	3,243	37,154	271	5	37,148	115,753

図書館の延利用者数は合計 136,822 人で、施設にかかるフルコストは合計 37,154 千円です。

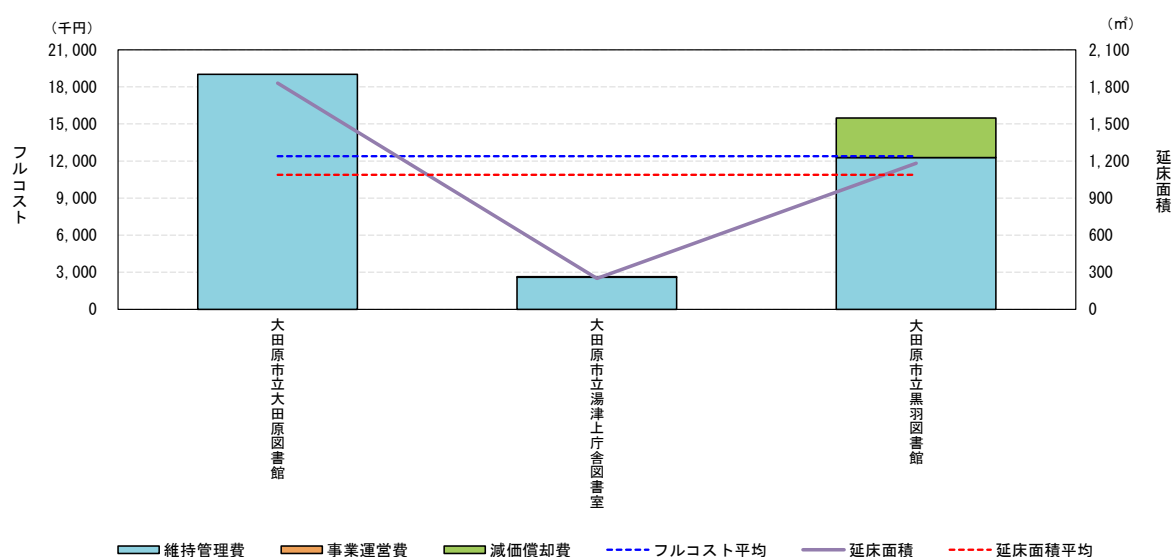
① 〔図書館〕図書館の状況

図 4-3-2 図書館の利用者数



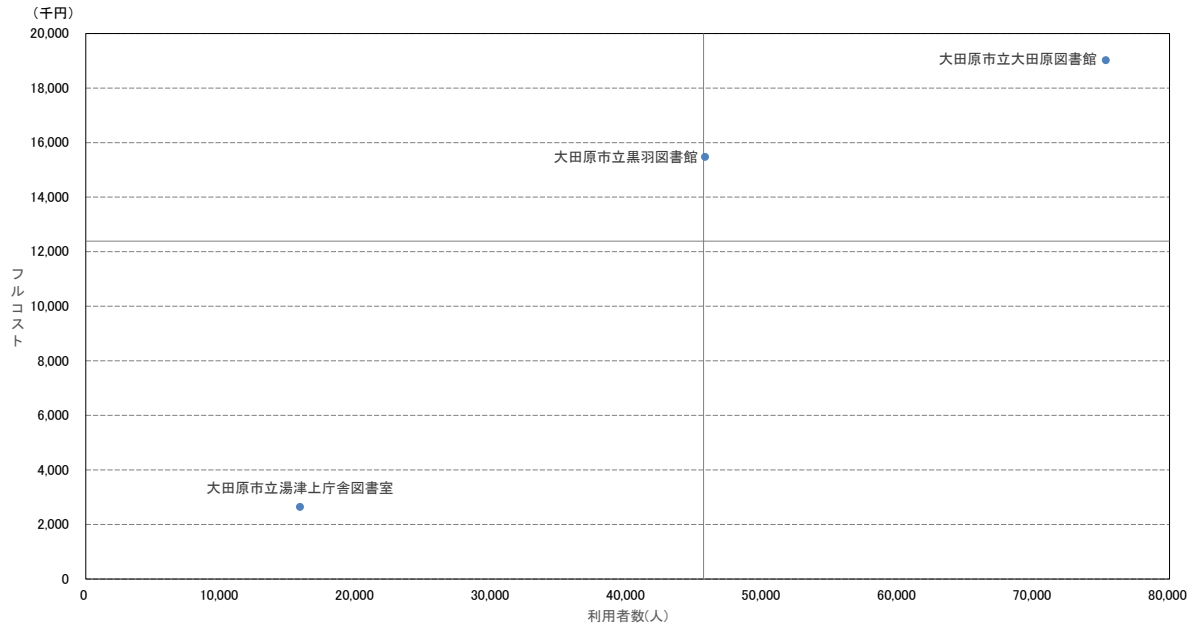
図書館のうち、年間の利用者数が最も多いのは、大田原市立大田原図書館の 75,289 人で、次いで大田原市立黒羽図書館の 45,712 人です。また、最も利用者数が少ないのは、大田原市立湯津上庁舎図書室の 15,821 人です。

図 4-3-3 図書館のフルコストと延床面積



図書館のうち、延床面積が最も広いのは、大田原市立大田原図書館の 1,830 ㎡で、次いで大田原市立黒羽図書館の 1,182 ㎡です。また、フルコストが最も高いのも、大田原市立大田原図書館の 19,024 千円で、次いで大田原市立黒羽図書館の 15,480 千円です。

図 4-3-4 図書館の利用者数とフルコスト



図書館は、大田原地域、湯津上地域、黒羽地域にそれぞれ設置しており、全て指定管理者による運営管理です。

湯津上地域の湯津上庁舎図書室は、他の図書館に比べて利用者が少ない状況です。また、湯津上庁舎図書室は、湯津上庁舎の一部を図書室として利用しているため、今後の利用者数の動向によっては、図書室以外のスペースを活用するといった検討も必要です。

年間利用者一人当たりのフルコストは、黒羽図書館が 338 円、大田原図書館が 252 円、湯津上庁舎図書室が 167 円となっています。また、3 つの図書館を一括して指定管理であり、年間の指定管理料は 115,753 千円となっています。

図書館は、各館の今後の利用者数の動向、施設のあり方、指定管理料といった点を踏まえた検討が必要です。

4 博物館等の状況

表 4-4-1 博物館等の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
歴史博物館・ 郷土資料館	金田	1	那須与一伝承館	直営		1,997	平成 18年度	鉄筋コンクリート
	親園	2	親園民具等展示室	直営		210	昭和 45年度	鉄骨コンクリート
	湯津上	3	なす風土記の丘湯津上資料館	直営		600	平成 3年度	鉄筋コンクリート
	湯津上	4	下侍塚休憩所	直営		262	平成 18年度	木造
	湯津上	5	歴史民俗資料館	直営		343	昭和 54年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	6	黒羽芭蕉の館	直営		969	平成 1年度	木造
	川西	7	郷土資料館くらしの館	直営		221	平成 18年度	木造
社会教育系施設	大田原	1	大田原市少年指導センター	直営	●	32	平成 16年度	軽量鉄骨造
	大田原	2	大田原市生涯学習センター	直営		1,807	昭和 56年度	鉄筋コンクリート
	佐久山	3	ふれあいの丘	指定管理者		8,614	平成 6年度	鉄筋コンクリート

歴史博物館・郷土資料館は 7 施設あり、延床面積は合計 4,602 ㎡です。

社会教育系施設は 3 施設あり、延床面積は合計 10,453 ㎡です。

図 4-4-1 博物館等の配置状況

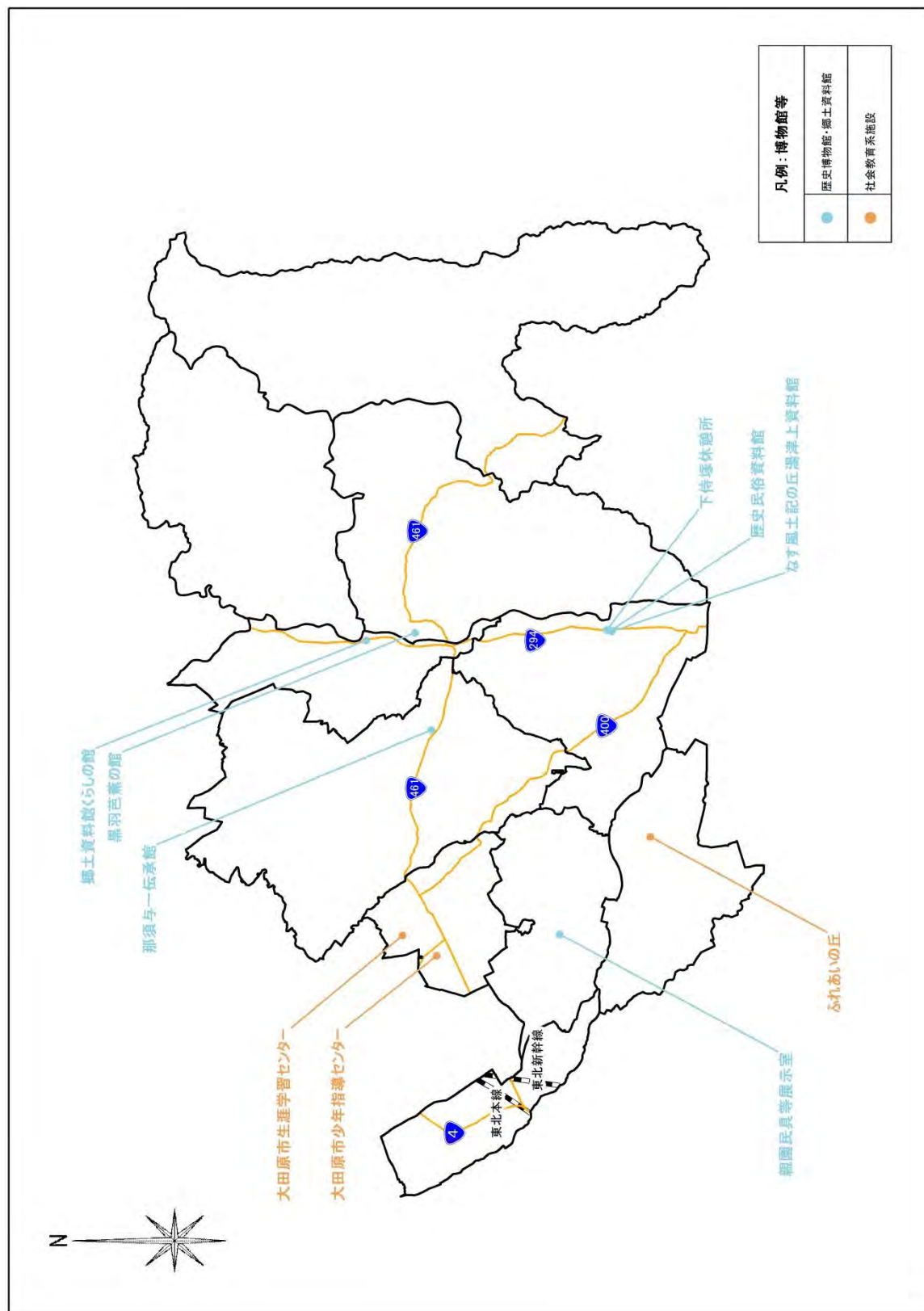


表 4-4-2 博物館等の利用度とコストの一覧

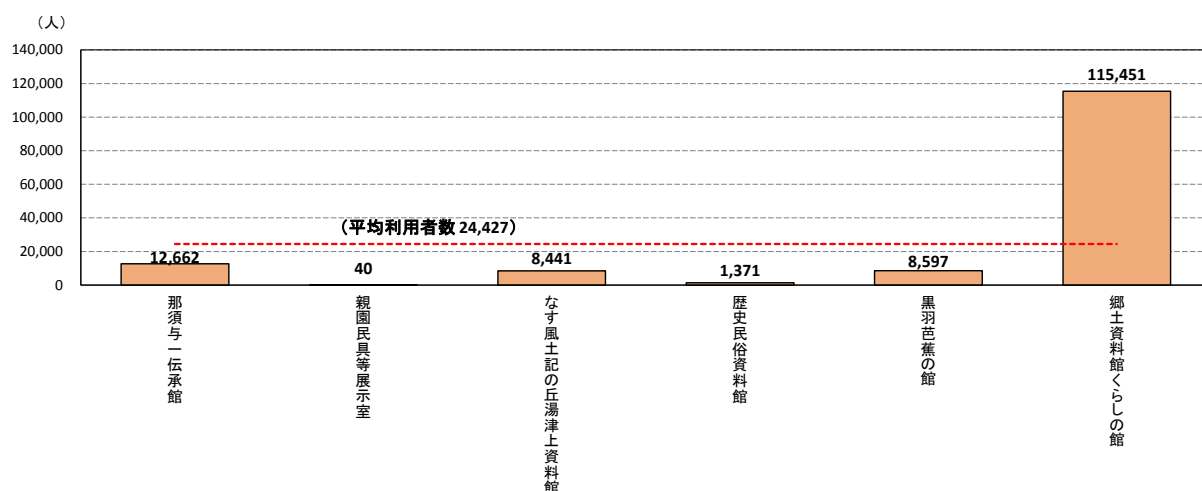
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
歴史博物館・郷土資料館											
那須与一伝承館	20,677	12,946	33,624	12,662	2,655	29,098	62,722	4,953	4,092	58,629	—
親園民具等展示室	7	0	7	40	186	0	7	186	0	7	—
なす風土記の丘湯津上資料館	6,257	10,267	16,525	8,441	1,957	1,860	18,386	2,178	201	18,185	—
下侍塚休憩所	1,177	0	1,177	—	—	1,556	2,733	—	0	2,733	—
歴史民俗資料館	5,443	6,220	11,663	1,371	8,507	1,481	13,144	9,587	0	13,144	—
黒羽芭蕉の館	6,809	7,135	13,945	8,597	1,622	13,401	27,347	3,180	1,597	25,749	—
郷土資料館ぐらしの館	1,166	1,136	2,302	115,451	19	1,986	4,288	37	0	4,288	—
小計	41,539	37,706	79,245	146,562	540	49,384	128,630	877	5,891	122,738	0
社会教育系施設											
大田原市少年指導センター	0	10,302	10,302	—	—	7	10,310	—	0	10,310	—
大田原市生涯学習センター	225	0	225	93,806	2	8,360	8,586	91	52	8,534	—
ふれあいの丘	73,654	130,479	204,133	101,985	2,001	80,297	284,430	2,788	154,570	129,859	42,500
小計	73,879	140,781	214,661	195,791	1,096	88,665	303,327	1,549	154,622	148,704	42,500
合計	115,419	178,488	293,907	342,353	858	138,050	431,957	1,261	160,514	271,443	42,500

歴史博物館・郷土資料館の延利用者数は合計 146,562 人で、施設にかかるフルコストは合計 128,630 千円です。

社会教育系施設の延利用者数は合計 195,791 人で、施設にかかるフルコストは合計 303,327 千円です。

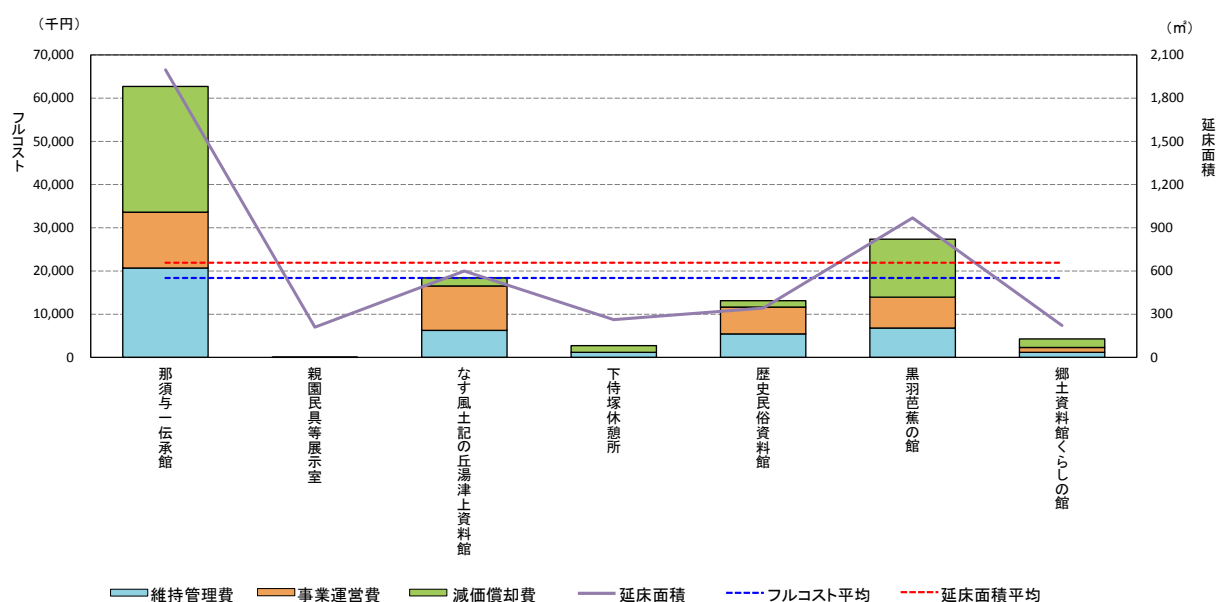
① 〔博物館等〕 歴史博物館・郷土資料館の状況

図 4-4-2 歴史博物館・郷土資料館の利用者数



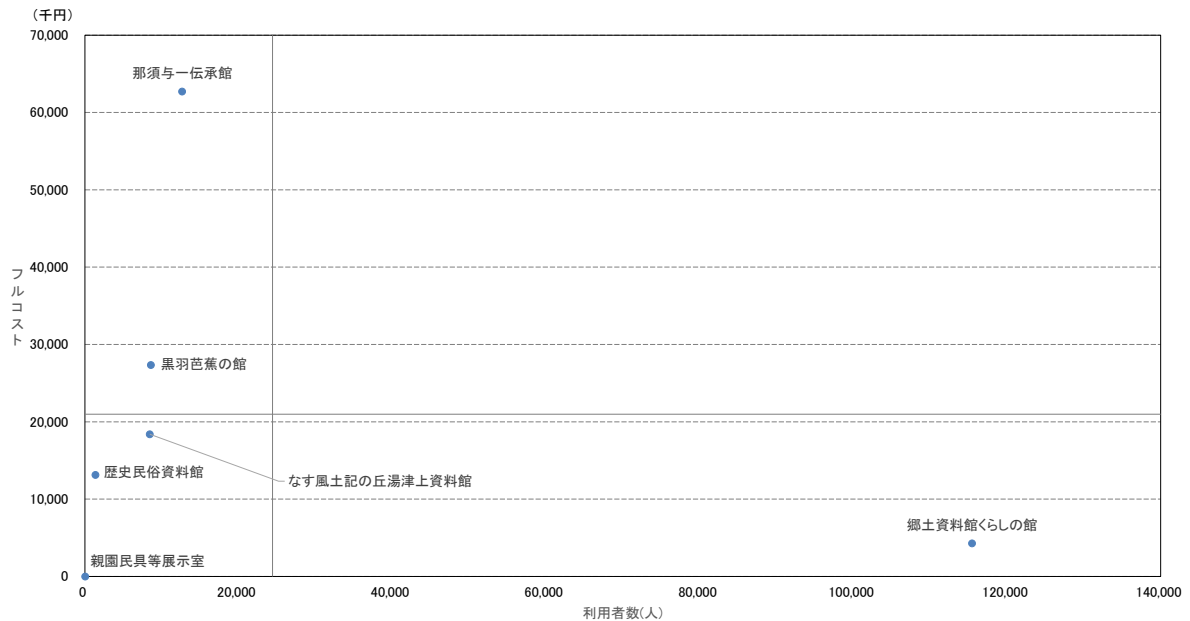
歴史博物館・郷土資料館のうち、年間の利用者数が最も多いのは、郷土資料館くらしの館の 115,451 人であり、次いで那須与一伝承館の 12,662 人です。また、最も利用者数が少ないのは、親園民具等展示室の 40 人で、次いで歴史民俗資料館の 1,371 人です。

図 4-4-3 歴史博物館・郷土資料館のフルコストと延床面積



歴史博物館・郷土資料館のうち、延床面積が最も広いのは、那須与一伝承館の 1,997 ㎡で、次いで黒羽芭蕉の館の 969 ㎡です。また、フルコストが最も高いのも、那須与一伝承館の 62,722 千円で、次いで黒羽芭蕉の館の 27,347 千円です。

図 4-4-4 歴史博物館・郷土資料館の利用者数とフルコスト



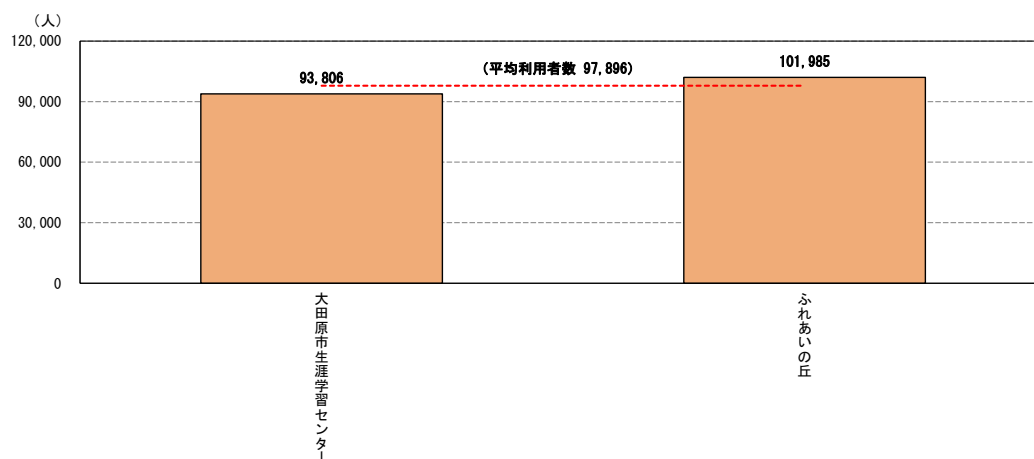
歴史博物館・郷土資料館のうち、年間利用者数が最も多いのは、郷土資料館くらしの館で 115,451 人、最も少ないのは、親園民具等展示室で 40 人です。また、利用者一人当たりのフルコストが最も高いのは、歴史民俗資料館で 9,587 円、次いで那須与一伝承館で 5,779 円となっています。どちらも、コストに対して利用者数が少ないことが要因です。特に親園民具等展示室、歴史民俗資料館は、年間の利用者数が、それぞれ 40 人、1,371 人と少ない状況です。

貴重な収蔵物を適切に管理し、文化の継承が適切に行われるようにしていくことは博物館の使命です。しかし、その使命を果たすためには経済性、効率性を追求していくことも必要で、設備や人材を集中して管理するなどの方策も検討することが重要です。

また、収蔵品の展示にあたっては、施設での展示に拘ることなく、役所や駅などの公共施設、また、学校などに展示することで、市民により身近な環境で郷土文化に触れる機会を設けることも考えられます。

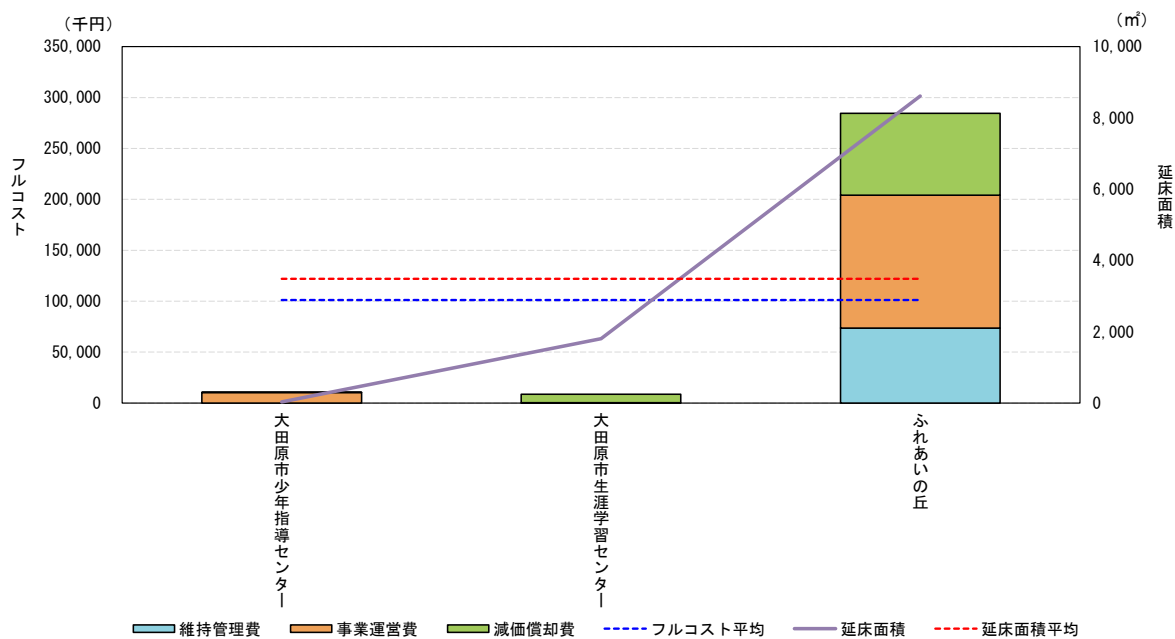
② 〔博物館等〕社会教育施設の状況

図 4-4-5 社会教育施設の利用者数



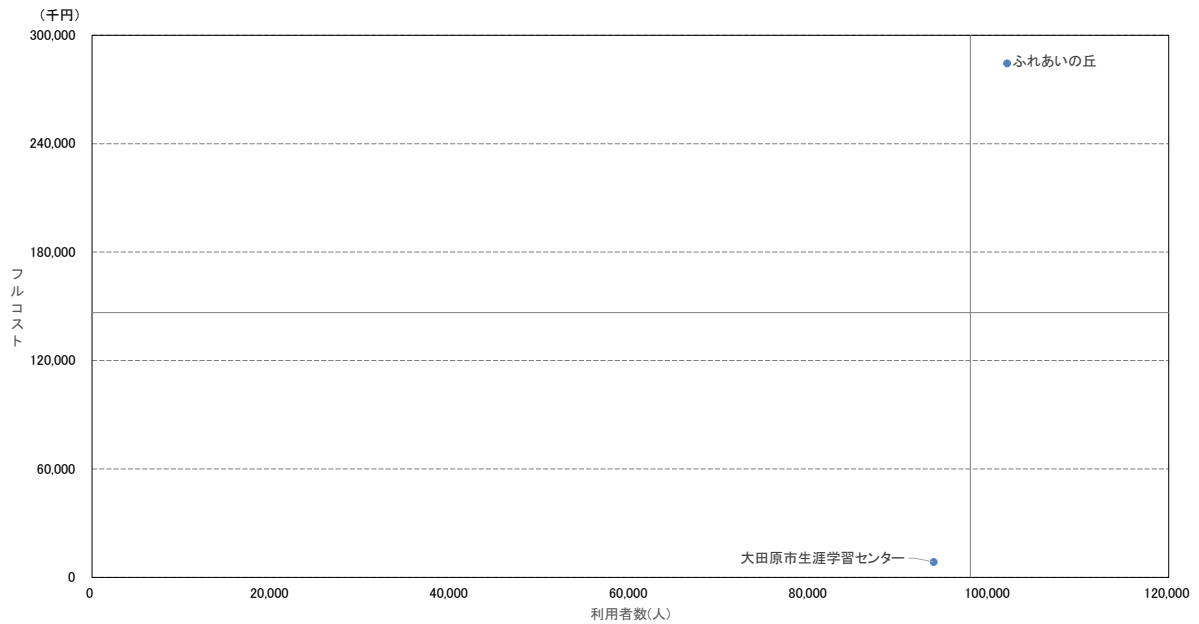
社会教育施設の年間の利用者数は、大田原市生涯学習センターが 93,806 人であり、ふれあいの丘が 101,985 人です。

図 4-4-6 社会教育施設のフルコストと延床面積



社会教育施設のうち、延床面積が最も広いのは、ふれあいの丘の 8,614 ㎡で、次いで大田原市生涯学習センターの 1,807 ㎡です。また、社会教育施設のうち、フルコストが最も高いのは、ふれあいの丘の 284,430 千円で、次いで大田原市少年指導センターの 10,310 千円です。

図 4-4-7 社会教育系施設の利用者数とフルコスト



社会教育系施設の年間利用者数は、ふれあいの丘で 101,985 人、大田原市生涯学習センターで 93,806 人となっています。なお、ふれあいの丘は指定管理者による運営管理、その他の 2 施設は本市による運営管理です。

大田原市生涯学習センターは、昭和 56 年度建築で老朽化が進んでおり、今後の建替えや修繕の方針について対応が必要です。

なお、大田原市少年指導センターは、大志館すばるとの複合施設です。

5 スポーツ施設の状況

表 4-5-1 スポーツ施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
市民プール	大田原	1	大田原市屋内温水プール	指定管理者		2,549	平成 3 年度	鉄筋コンクリート
市民体育館	大田原	1	大田原体育館	直営		2,423	昭和 46 年度	鉄骨造
	黒羽	2	黒羽体育館	直営		4,260	昭和 53 年度	鉄骨鉄筋コンクリート
	須賀川	3	須賀川体育館	直営		976	昭和 60 年度	鉄骨造
スポーツ施設・ 運動公園	大田原	1	弓道場	直営		179	昭和 48 年度	木造
	大田原	2	美原公園	直営		2,821	昭和 62 年度	鉄筋コンクリート
	親園	3	大田原グリーンパーク	直営		191	平成 15 年度	コンクリートブロック
	黒羽	4	学校跡地運動場片田運動場	直営		998	昭和 62 年度	鉄骨造
	黒羽	5	学校跡地運動場黒羽運動場	直営		882	昭和 49 年度	鉄骨造
	黒羽	6	黒羽運動公園	直営		909	昭和 61 年度	木造
	川西	7	学校跡地運動場寒井運動場	直営		646	昭和 46 年度	鉄骨造
	川西	8	学校跡地運動場川西運動場	直営		668	昭和 34 年度	鉄骨造
	両郷	9	学校跡地運動場両郷運動場	直営		447	昭和 36 年度	木造
	須賀川	10	学校跡地運動場須佐木運動場	直営		696	平成 1 年度	鉄骨造

市民プールは 1 施設あり、延床面積は合計 2,549 ㎡です。

市民体育館は 3 施設あり、延床面積は合計 7,659 ㎡です。

スポーツ施設・運動公園は 10 施設あり、延床面積は合計 8,437 ㎡です。

図 4-5-1 スポーツ施設の配置状況

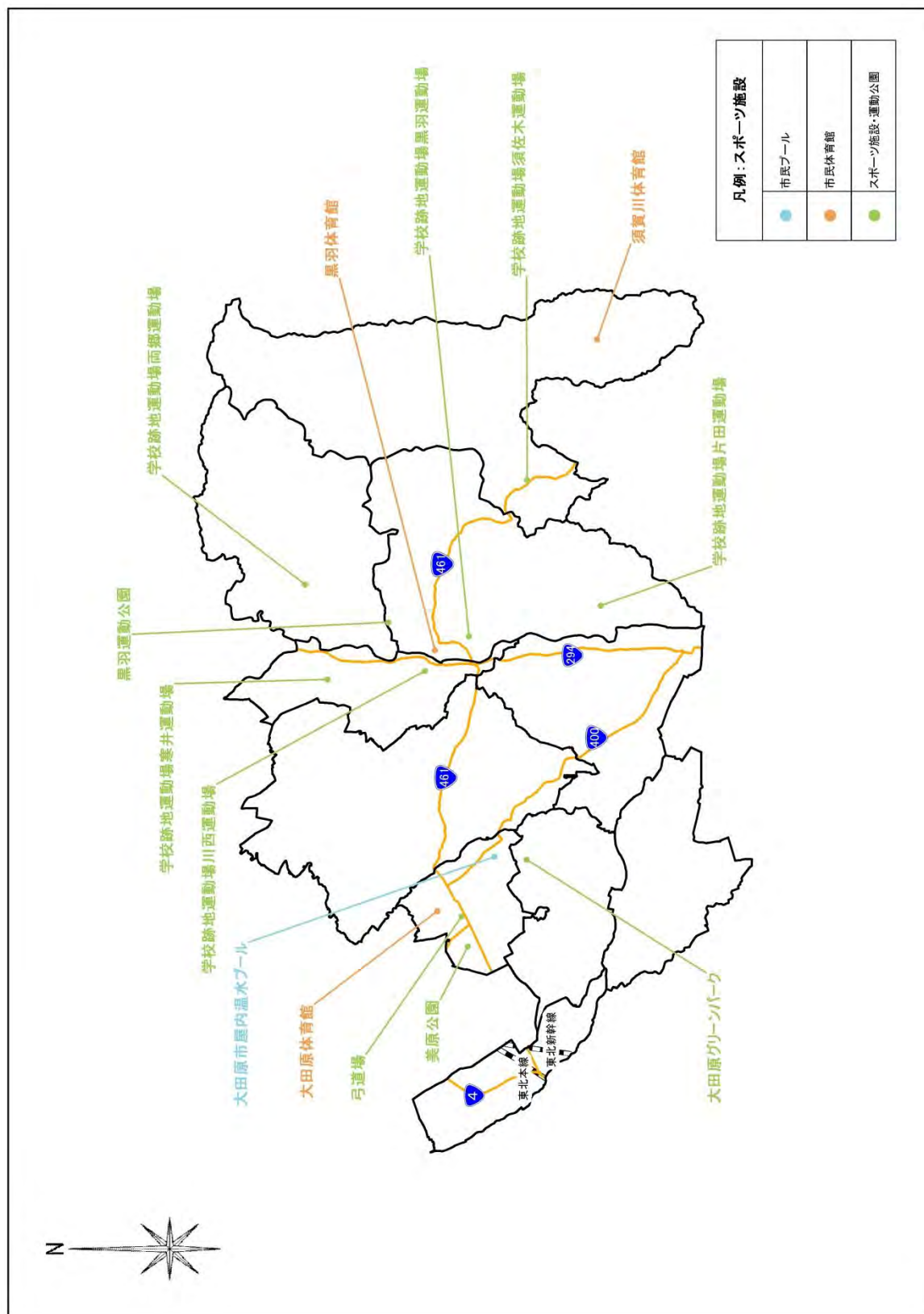


表 4-5-2 スポーツ施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
市民プール											
大田原市屋内温水プール	46,687	25,948	72,635	50,077	1,450	27,317	99,953	1,996	12,332	87,621	72,635
小計	46,687	25,948	72,635	50,077	1,450	27,317	99,953	1,996	12,332	87,621	72,635
市民体育館											
大田原体育館	4,828	2,329	7,158	52,463	136	0	7,158	136	742	6,416	—
黒羽体育館	7,088	5,728	12,817	18,928	677	16,266	29,083	1,536	390	28,693	—
須賀川体育館	496	0	496	384	1,292	0	496	1,292	0	496	—
小計	12,413	8,058	20,471	71,775	285	16,266	36,738	511	1,132	35,606	0
スポーツ施設・運動公園											
弓道場	118	1,364	1,482	26,607	55	0	1,482	55	1	1,481	—
美原公園	12,129	28,411	40,540	136,374	297	12,369	52,909	387	6,063	46,845	—
大田原グリーンパーク	7,695	6,669	14,364	34,788	412	4,565	18,930	544	1,452	17,477	—
学校跡地運動場片田運動場	172	0	172	2,380	72	0	172	72	0	172	—
学校跡地運動場黒羽運動場	68	0	68	851	79	0	68	79	0	68	—
黒羽運動公園	14,705	6,726	21,431	41,494	516	2,906	24,337	586	2,153	22,184	—
学校跡地運動場寒井運動場	367	0	367	4,832	75	0	367	75	0	367	—
学校跡地運動場川西運動場	120	0	120	2,914	41	0	120	41	0	120	—
学校跡地運動場両郷運動場	1	0	1	422	2	0	1	2	0	1	—
学校跡地運動場須佐木運動場	17	0	17	0	0	0	17	0	0	17	—
小計	35,395	43,170	78,566	250,662	313	19,841	98,407	392	9,671	88,736	0
合計	94,496	77,177	171,674	372,514	460	63,425	235,099	631	23,135	211,964	72,635

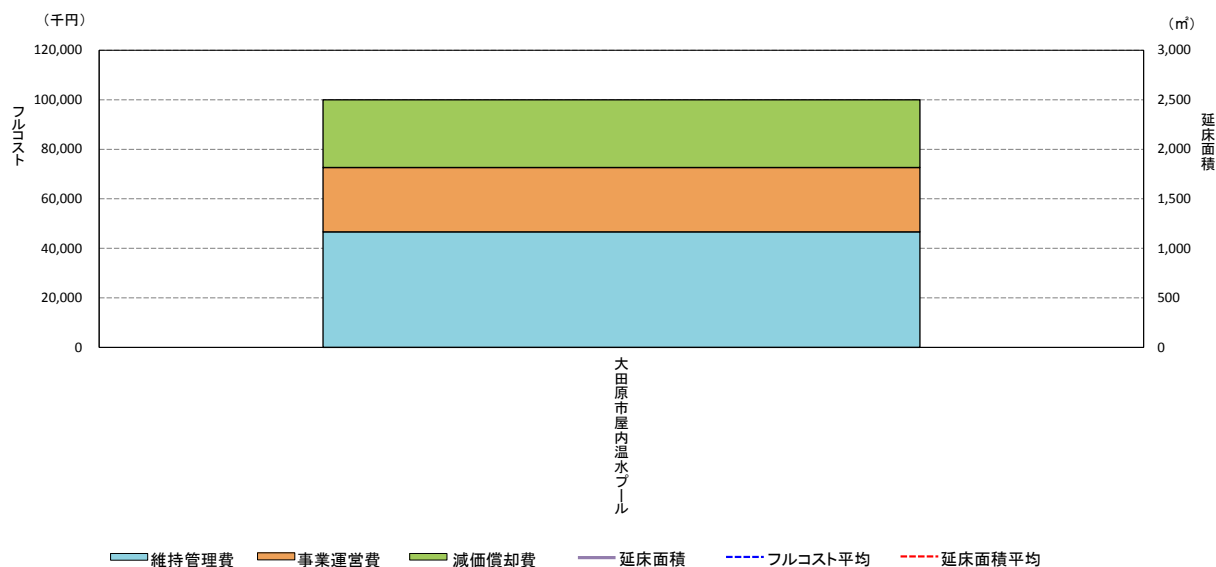
市民プールの延利用者数は 50,077 人で、施設にかかるフルコストは 99,953 千円です。

市民体育館の延利用者数は合計 71,775 人で、施設にかかるフルコストは合計 36,738 千円です。

スポーツ施設・運動公園の延利用者数は合計 250,662 人で、施設にかかるフルコストは合計 98,407 千円です。

① 〔スポーツ施設〕市民プールの状況

図 4-5-2 市民プールのフルコストと延床面積

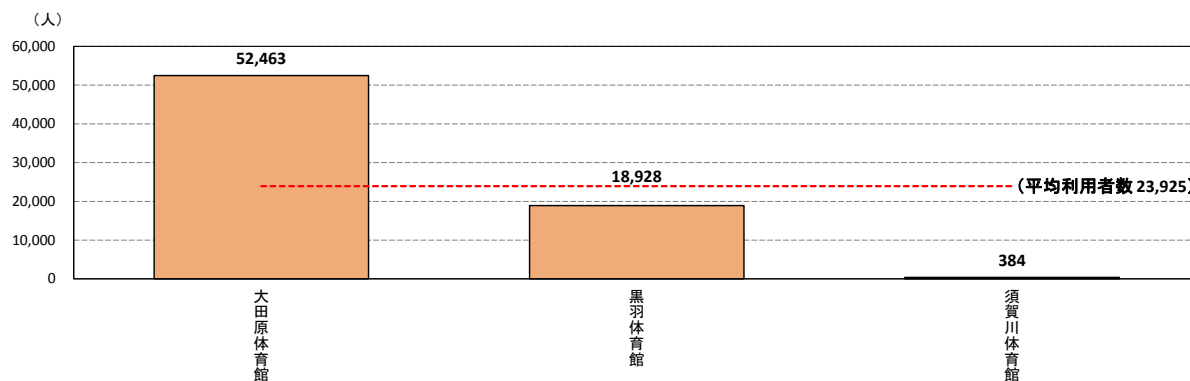


大田原市屋内温水プールの延床面積は 2,549 m²で、フルコストは 99,953 千円です。また、大田原市屋内温水プールは、指定管理者による運営管理です。

なお、フルコストは 99,953 千円、年間利用者数は 50,077 人、利用者一人当たりのフルコストは 1,996 円であり、市民体育館等の他のスポーツ施設に比べて高い状況です。

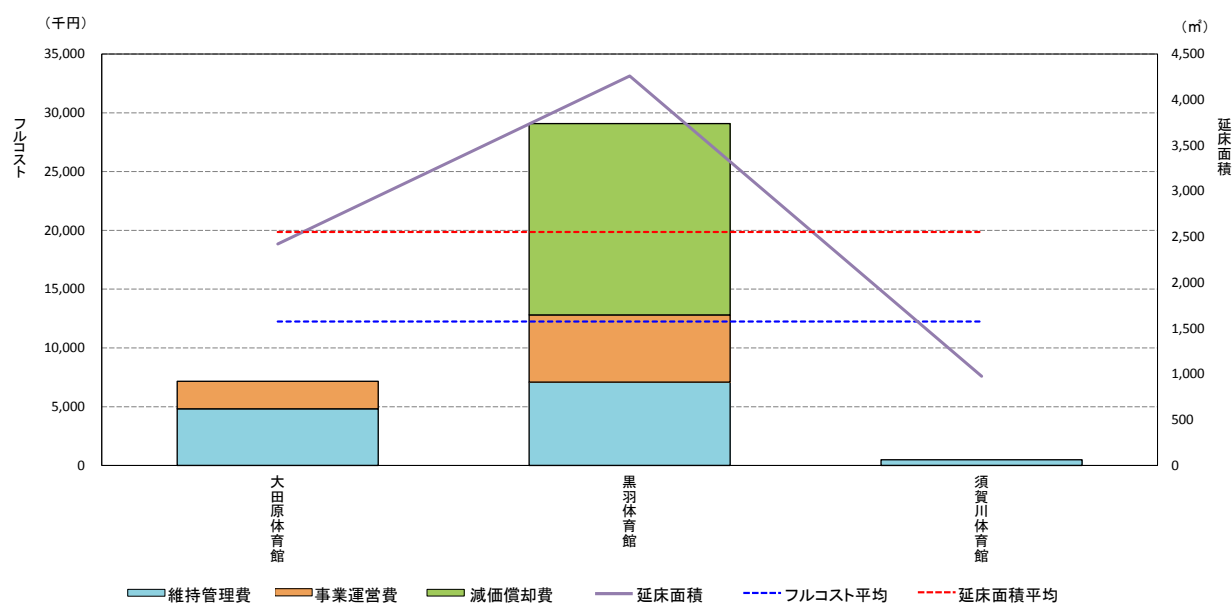
② 「スポーツ施設」市民体育館の状況

図 4-5-3 市民体育館の利用者数



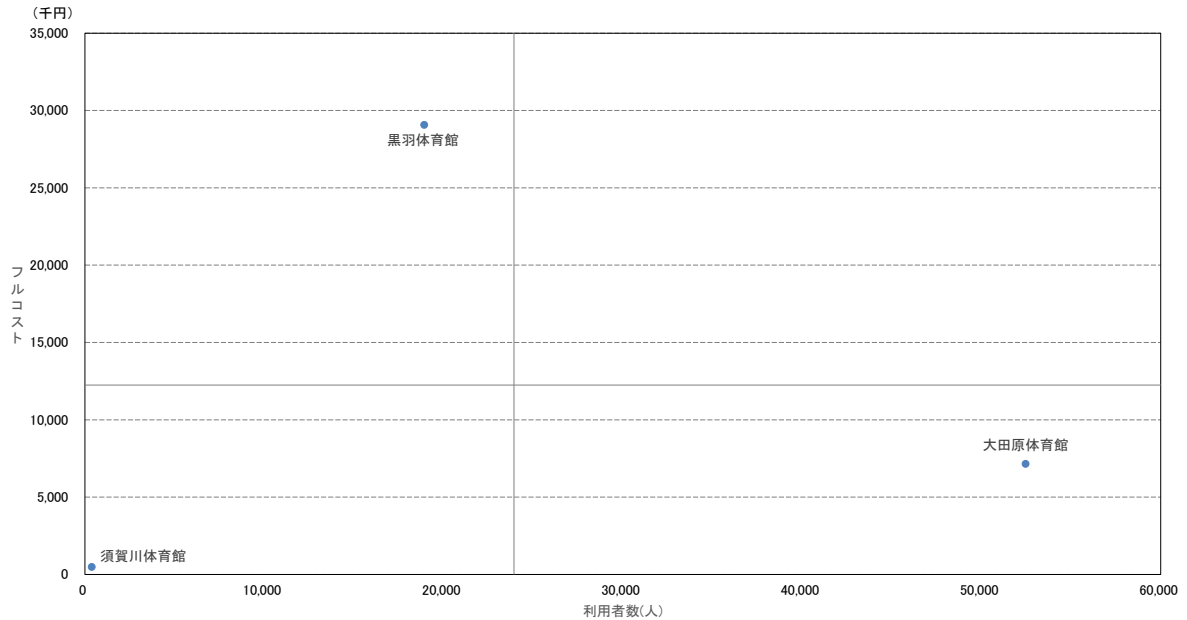
市民体育館のうち、年間の利用者数が最も多いのは、大田原体育館の 52,463 人で、次いで黒羽体育館の 18,928 人です。なお、最も利用者数が少ないのは、須賀川体育館の 384 人です。

図 4-5-4 市民体育館のフルコストと延床面積



市民体育館のうち、延床面積が最も広いのは、黒羽体育館の 4,260 ㎡で、次いで大田原体育館の 2,423 ㎡です。また、市民体育館のうち、フルコストが最も高いのは、黒羽体育館の 29,083 千円で、次いで大田原体育館の 7,158 千円です。

図 4-5-5 市民体育館の利用者数とフルコスト

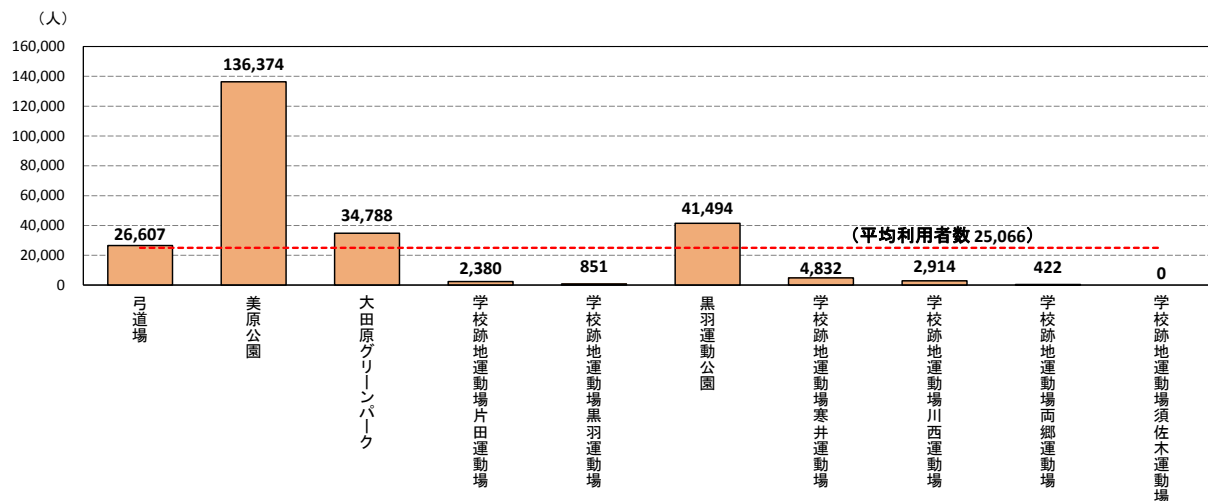


市民体育館は大田原地域、黒羽地域、須賀川地域にそれぞれ1つ設置されていますが、いずれの施設も昭和40年～60年代建築で老朽化が進んでいます。なお、3施設とも本市による運営管理です。

大田原地域の大田原体育館における利用者一人当たりのフルコストは136円であるのに対し、黒羽地域の黒羽体育館の利用者一人当たりのフルコストは1,536円、須賀川地域の須賀川体育館の利用者一人当たりのフルコストは1,292円です。これは大田原体育館の年間利用者数が52,463人であるのに対し、黒羽体育館は18,928人、須賀川体育館は384人と利用者が少ないことが要因です。また、フルコストで見ると大田原体育館と須賀川体育館は減価償却費の計上がないのに対し、黒羽体育館は年間で16,266千円の減価償却費の計上があります。このため、黒羽体育館は高コスト施設でありながら利用者数が少ないため、利用者一人当たりのフルコストが高くなっています。今後の黒羽体育館の維持運営にあたっては、利用者数、維持管理費用と今後の人口動向を踏まえた運営が重要です。また、須賀川体育館は利用者数が極端に少ないことから、今後の利用者数の見込みも考慮し、統廃合等を含めた検討が必要です。

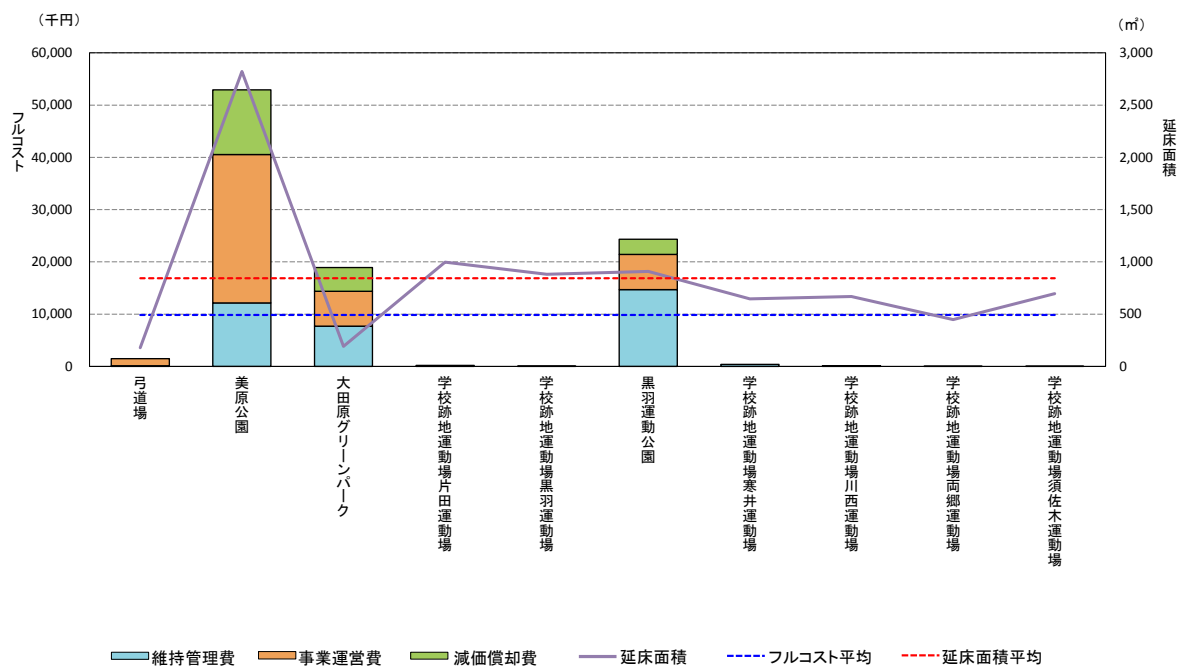
③ 「スポーツ施設」スポーツ施設・運動公園の状況

図 4-5-6 スポーツ施設・運動公園の利用者数



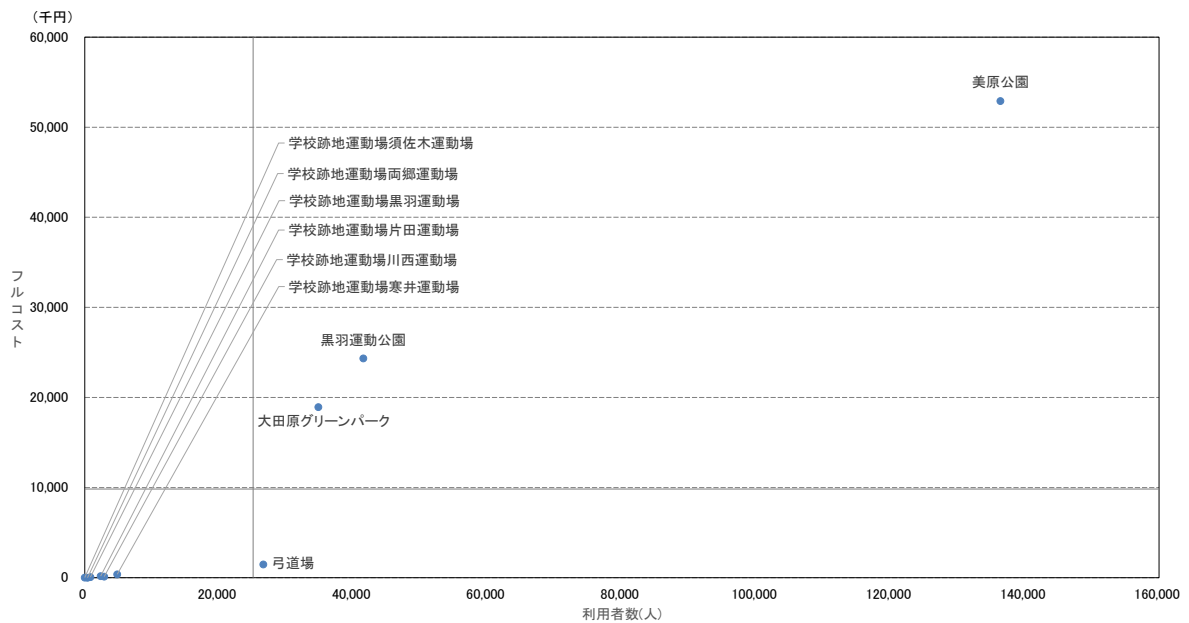
スポーツ施設・運動公園のうち、年間の利用者数が最も多いのは、美原公園の 136,374 人で、次いで黒羽運動公園の 41,494 人です。また、最も利用者数が少ないのは、学校跡地運動場須佐木運動場の 0 人で、次いで学校跡地運動場両郷運動場の 422 人です。

図 4-5-7 スポーツ施設・運動公園のフルコストと延床面積



スポーツ施設・運動公園のうち、延床面積が最も広いのは、美原公園の 2,821 ㎡で、次いで学校跡地運動場片田運動場の 998 ㎡です。また、スポーツ施設・運動公園のうち、フルコストが最も高いのは、美原公園の 52,909 千円で、次いで黒羽運動公園の 24,337 千円です。

図 4-5-8 スポーツ施設・運動公園の利用者数とフルコスト



スポーツ施設・運動公園は、全て本市による運営管理です。

大田原地域の弓道場、川西運動場など昭和 30～40 年代建築の施設もあり、老朽化が進んでいます。

美原公園は野球場、陸上競技場、テニスコートなど、黒羽運動公園は陸上競技場、テニスコートなどの施設を備えた大型公園であり、年間 10,000 千円以上の維持管理費がかかっています。

学校跡地運動場は、利用者数にバラつきがありますが、あまり利用されていない状況です。このため、老朽化対応にあたっては、今後の利用状況等を踏まえた検討が必要です。

6 レクリエーション施設・観光施設の状況

表 4-6-1 レクリエーション施設・観光施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
レクリエーション・ 観光・温泉施設	湯津上	1	湯津上温泉やすらぎの湯	指定管理者	●	834	平成 1 年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	2	交流促進センター若杉山荘	指定管理者		486	平成 6 年度	木造
	黒羽	3	大田原市ポッポ農園	直営		186	平成 2 年度	木造
	黒羽	4	総合交流ターミナルセンター 黒羽温泉五峰の湯	指定管理者		1,687	平成 10 年度	鉄筋コンクリート
	須賀川	5	南方古民家	直営		200	平成 5 年度	木造

レクリエーション・観光・温泉施設は 5 施設あり、延床面積は合計 3,393 ㎡です。

図 4-6-1 レクリエーション施設・観光施設の配置状況

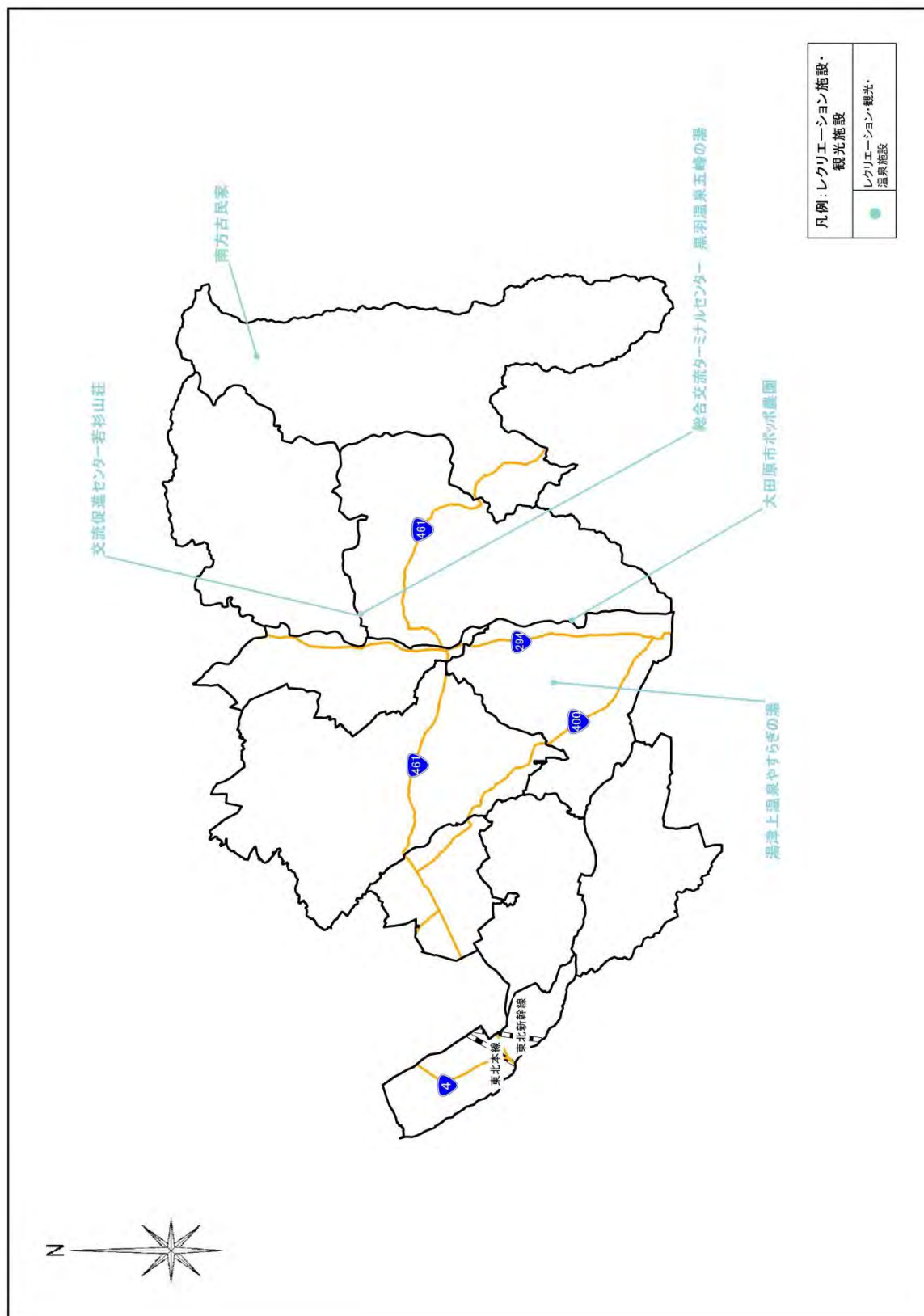


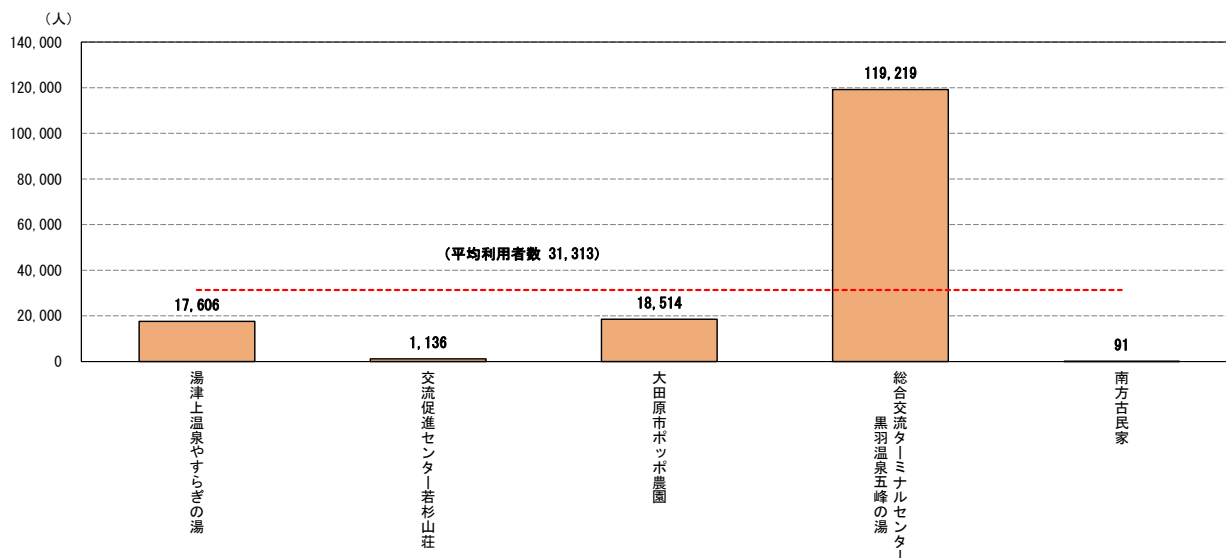
表 4-6-2 レクリエーション施設・観光施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
レクリエーション・観光・温泉施設											
湯津上温泉やすらぎの湯	20,965	4,173	25,138	17,606	1,427	5,647	30,786	1,748	3,334	27,451	30,900
交流促進センター若杉山荘	532	0	532	1,136	468	5,083	5,616	4,943	0	5,616	600
大田原市ポッポ農園	472	3,158	3,631	18,514	196	1,073	4,704	254	4,149	555	—
総合交流ターミナルセンター 黒羽温泉五峰の湯	25,685	2,770	28,455	119,219	238	14,735	43,191	362	49,566	-6,374	72,100
南方古民家	749	1,108	1,857	91	20,411	920	2,777	30,521	50	2,726	—
小計	48,403	11,209	59,613	156,566	381	27,460	87,076	556	57,100	29,974	103,600
合計	48,403	11,209	59,613	156,566	381	27,460	87,076	556	57,100	29,974	103,600

レクリエーション・観光・温泉施設の延利用者数は合計 156,566 人で、施設にかかるフルコストは合計 87,076 千円です。

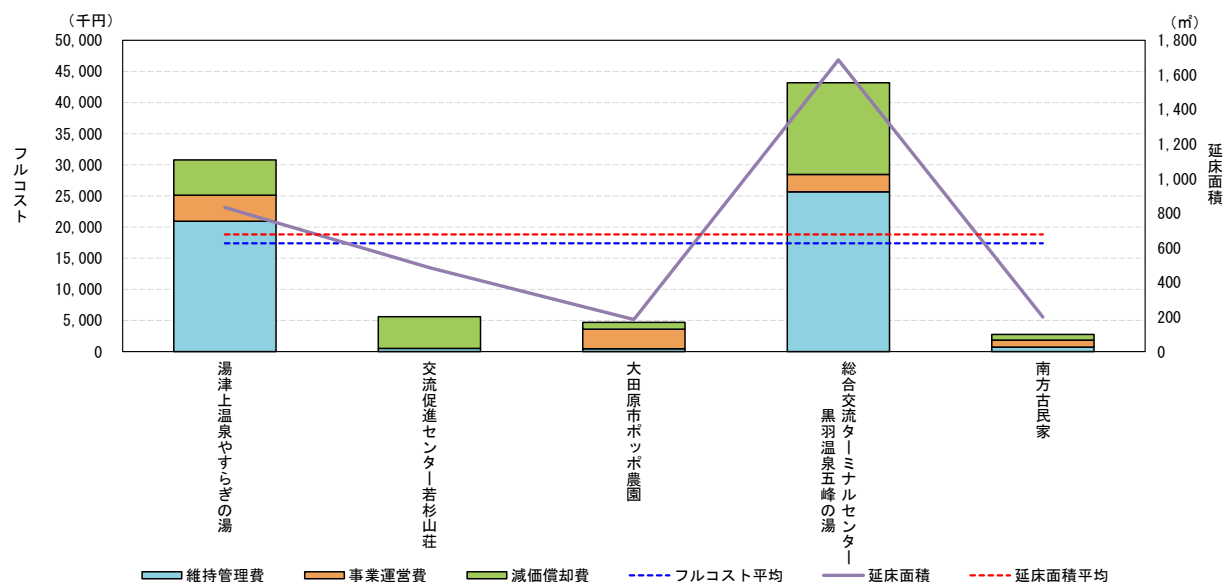
① 〔レクリエーション施設・観光施設〕レクリエーション・観光・温泉施設の状況

図 4-6-2 レクリエーション・観光・温泉施設の利用者数



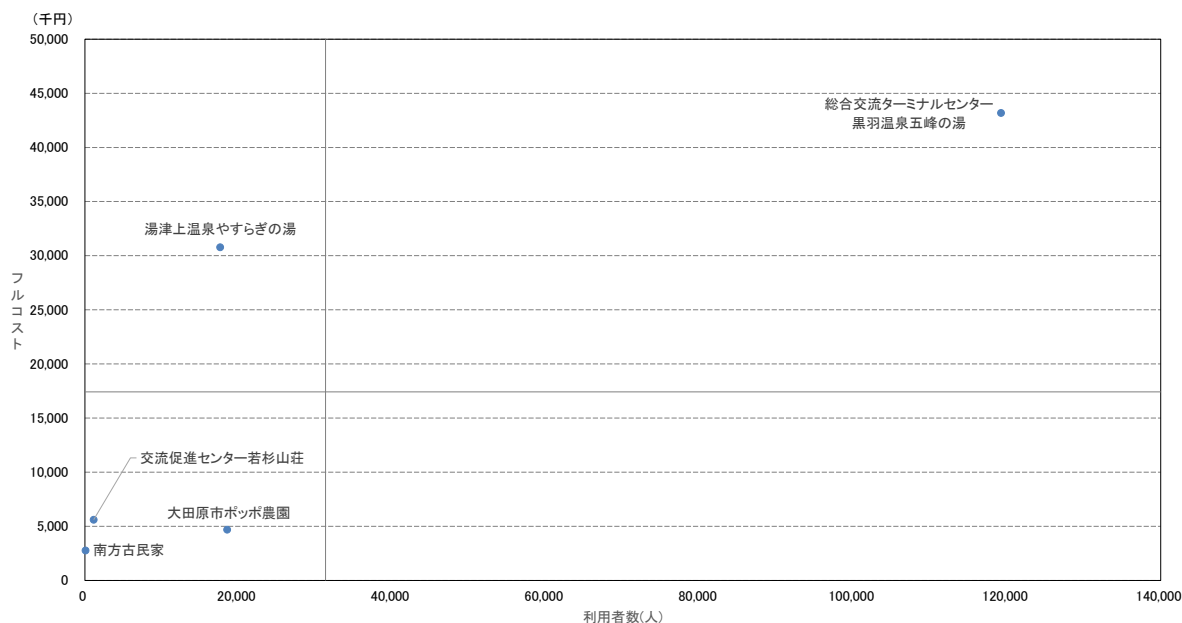
レクリエーション・観光・温泉施設のうち、年間の利用者数が最も多いのは、総合交流ターミナルセンター黒羽温泉五峰の湯の 119,219 人で、次いで大田原市ポップ農園の 18,514 人です。また、最も利用者数が少ないのは、南方古民家の 91 人で、次いで交流促進センター若杉山荘の 1,136 人です。

図 4-6-3 レクリエーション・観光・温泉施設のフルコストと延床面積



レクリエーション・観光・温泉施設のうち、延床面積が最も広いのは、総合交流ターミナルセンター黒羽温泉五峰の湯の 1,687 ㎡で、次いで湯津上温泉やすらぎの湯の 834 ㎡です。また、フルコストが最も高いのは、総合交流ターミナルセンター黒羽温泉五峰の湯の 43,191 千円で、次いで湯津上温泉やすらぎの湯の 30,786 千円です。

図 4-6-4 レクリエーション・観光・温泉施設の利用者数とフルコスト



レクリエーション・観光・温泉施設は、5施設あり、黒羽地域の大田原市ポッポ農園と須賀川地域の南方古民家は、本市による運営管理であり、残りの3施設は、指定管理者による運営管理です。

総合交流ターミナルセンター黒羽温泉五峰の湯のフルコストは43,191千円で、利用者一人当たりのフルコストは362円、大田原市ポッポ農園のフルコストは4,704千円で、利用者一人当たりのフルコストは254円、交流促進センター若杉山荘のフルコストは5,616千円で、利用者一人当たりのフルコストは4,943円、湯津上温泉やすらぎの湯のフルコストは30,786千円で、利用者一人当たりのフルコストは1,748円、南方古民家のフルコストは2,777千円で、利用者一人当たりのフルコストは30,521円であり、南方古民家は、利用者数が他の施設に比べて極端に少ない状況です。

5つの施設とも、現時点では老朽化への対応が逼迫しているという状況ではありませんが、今後の本市の行政サービスのあり方を踏まえて、利用者数の少ない施設は、今後の利用者数の状況も踏まえて、施設のあり方について検討することが重要です。

7 産業系施設の状況

表 4-7-1 産業系施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
産業振興施設・ 直売所	大田原	1	勤労青少年ホーム	直営		668	昭和 47年度	鉄骨コンクリート
	大田原	2	大田原地域職業訓練センター	直営		1,605	昭和 56年度	鉄筋コンクリート
	金田	3	大田原市道の駅那須与一の郷	指定管理者		1,284	平成 15年度	木造
	佐久山	4	大田原市ふれあいの丘 園芸館	直営		159	平成 6年度	木造
	湯津上	5	八溝材モデルハウス	直営		66	平成 19年度	木造
	湯津上	6	大田原市水遊園直売所	指定管理者		159	平成 14年度	木造
	湯津上	7	大田原市湯けむりふれあいの丘レストラン牧場	指定管理者		345	平成 13年度	鉄骨造
	湯津上	8	大田原市湯けむりふれあいの丘直売所	直営		65	平成 3年度	木造
	黒羽	9	山村開発センター	直営		1,083	昭和 51年度	鉄骨コンクリート
	川西	10	黒羽ふるさと物産センター	直営		227	平成 11年度	木造
	両郷	11	大田原市大輪味噌加工場	直営		243	昭和 56年度	軽量鉄骨造
	須賀川	12	須賀川集会所兼直売センター	直営		209	平成 18年度	木造

産業振興施設・直売所は 12 施設あり、延床面積は合計 6,113 ㎡です。

図 4-7-1 産業系施設の配置状況

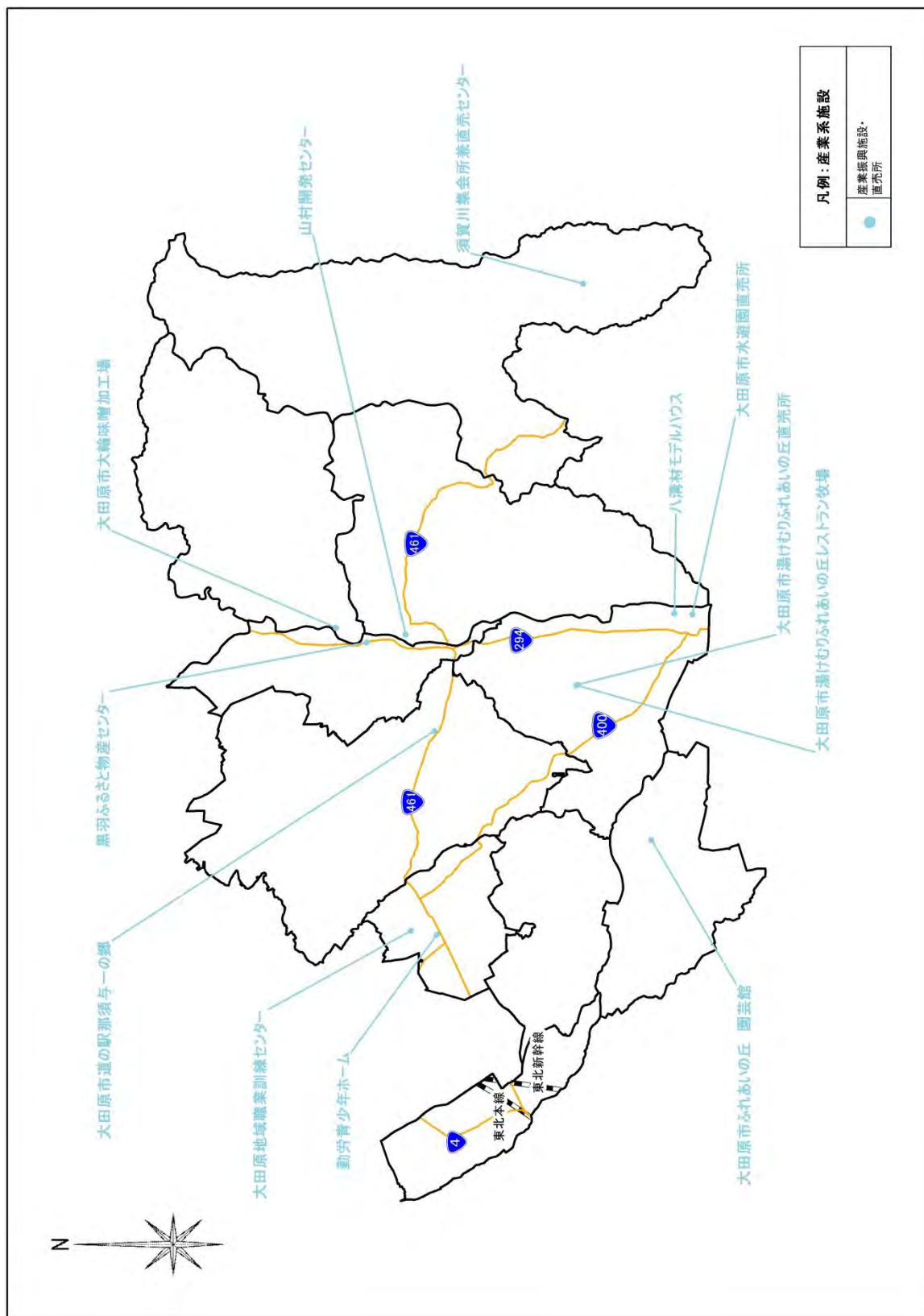


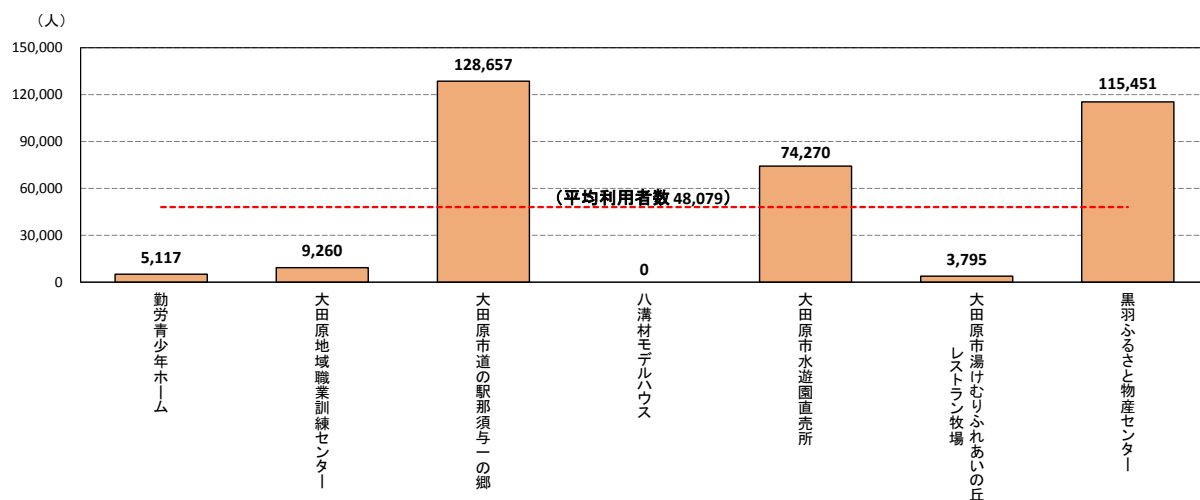
表 4-7-2 産業系施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
産業振興施設・直売所											
勤労青少年ホーム	3,683	5,722	9,405	5,117	1,838	0	9,405	1,838	0	9,405	—
大田原地域職業訓練センター	8,153	14,705	22,859	9,260	2,468	9,543	32,403	3,499	14,026	18,377	9,140
大田原市道の駅那須与一の郷	22,105	397,881	419,987	128,657	3,264	20,067	440,054	3,420	427,504	12,550	0
大田原市ふれあいの丘 園芸館	339	0	339	—	—	1,276	1,616	—	49	1,566	—
八溝材モデルハウス	164	0	164	0	0	415	580	0	0	580	—
大田原市水遊園直売所	1,236	32,049	33,285	74,270	448	920	34,206	460	35,259	-1,053	0
大田原市湯けむりふれあいの丘レストラン牧場	1,389	3,877	5,267	3,795	1,387	3,631	8,898	2,344	3,100	5,798	2,000
大田原市湯けむりふれあいの丘直売所	23	0	23	—	—	604	627	—	30	597	—
山村開発センター	4,415	0	4,415	—	—	0	4,415	—	0	4,415	—
黒羽ふるさと物産センター	750	1,108	1,858	115,451	16	527	2,385	20	1,300	1,085	—
大田原市大輪味噌加工場	10	0	10	—	—	0	10	—	70	-59	—
須賀川集会所兼直売センター	10	0	10	—	—	865	875	—	0	875	—
小計	42,282	455,345	497,627	336,550	1,478	37,852	535,480	1,591	481,339	54,140	11,140
合計	42,282	455,345	497,627	336,550	1,478	37,852	535,480	1,591	481,339	54,140	11,140

産業振興施設・直売所の延利用者数は合計 336,550 人で、施設にかかるフルコストは合計 535,480 千円です。

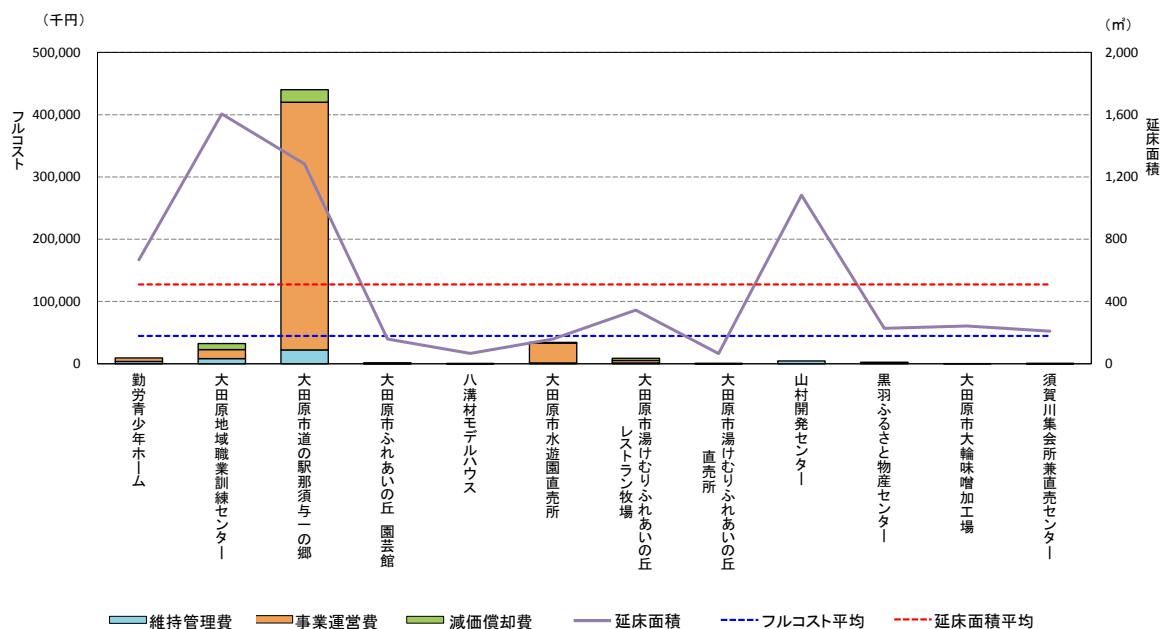
① 〔産業系施設〕産業振興施設・直売所の状況

図 4-7-2 産業振興施設・直売所の利用者数



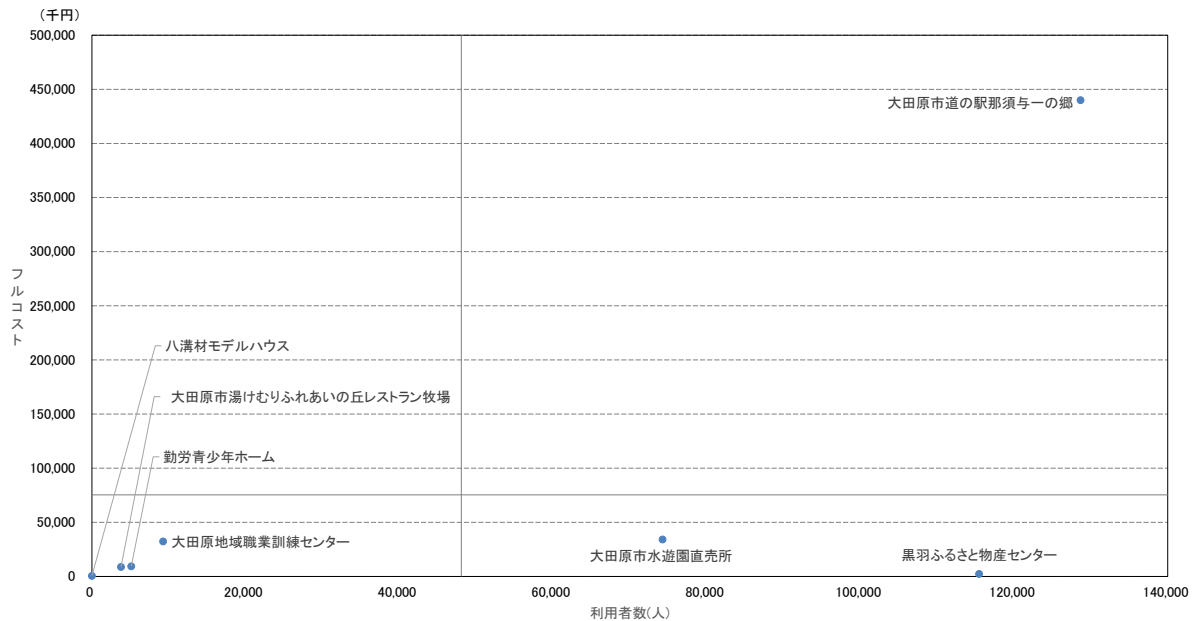
産業振興施設・直売所のうち、年間の利用者数が最も多いのは、大田原市道の駅那須与一の郷の 128,657 人で、次いで黒羽ふるさと物産センターの 115,451 人です。また、最も利用者数が少ないのは、八溝材モデルハウスの 0 人で、次いで大田原市湯けむりふれあいの丘レストラン牧場の 3,795 人です。

図 4-7-3 産業振興施設・直売所のフルコストと延床面積



産業振興施設・直売所のうち、延床面積が最も広いのは、大田原地域職業訓練センターの 1,605 ㎡で、次いで大田原市道の駅那須与一の郷の 1,284 ㎡です。また、産業振興施設・直売所のうち、フルコストが最も高いのは、大田原市道の駅那須与一の郷の 440,054 千円で、次いで大田原市水遊園直売所の 34,206 千円です。

図 4-7-4 産業振興施設・直売所の利用者数とフルコスト



産業振興施設・直売所は12施設あり、本市が運営管理する施設が9施設、指定管理者が運営管理する施設が3施設です。なお、大田原地域職業訓練センター、山村開発センター及び大田原市大輪味噌加工工場は昭和50年代建築の施設であり、老朽化が進んでいます。

利用者とフルコストの関係では、大田原市道の駅那須与一の郷はフルコストが4億円を超えていますが、利用者数が128,657人と多いため、利用者一人当たりのフルコストは3,420円であり、フルコストが32,403千円である、大田原地域職業訓練センターの利用者一人当たりのフルコスト3,499円と同水準です。

大田原地域職業訓練センター、山村開発センター及び大輪味噌加工工場以外は、比較的新しい施設ですが、利用者が少ない施設もあるため、施設の必要性についても改めて検討が必要です。

8 学校の状況

表 4-8-1 学校の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
小学校	大田原	1	大田原小学校	直営	●	7,034	昭和 35年度	鉄筋コンクリート
	大田原	2	紫塚小学校	直営	●	4,844	昭和 32年度	木造
	大田原	3	西原小学校	直営		8,555	昭和 46年度	鉄筋コンクリート
	金田	4	奥沢小学校	直営	●	3,015	昭和 62年度	鉄筋コンクリート
	金田	5	市野沢小学校	直営	●	4,298	昭和 53年度	鉄筋コンクリート
	金田	6	羽田小学校	直営	●	3,230	平成 5年度	鉄筋コンクリート
	金田	7	金丸小学校	直営	●	3,487	昭和 63年度	鉄筋コンクリート
	親園	8	宇田川小学校	直営		2,451	昭和 56年度	鉄筋コンクリート
	親園	9	親園小学校	直営		3,499	昭和 48年度	鉄筋コンクリート
	野崎	10	石上小学校	直営		3,431	昭和 50年度	鉄筋コンクリート
	野崎	11	薄葉小学校	直営	●	4,387	昭和 52年度	鉄筋コンクリート
	佐久山	12	佐久山小学校	直営		3,660	平成 3年度	鉄筋コンクリート
	佐久山	13	福原小学校	直営		2,450	昭和 54年度	鉄筋コンクリート
	湯津上	14	佐良土小学校	直営		2,686	昭和 50年度	鉄筋コンクリート
	湯津上	15	湯津上小学校	直営		2,785	昭和 51年度	鉄筋コンクリート
	湯津上	16	蛭田小学校	直営		2,656	昭和 49年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	17	黒羽小学校	直営		4,990	昭和 57年度	鉄筋コンクリート
	川西	18	川西小学校	直営	●	4,707	昭和 53年度	鉄筋コンクリート
	両郷	19	両郷中央小学校	直営		2,306	昭和 46年度	鉄筋コンクリート
	須賀川	20	須賀川小学校	直営		3,551	平成 8年度	鉄筋コンクリート
中学校	大田原	1	大田原中学校	直営		8,923	昭和 36年度	鉄筋コンクリート
	大田原	2	若草中学校	直営		7,779	昭和 58年度	鉄筋コンクリート
	金田	3	金田北中学校	直営		7,129	昭和 60年度	鉄筋コンクリート
	金田	4	金田南中学校	直営		5,292	平成 2年度	鉄筋コンクリート
	親園	5	親園中学校	直営		5,772	平成 4年度	鉄筋コンクリート
	野崎	6	野崎中学校	直営		5,127	昭和 54年度	鉄筋コンクリート
	佐久山	7	佐久山中学校	直営		4,760	昭和 62年度	鉄筋コンクリート
	湯津上	8	湯津上中学校	直営		6,563	昭和 60年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	9	黒羽中学校	直営		12,564	平成 21年度	鉄骨造

小学校は 20 施設あり、延床面積は合計 78,022 ㎡です。

中学校は 9 施設あり、延床面積は合計 63,909 ㎡です。

図 4-8-1 学校の配置状況

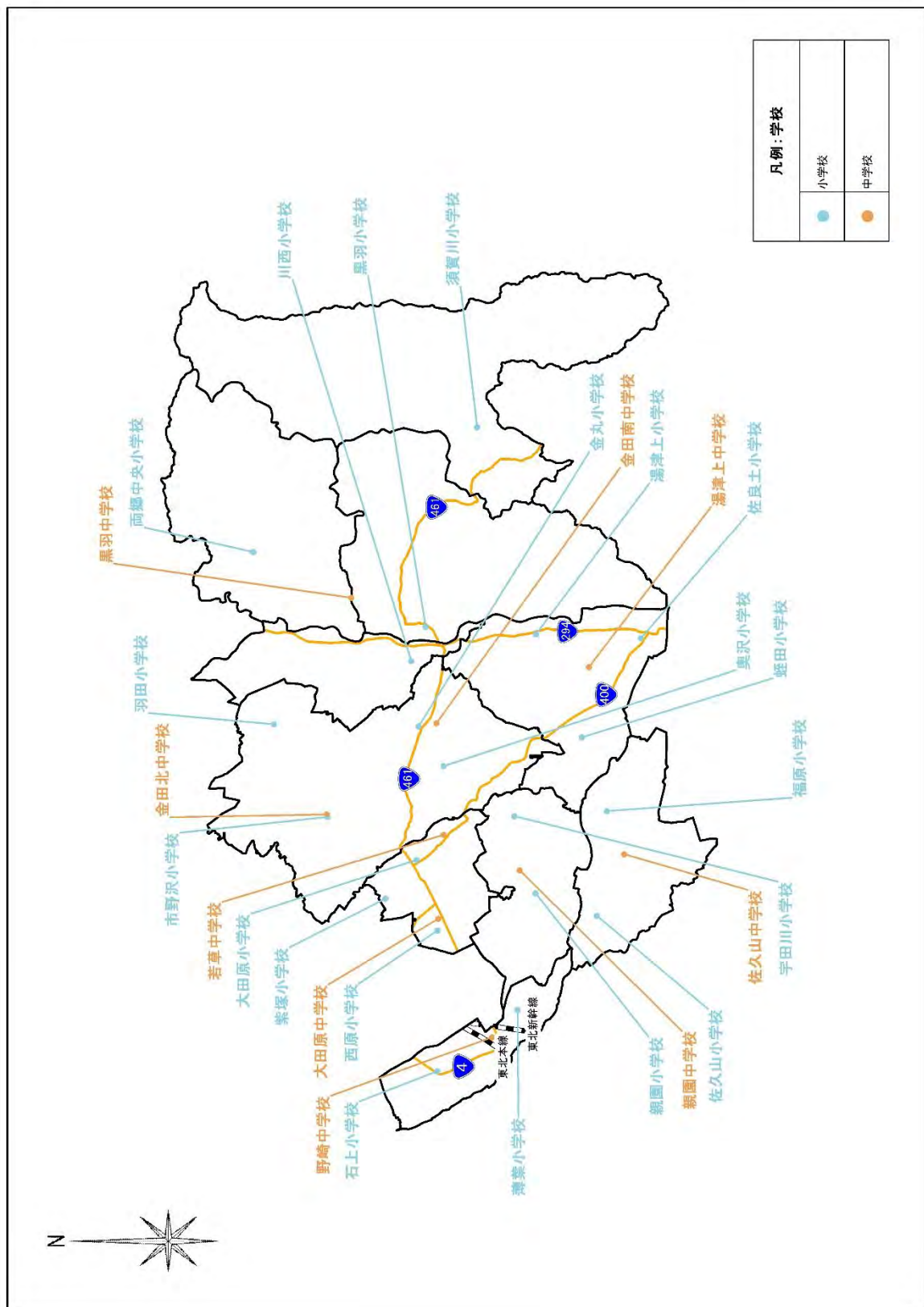


表 4-8-2 学校の利用度とコストの一覧

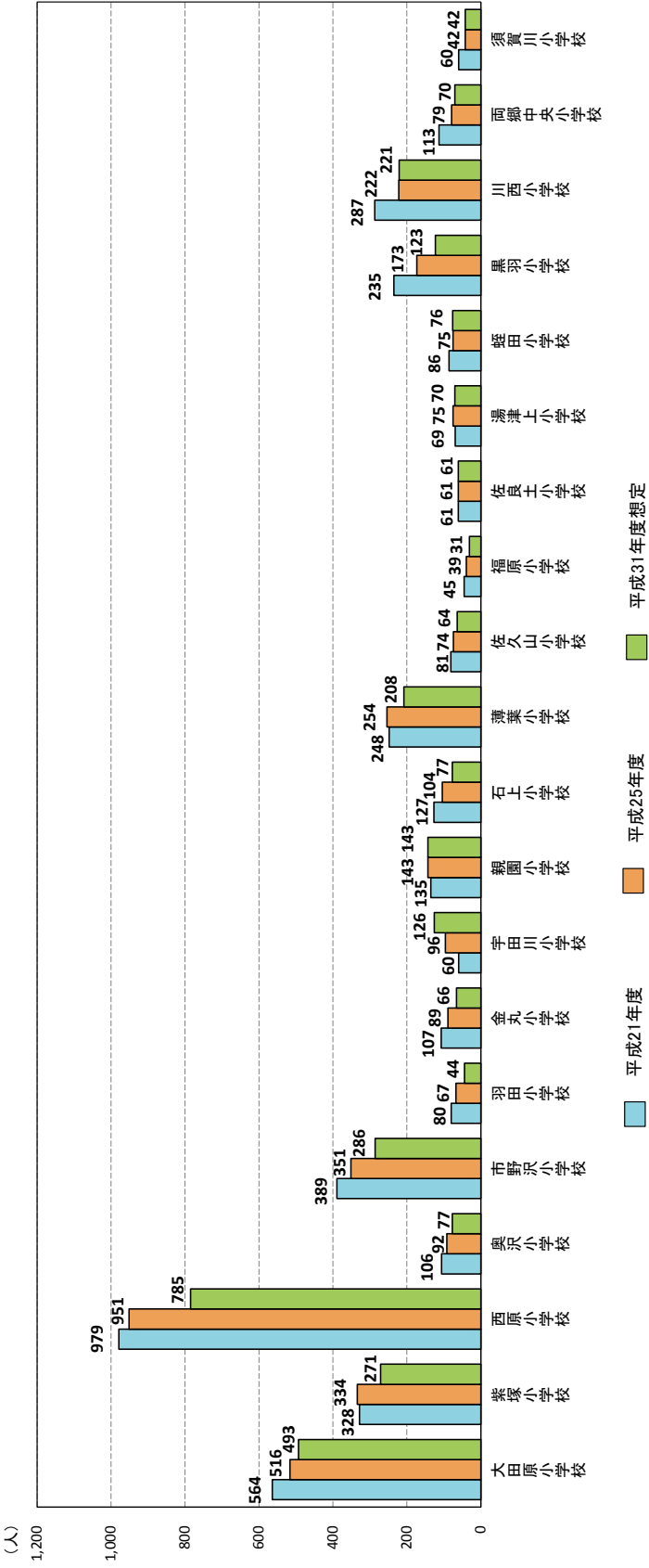
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	児童数/ 生徒数 (人)	児童/ 生徒 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	児童/ 生徒 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
小学校											
大田原小学校	26,140	0	26,140	516	50,660	13,201	39,342	76,245	2,257	37,085	—
紫塚小学校	6,617	0	6,617	334	19,812	16,233	22,851	68,416	0	22,851	—
西原小学校	31,532	0	31,532	951	33,157	41,044	72,577	76,316	0	72,577	—
奥沢小学校	8,696	0	8,696	92	94,531	14,816	23,513	255,581	0	23,513	—
市野沢小学校	30,263	0	30,263	351	86,221	15,524	45,787	130,449	0	45,787	—
羽田小学校	15,359	0	15,359	67	229,249	16,412	31,772	474,216	0	31,772	—
金丸小学校	23,669	0	23,669	89	265,949	13,993	37,662	423,176	0	37,662	—
宇田川小学校	23,963	0	23,963	96	249,624	11,759	35,723	372,120	0	35,723	—
親園小学校	26,188	0	26,188	143	183,136	18,489	44,677	312,430	0	44,677	—
石上小学校	9,796	0	9,796	104	94,199	33,605	43,402	417,329	0	43,402	—
薄葉小学校	27,081	0	27,081	254	106,620	22,078	49,160	193,545	1,675	47,485	—
佐久山小学校	4,902	0	4,902	74	66,252	18,942	23,845	322,230	0	23,845	—
福原小学校	4,343	0	4,343	39	111,379	9,671	14,015	359,370	0	14,015	—
佐良土小学校	6,722	0	6,722	61	110,201	6,167	12,889	211,307	0	12,889	—
湯津上小学校	8,369	0	8,369	75	111,591	6,181	14,551	194,017	0	14,551	—
蛭田小学校	6,472	0	6,472	75	86,303	6,202	12,675	169,005	0	12,675	—
黒羽小学校	15,967	0	15,967	173	92,299	14,481	30,449	176,009	3,156	27,293	—
川西小学校	68,102	0	68,102	222	306,766	8,449	76,552	344,829	12,160	64,392	—
両郷中央小学校	14,547	0	14,547	79	184,142	6,686	21,233	268,782	0	21,233	—
須賀川小学校	3,903	0	3,903	42	92,931	10,277	14,180	337,635	0	14,180	—
小計	362,643	0	362,643	3,837	94,512	304,220	666,864	173,798	19,248	647,616	0
中学校											
大田原中学校	19,518	5,810	25,328	679	37,302	19,309	44,637	65,740	49	44,588	—
若草中学校	36,388	3,515	39,904	240	166,269	44,698	84,603	352,514	1,428	83,175	—
金田北中学校	8,689	3,107	11,796	224	52,663	58,760	70,556	314,985	0	70,556	—
金田南中学校	24,074	2,366	26,441	94	281,290	22,809	49,250	523,945	0	49,250	—
親園中学校	10,574	2,383	12,957	106	122,244	31,528	44,486	419,683	0	44,486	—
野崎中学校	12,696	3,153	15,850	165	96,060	18,476	34,326	208,042	0	34,326	—
佐久山中学校	5,645	2,142	7,787	44	176,996	22,565	30,353	689,844	0	30,353	—
湯津上中学校	52,846	7,386	60,232	90	669,250	17,157	77,390	859,889	0	77,390	—
黒羽中学校	97,213	22,815	120,028	365	328,846	100,059	220,088	602,981	0	220,088	48,180
小計	267,646	52,681	320,328	2,007	159,605	335,365	655,693	326,703	1,477	654,216	48,180
合計	630,289	52,681	682,971	5,844	116,867	639,586	1,322,558	226,310	20,725	1,301,832	48,180

小学校の児童数は合計 3,837 人で、施設にかかるフルコストは合計 666,864 千円です。

中学校の生徒数は合計 2,007 人で、施設にかかるフルコストは合計 655,693 千円です。

① 〔学校〕 小学校の状況

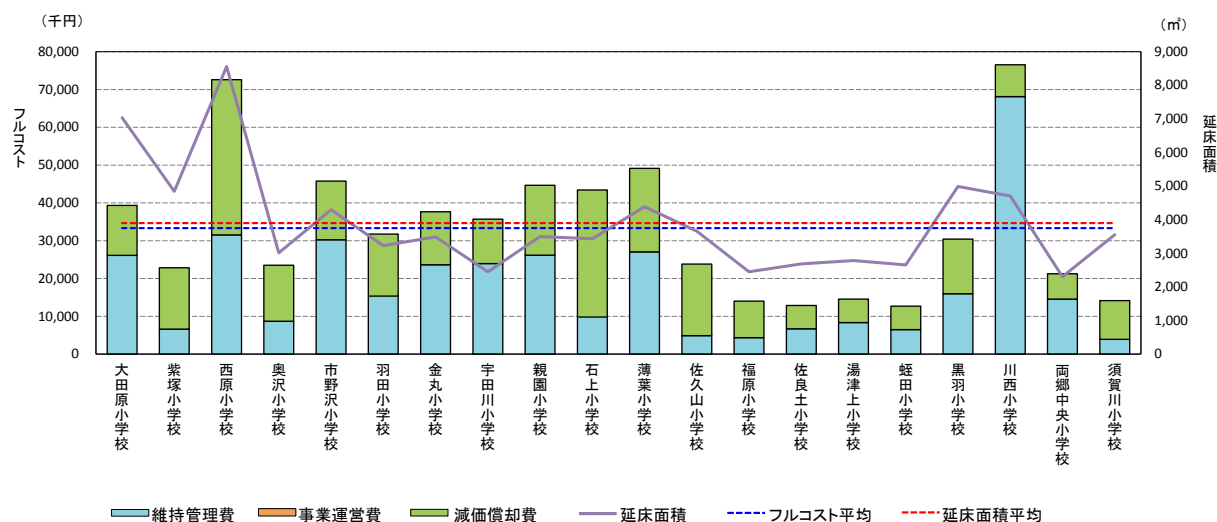
図 4-8-2 小学校の児童数の推移



小学校のうち、平成25年度の児童数が最も多いのは、西原小学校の951人で、次いで大田原小学校の516人です。また、最も児童数が少ない施設は、福原小学校の39人で、次いで須賀川小学校の42人です。

なお、平成31年度の想定児童数には、西原小学校の学区再編による増減は含まれておりません。

図 4-8-3 小学校のフルコストと延床面積



小学校のうち、延床面積が最も広いのは、西原小学校の 8,555 ㎡で、次いで大田原小学校の 7,034 ㎡です。また、小学校のうち、フルコストが最も高いのは、川西小学校の 76,552 千円で、次いで西原小学校の 72,577 千円です。

図 4-8-4 小学校の児童数とフルコスト

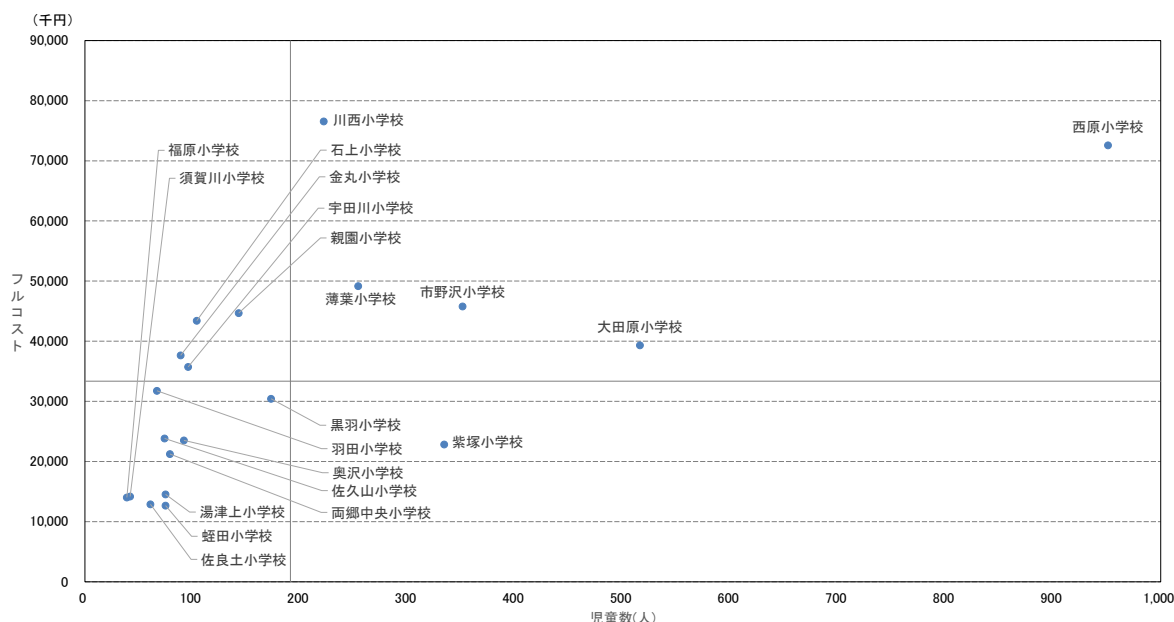


図 4-8-5 小学校の延床面積と耐用年数到来年度

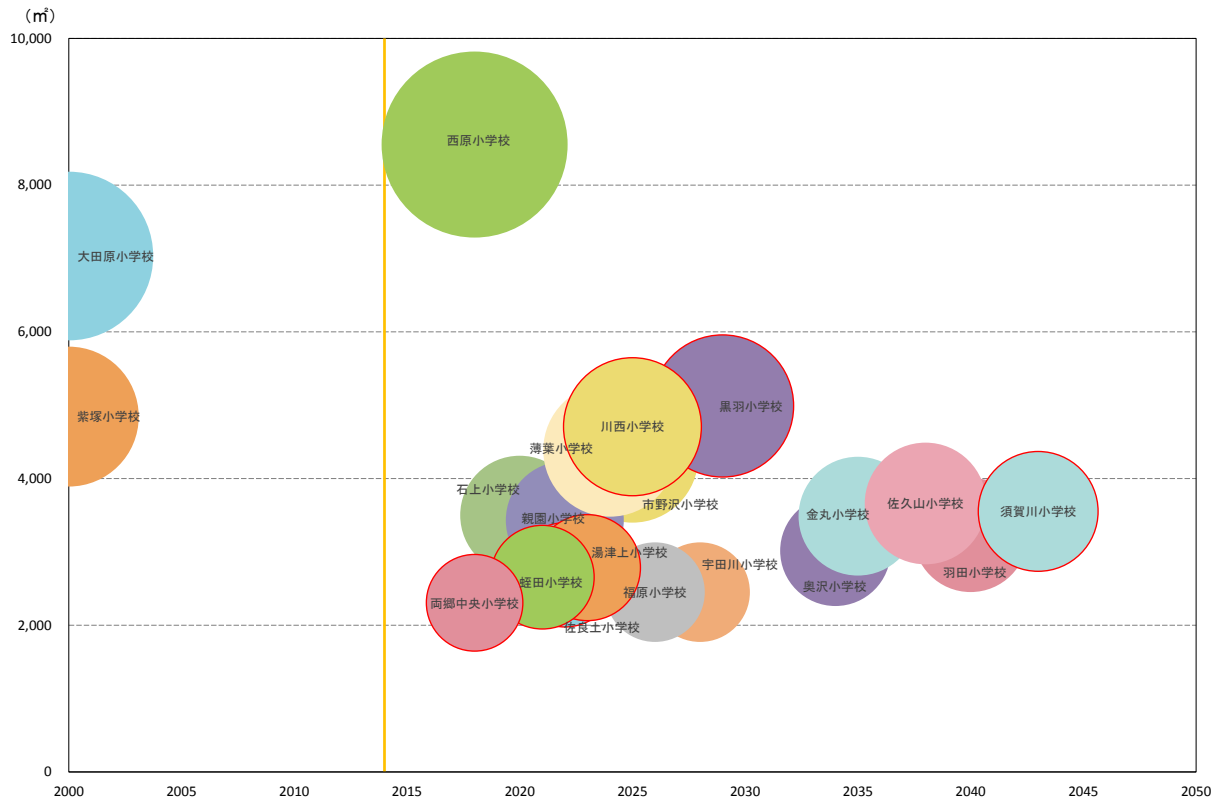


図 4-8-2 のとおり、大半の小学校では平成 31 年度には児童数が減少すると見込まれており、また、第 1 章「3 人口動向」にもあるとおり、今後、子どもの人口減少が継続することが見込まれます。

文部科学省が平成 27 年 1 月 27 日に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」によれば、学級数が少ないことによる学校運営上の課題として、クラス替えができないことや遠足などの集団活動・行事の教育効果が下がること、人間関係や相互の評価が固定化しやすいなどの多くのデメリットが挙げられています。さらに、複式学級となる場合には、教員に特別な指導技術が求められるなどの課題も挙げられています。

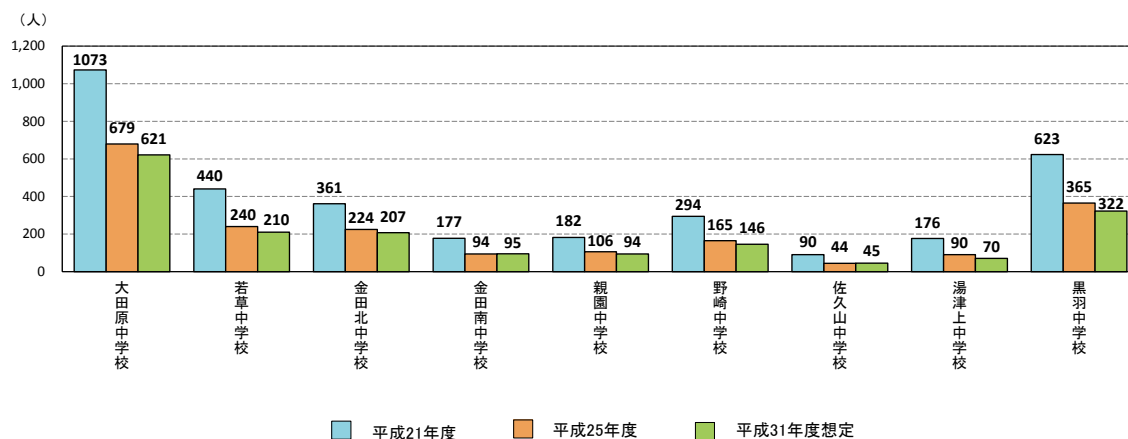
そのため、今後、適正規模を下回る小学校については、スクールバス等による通学手段の確保と統廃合をセットにして進めるなどの検討が必要です。

また、平成 25 年時点で、全 20 小学校のうち、11 の小学校では児童数が 100 人に満たない状況です。

なお、昭和 50 年度建築の石上小学校、佐良土小学校については、老朽化が進んでいるため、今後の建替えや修繕について検討が必要です。

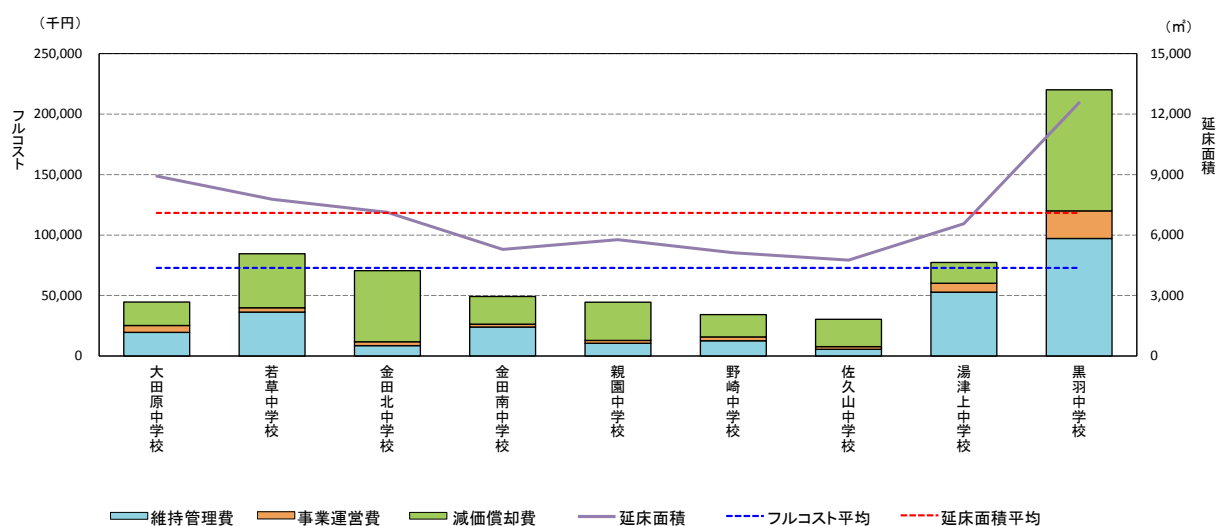
② 〔学校〕中学校の状況

図 4-8-6 中学校の生徒数の推移



中学校のうち、平成 25 年度の生徒数が最も多いのは、大田原中学校の 679 人で、次いで黒羽中学校の 365 人です。また、最も生徒数が少ない施設は、佐久山中学校の 44 人で、次いで湯津上中学校の 90 人です。

図 4-8-7 中学校のフルコストと延床面積



中学校のうち、延床面積が最も広いのは、黒羽中学校の 12,564 ㎡で、次いで大田原中学校の 8,923 ㎡です。また、中学校のうち、フルコストが最も高いのは、黒羽中学校の 220,088 千円で、次いで若草中学校の 84,603 千円です。

図 4-8-8 中学校の生徒数とフルコスト

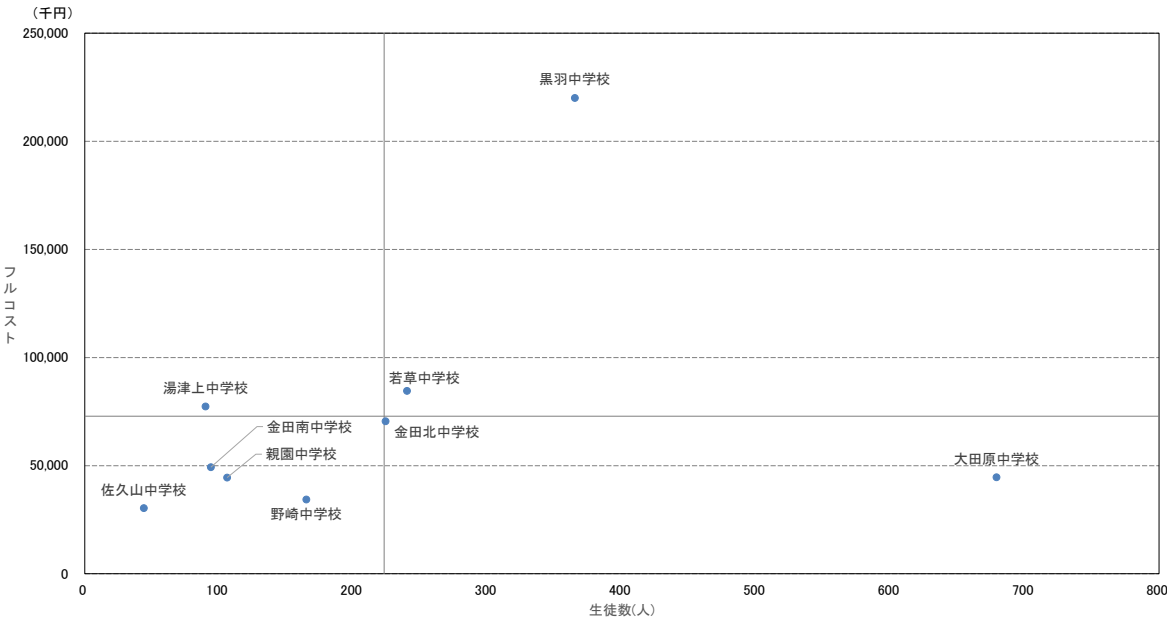


図 4-8-9 中学校の延床面積と耐用年数到来年度

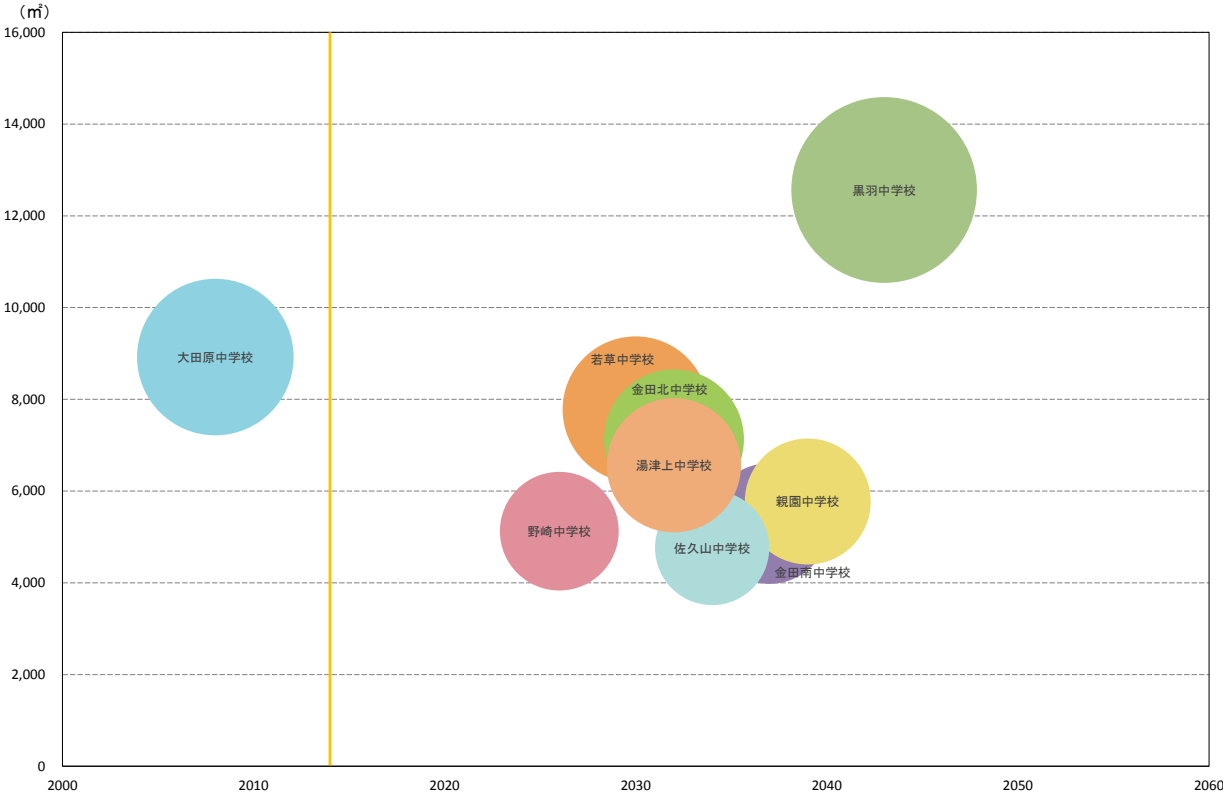


図 4-8-6 のとおり、金田南中学校、佐久山中学校以外は、平成 31 年度には児童数が減少すると見込まれており、また、第 1 章「3 人口動向」にもあるとおり、今後も子どもの人口減少は継続することが見込まれます。

文部科学省が平成 27 年 1 月 27 日に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」によれば、学級数が少ないことによる学校運営上の課題として、クラス替えができないことや部活動の種類が限定されること、遠足などの集団活動・行事の教育効果が下がること、人間関係や相互の評価が固定化しやすいなどの多くのデメリットが挙げられています。さらに、複式学級となる場合には、教員に特別な指導技術が求められること、免許外指導の教科が生まれる可能性があるなどの課題も挙げられています。

そのため、今後、適正規模を下回る中学校は、スクールバス等による通学手段の確保と、統廃合をセットにして進めるなどの検討が必要です。

また、平成 25 年時点で、全 9 中学校のうち、3 つの中学校では生徒数が 100 人に満たない状況です。

なお、昭和 36 年度建築の大田原中学校、昭和 54 年度建築の野崎中学校については、老朽化が進んでいるため、今後の建替えや修繕について検討が必要です。

9 その他教育施設の状況

表 4-9-1 その他教育施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
適応指導教室	大田原	1	大志館すばる	直営	●	388	平成 16 年度	軽量鉄骨造
給食センター	黒羽	1	大田原市学校給食センター	直営		1,068	平成 13 年度	鉄骨造
学校開放用屋外トイレ	大田原	1	大田原小学校開放用屋外トイレ	直営		29	昭和 62 年度	コンクリートブロック
	大田原	2	紫塚小学校学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 61 年度	コンクリートブロック
	大田原	3	若草中学校学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 61 年度	コンクリートブロック
	大田原	4	西原小学校学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 60 年度	コンクリートブロック
	金田	5	奥沢小学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 58 年度	コンクリートブロック
	金田	6	市野沢小学校開放用屋外トイレ	直営		33	平成 20 年度	コンクリートブロック
	金田	7	羽田小学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 57 年度	コンクリートブロック
	金田	8	金丸小学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 57 年度	コンクリートブロック
	金田	9	金田北中学校開放用屋外トイレ	直営		26	昭和 53 年度	コンクリートブロック
	金田	10	金田南中学校開放用屋外トイレ	直営		26	平成 3 年度	コンクリートブロック
	親園	11	宇田川小学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 58 年度	コンクリートブロック
	親園	12	親園中学校開放用屋外トイレ	直営		26	昭和 54 年度	コンクリートブロック
	親園	13	親園小学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 56 年度	コンクリートブロック
	野崎	14	石上小学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 59 年度	コンクリートブロック
	野崎	15	薄葉小学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 56 年度	コンクリートブロック
	野崎	16	野崎中学校開放用屋外トイレ	直営		26	昭和 54 年度	コンクリートブロック
	佐久山	17	佐久山中学校学校開放用屋外トイレ	直営		32	平成 23 年度	コンクリートブロック
	佐久山	18	佐久山小学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 59 年度	コンクリートブロック
	佐久山	19	福原小学校学校開放用屋外トイレ	直営		30	昭和 60 年度	コンクリートブロック

適応指導教室は 1 施設あり、延床面積は 388 ㎡です。

給食センターは 1 施設あり、延床面積は 1,068 ㎡です。

学校開放用屋外トイレは 19 施設あり、延床面積は合計 558 ㎡です。

図 4-9-1 その他教育施設の配置状況

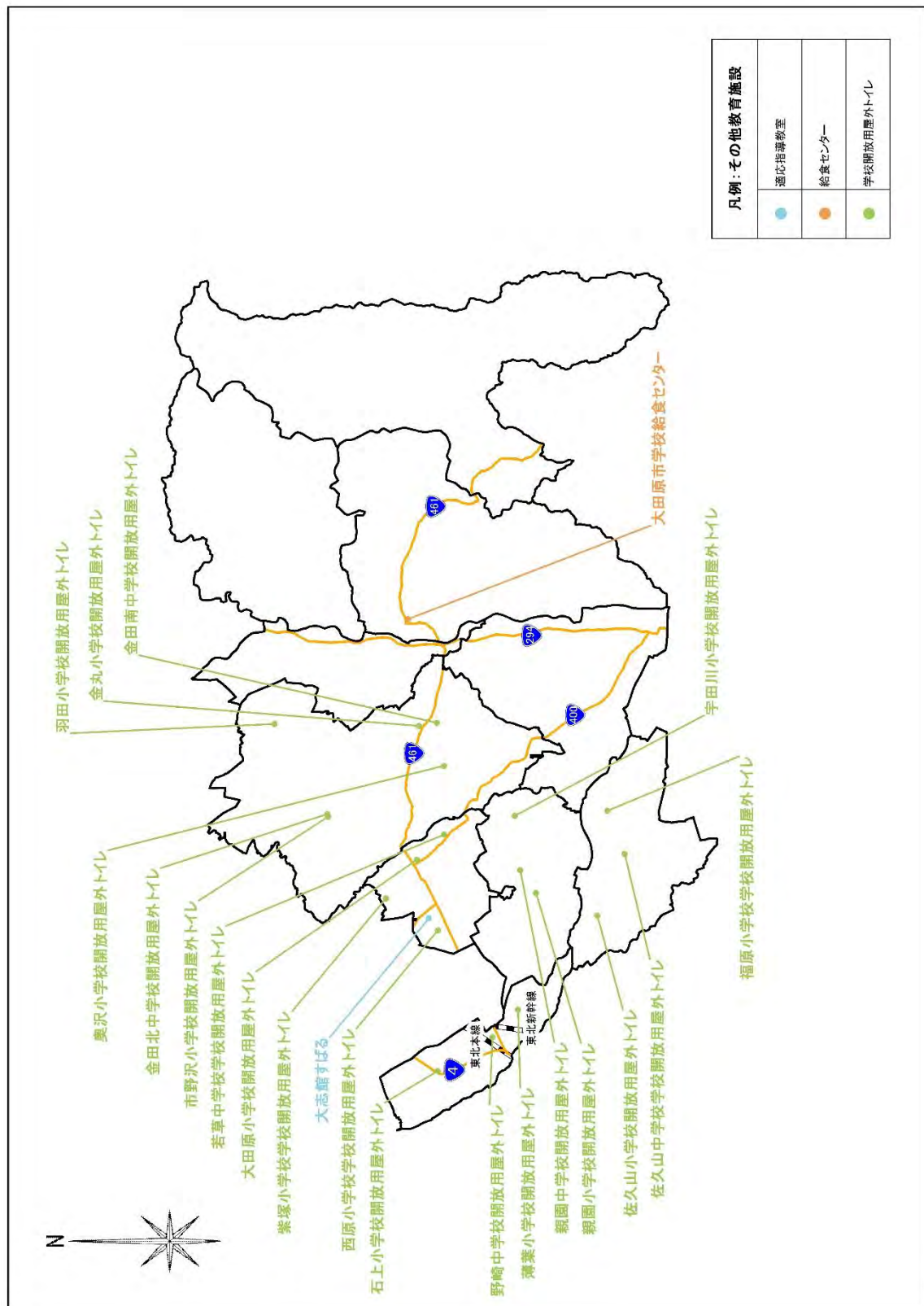


表 4-9-2 その他教育施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
適応指導教室											
大志館すばる	942	11,526	12,468	2,338	5,333	2,669	15,137	6,474	0	15,137	—
小計	942	11,526	12,468	2,338	5,333	2,669	15,137	6,474	0	15,137	0
給食センター											
大田原市学校給食センター	47,888	59,982	107,870	—	—	9,960	117,831	—	49,667	68,164	—
小計	47,888	59,982	107,870	0	0	9,960	117,831	0	49,667	68,164	0
学校開放用屋外トイレ											
大田原小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
紫塚小学校学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
若草中学校学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
西原小学校学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
奥沢小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
市野沢小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	99	99	—	0	99	—
羽田小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
金丸小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
金田北中学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
金田南中学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	77	77	—	0	77	—
宇田川小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
親園中学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	77	77	—	0	77	—
親園小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	89	89	—	0	89	—
石上小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
薄葉小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	89	89	—	0	89	—
野崎中学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	77	77	—	0	77	—
佐久山中学校学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	95	95	—	0	95	—
佐久山小学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
福原小学校学校開放用屋外トイレ	0	0	0	—	—	88	88	—	0	88	—
小計	0	0	0	0	0	1,583	1,583	0	0	1,583	0
合計	48,830	71,508	120,339	2,338	51,471	14,213	134,552	57,550	49,667	84,885	0

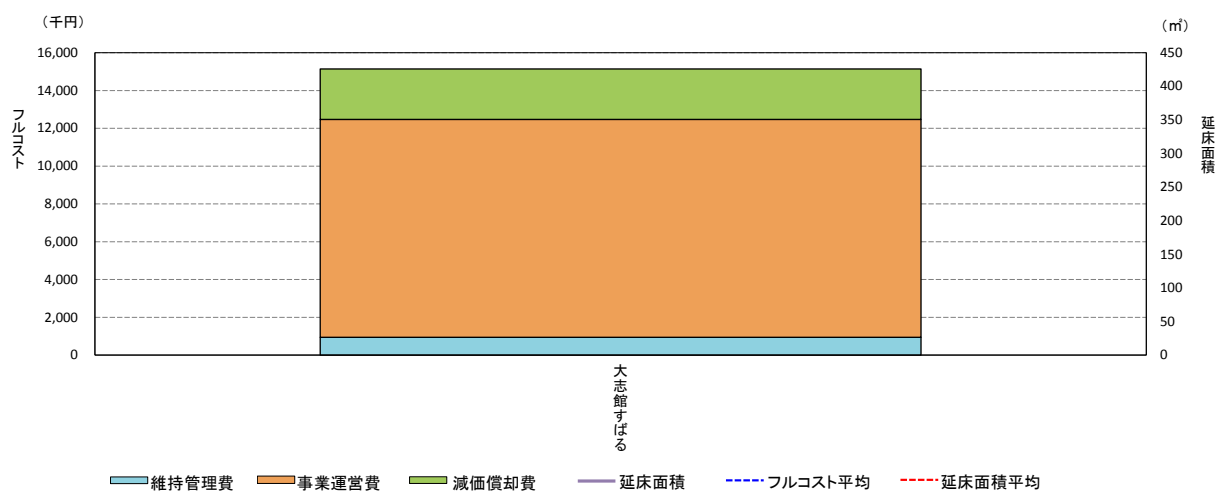
適応指導教室の延利用者数は 2,338 人で、施設にかかるフルコストは 15,137 千円です。

給食センターの施設にかかるフルコストは 117,831 千円です。

学校開放用屋外トイレの施設にかかるフルコストは 1,583 千円です。

① 〔その他教育施設〕 適応指導教室の状況

図 4-9-2 適応指導教室のフルコストと延床面積



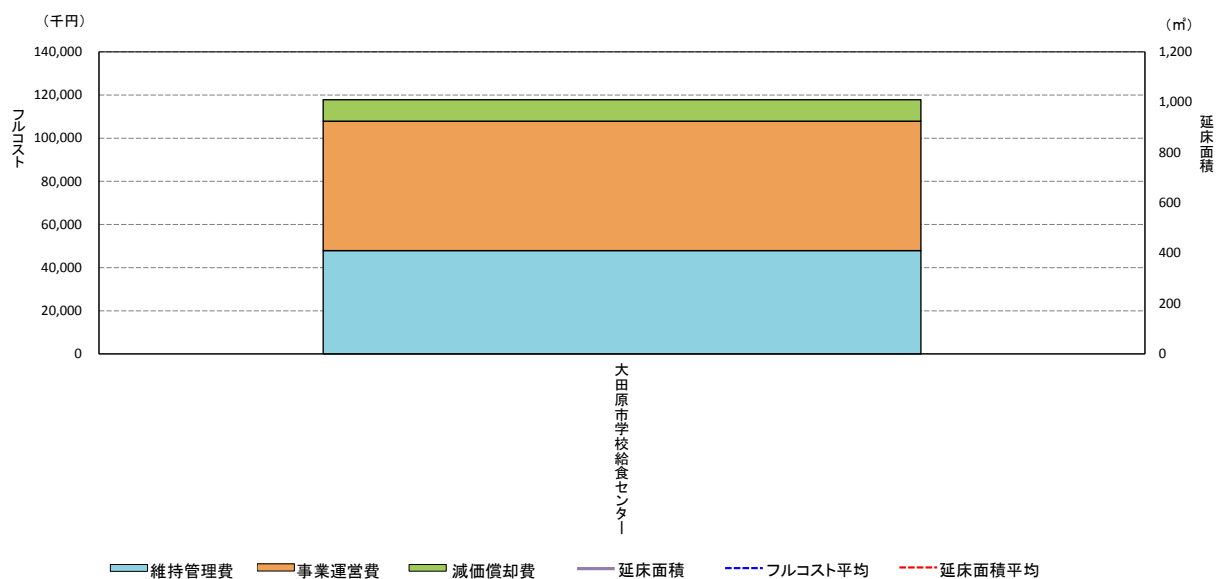
大志館すばるの延床面積は 388 ㎡で、フルコストは 15,137 千円です。

適応指導教室は大志館すばるの 1 施設で、本市の直営施設です。

年間利用者数は 2,338 人で、フルコストは 15,137 千円のため、利用者一人当たりのフルコストは 5,333 円です。

② 〔その他教育施設〕 給食センターの状況

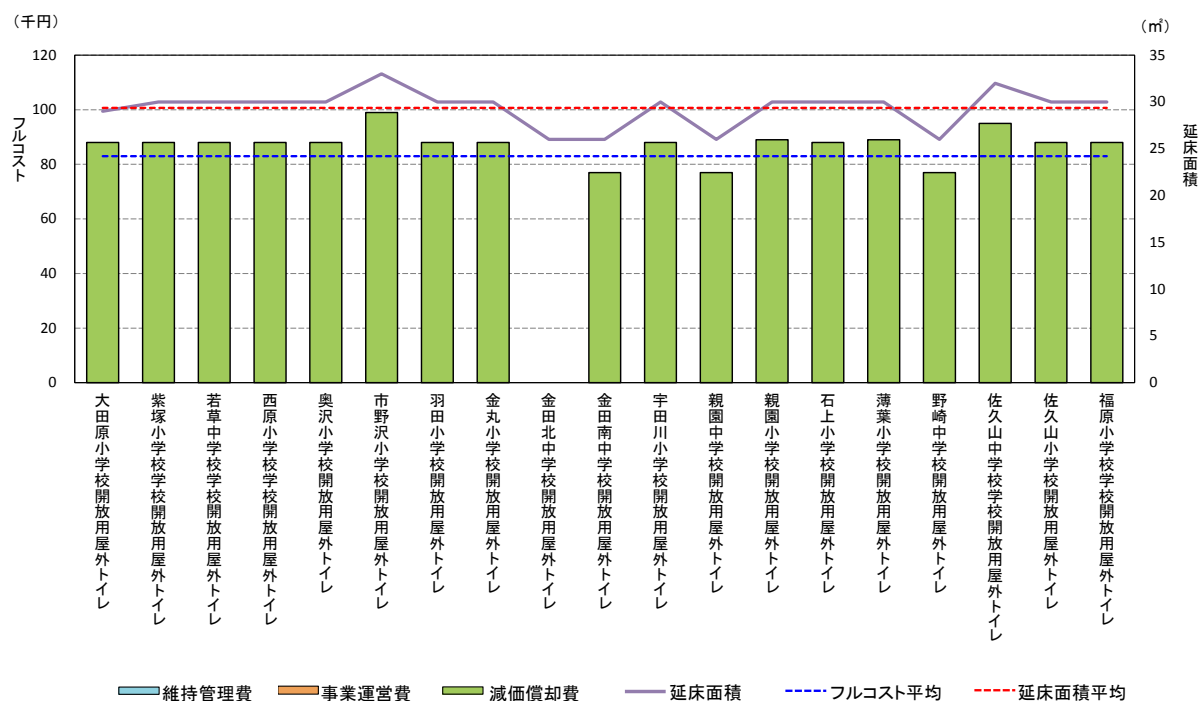
図 4-9-3 給食センターのフルコストと延床面積



大田原市学校給食センターの延床面積は 1,068 ㎡で、フルコストは 117,831 千円です。

③ 〔その他教育施設〕学校開放用屋外トイレの状況

図 4-9-4 学校開放用屋外トイレのフルコストと延床面積



学校開放用屋外トイレのうち、延床面積が最も広いのは、市野沢小学校開放用屋外トイレの 33 ㎡で、次いで佐久山中中学校開放用屋外トイレの 32 ㎡です。また、学校開放用屋外トイレのうち、フルコストが最も高いのは、市野沢小学校開放用屋外トイレの 99 千円で、次いで佐久山中中学校開放用屋外トイレの 95 千円です。

10 幼保・こども園の状況

表 4-10-1 幼保・こども園の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
保育園	大田原	1	しんとみ保育園	直営	●	1,701	平成 19年度	軽量鉄骨造
	湯津上	2	ゆづかみ保育園	直営	●	1,283	平成 21年度	鉄骨造
	黒羽	3	くろばね保育園	直営	●	1,520	平成 14年度	木造
	須賀川	4	すさぎ保育園	直営		676	昭和 37年度	木造

保育園は 4 施設あり、延床面積は合計 5,180 ㎡です。

図 4-10-1 幼保・こども園の配置状況

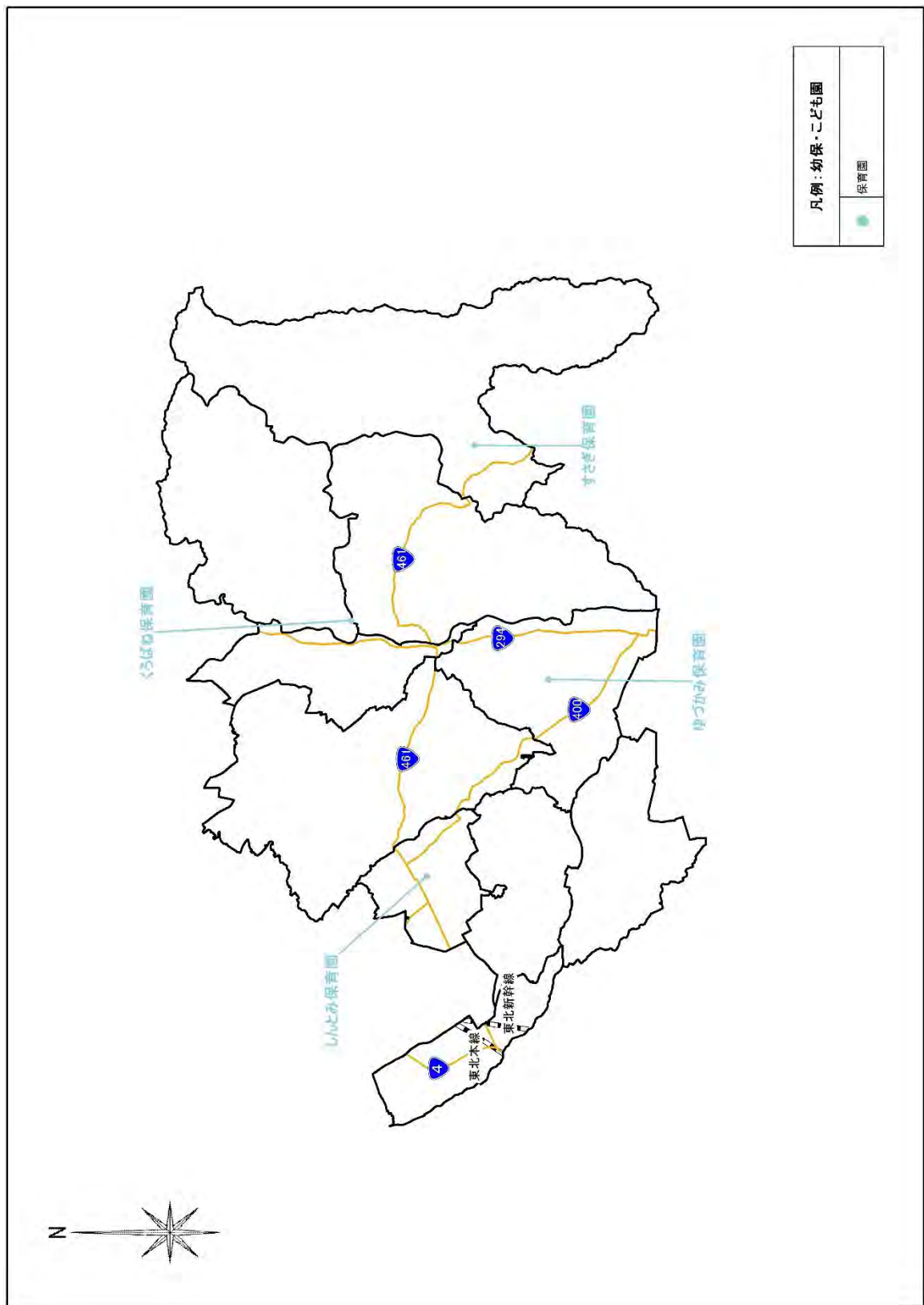


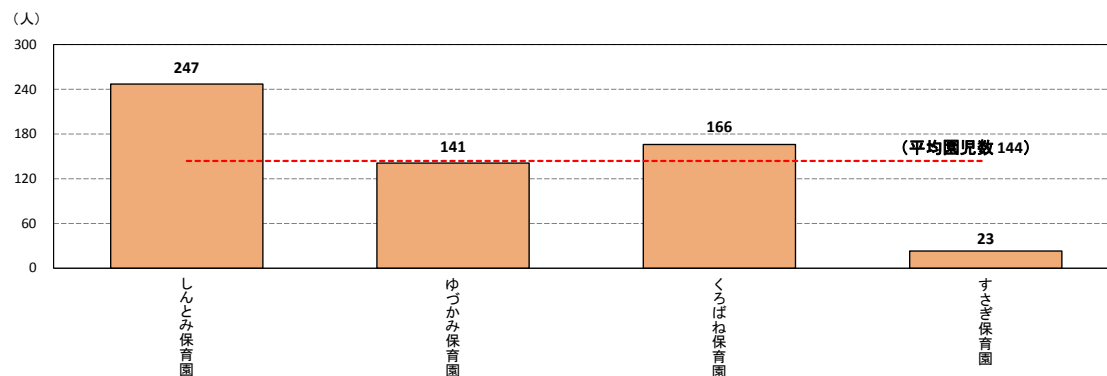
表 4-10-2 幼保・こども園の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	園児数 (人)	園児数 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	園児数 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
保育園											
しんとみ保育園	7,565	25,746	33,312	247	134,868	15,713	49,026	198,487	875	48,150	—
ゆづかみ保育園	5,447	17,337	22,784	141	161,591	11,886	34,670	245,889	182	34,487	—
くろばね保育園	7,469	18,258	25,728	166	154,989	10,857	36,586	220,398	266	36,319	—
すさぎ保育園	1,464	4,951	6,415	23	278,949	1,291	7,707	335,109	31	7,675	—
小計	21,947	66,293	88,240	577	152,930	39,749	127,990	221,820	1,356	126,633	0
合計	21,947	66,293	88,240	577	152,930	39,749	127,990	221,820	1,356	126,633	0

保育園の園児数は合計 577 人で、施設にかかるフルコストは合計 127,990 千円です。

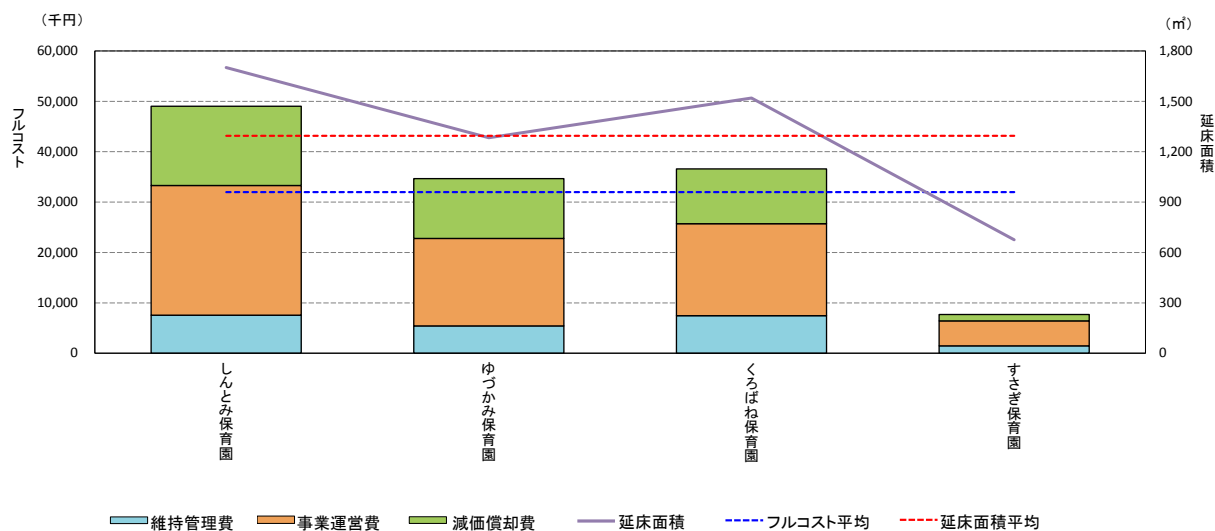
① 〔幼保・こども園〕 保育園の状況

図 4-10-2 保育園の園児数



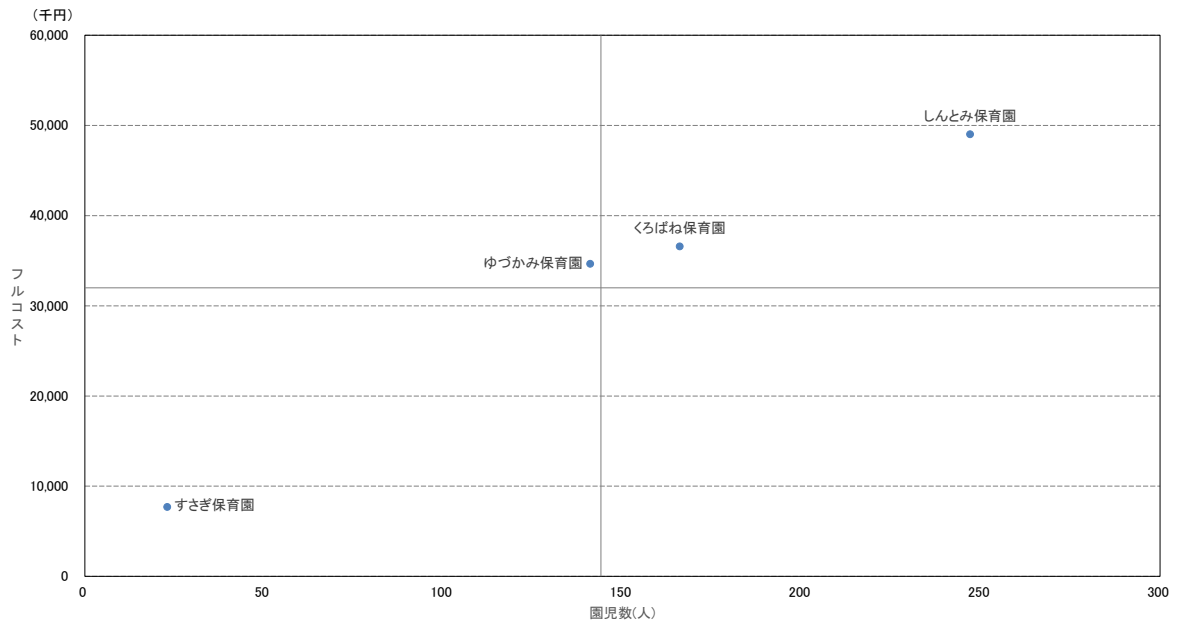
保育園のうち、平成 25 年度の園児数が最も多いのは、しんとみ保育園の 247 人で、次いでくらばね保育園の 166 人です。また、最も園児数が少ないのは、すさぎ保育園の 23 人で、次いでゆづかみ保育園の 141 人です。

図 4-10-3 保育園のフルコストと延床面積



保育園のうち、延床面積が最も広いのは、しんとみ保育園の 1,701 ㎡で、次いでくらばね保育園の 1,520 ㎡です。また、フルコストが最も高いのは、しんとみ保育園の 49,026 千円で、次いでくらばね保育園の 36,586 千円です。

図 4-10-4 保育園の園児数とフルコスト



保育園は、大田原地域、湯津上地域、黒羽地域、須賀川地域にそれぞれ1施設あり、全て本市による運営管理です。なお、すさぎ保育園は昭和37年度建築で、老朽化が進んでいます。

しんとみ保育園はフルコストが50,000千円近くあり、他の保育園に比べて高い水準にあります。ただし、園児数が多いため、園児一人当たりのフルコストは198,487円/人となり、他の保育園に比べて低い水準にあります。

保育園は、今後の地域ごとの人口動態を見据え、保育所総数や設置地域の検討が必要です。

1 1 幼児・児童施設の状況

表 4-11-1 幼児・児童施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
学童保育館	大田原	1	わくわく学童保育館	直営		115	平成 10年度	木造
	大田原	2	大田原学童保育館	直営		254	昭和 57年度	鉄骨造
	大田原	3	西原学童保育館	直営	●	163	平成 9年度	鉄骨造
	金田	4	市野沢学童保育館	直営		184	平成 3年度	木造
	野崎	5	うすばアットホーム	直営		220	平成 5年度	鉄骨造
	湯津上	6	湯津上学童保育館	直営		206	昭和 55年度	木造
	黒羽	7	黒羽学童保育館	直営		402	平成 18年度	木造
子育て支援センター	大田原	1	子ども未来館	指定管理者	●	2,108	平成 25年度	鉄骨造
	大田原	2	子育てプラザ館	直営		794	平成 14年度	鉄骨造
	佐久山	3	つどいの広場さくやま	直営		250	昭和 42年度	鉄骨造

学童保育館は 7 施設あり、延床面積は合計 1,544 ㎡です。

子育て支援センターは 3 施設あり、延床面積は合計 3,152 ㎡です。

図 4-11-1 幼児・児童施設の配置状況

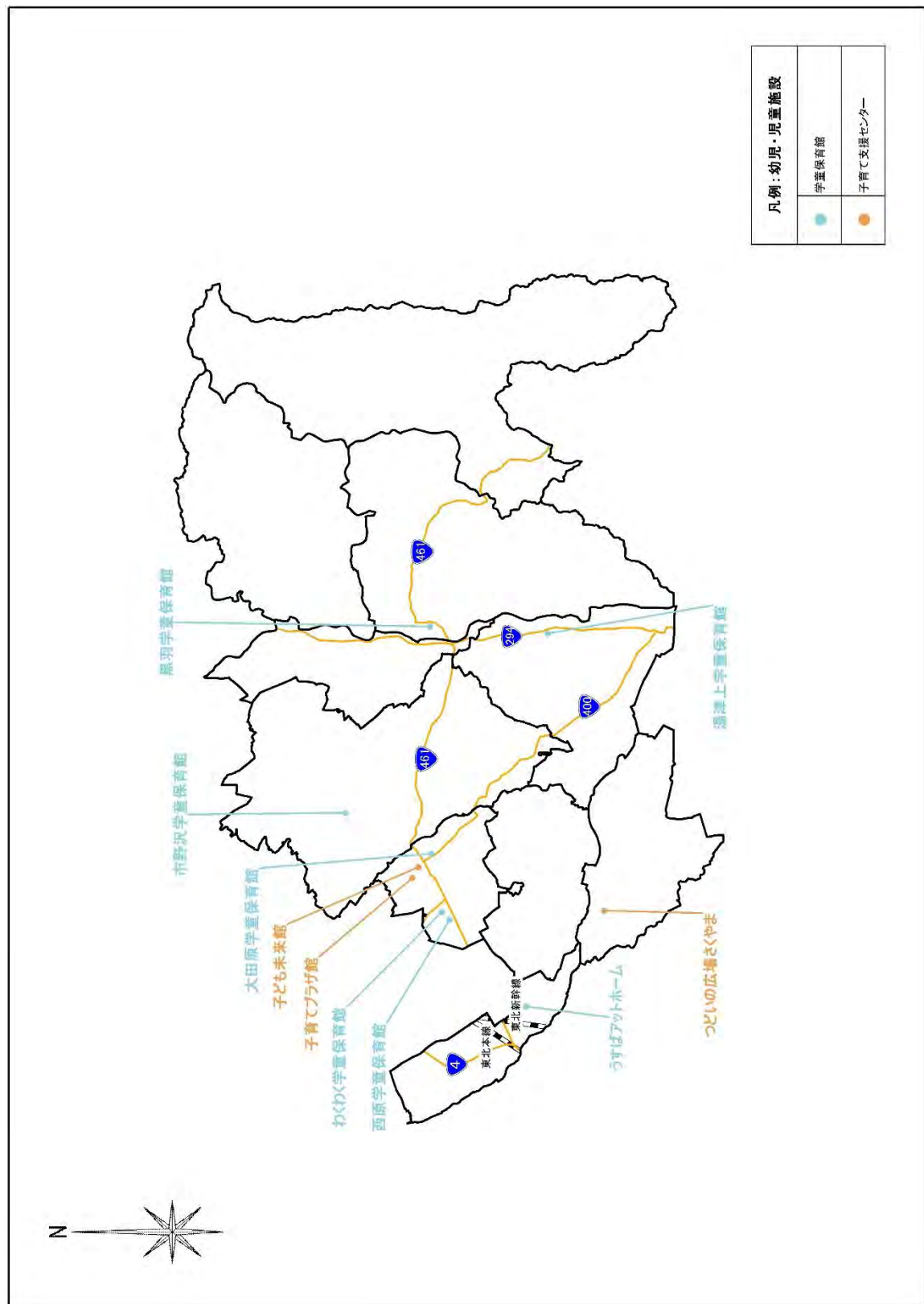


表 4-11-2 幼児・児童施設の利用度とコストの一覧

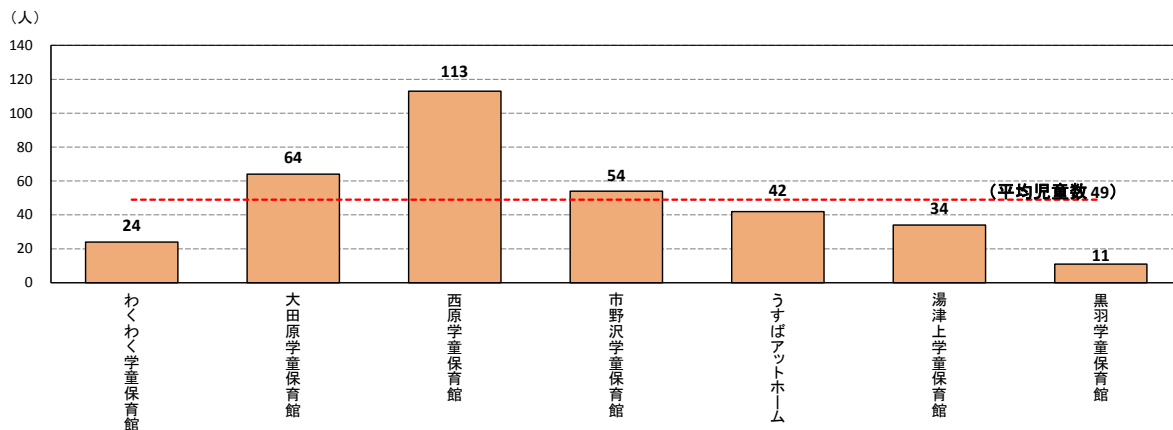
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	児童数/ 利用者数 (人)	児童/ 利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	児童/ 利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
学童保育館											
わくわく学童保育館	900	5,335	6,235	24	259,827	477	6,713	279,730	1,920	4,793	5,010
大田原学童保育館	1,180	11,534	12,715	64	198,683	1,091	13,806	215,733	5,151	8,655	7,564
西原学童保育館	2,289	18,188	20,477	113	181,220	446	20,924	185,175	9,754	11,170	10,825
市野沢学童保育館	2,195	10,280	12,475	54	231,031	1,712	14,188	262,752	4,131	10,056	8,344
うすばアットホーム	786	7,213	7,999	42	190,464	1,580	9,579	228,092	3,348	6,231	4,651
湯津上学童保育館	812	7,079	7,891	34	232,116	0	7,891	232,116	2,711	5,180	5,180
黒羽学童保育館	562	5,478	6,040	11	549,138	1,662	7,703	700,297	896	6,806	5,144
小計	8,727	65,109	73,837	342	215,898	6,971	80,809	236,283	27,915	52,893	46,718
子育て支援センター											
子ども未来館	38,381	11,971	50,352	89,798	560	0	50,352	560	405	49,946	6,300
子育てプラザ館	754	10,107	10,861	3,284	3,307	1,410	12,272	3,737	2,660	9,611	—
つどいの広場さくやま	235	8,275	8,510	3,158	2,694	0	8,510	2,694	1,485	7,025	—
小計	39,370	30,354	69,724	96,240	724	1,410	71,135	739	4,551	66,584	6,300
合計	48,097	95,464	143,561	96,582	1,486	8,382	151,944	1,573	32,466	119,477	53,018

学童保育館の延児童数の合計は 342 人で、施設にかかるフルコストは合計 80,809 千円です。

子育て支援センターの延利用者数は合計 96,240 人で、施設にかかるフルコストは合計 71,135 千円です。

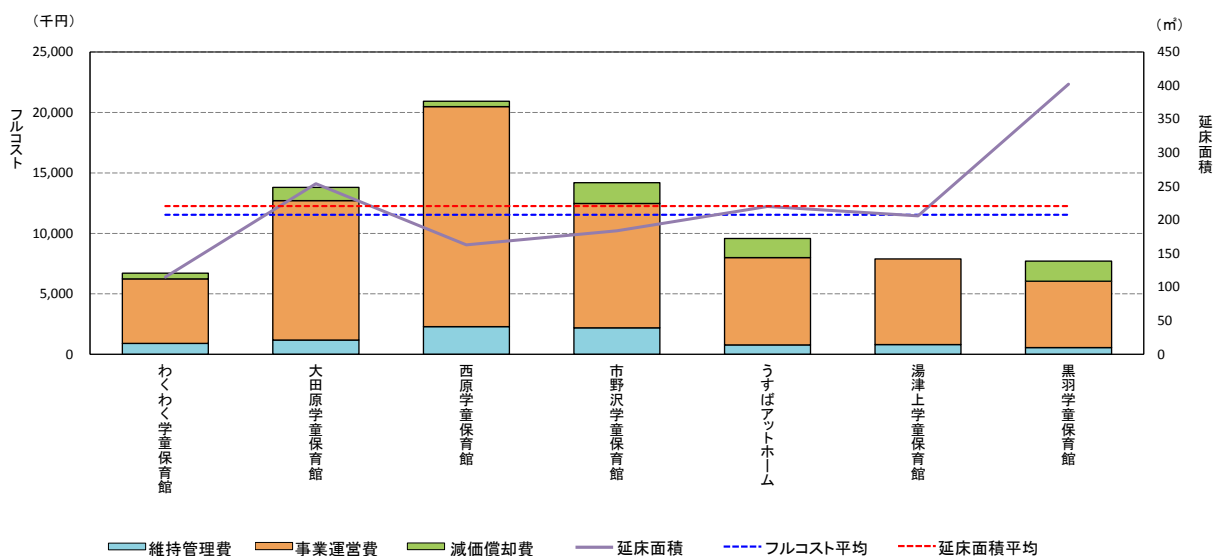
① 〔幼児・児童施設〕学童保育館の状況

図 4-11-2 学童保育館の児童数



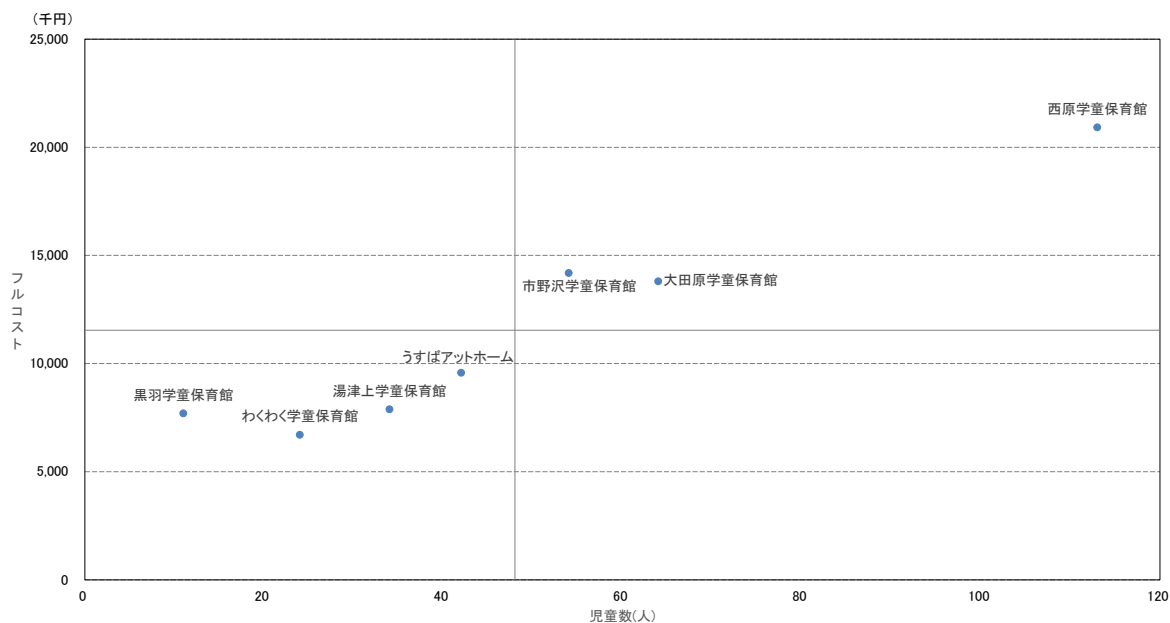
学童保育館のうち、平成 25 年度の児童数が最も多いのは、西原学童保育館の 113 人で、次いで大田原学童保育館の 64 人です。また、最も児童数が少ないのは、黒羽学童保育館の 11 人で、次いでわくわく学童保育館の 24 人です。

図 4-11-3 学童保育館のフルコストと延床面積



学童保育館のうち、延床面積が最も広いのは、黒羽学童保育館の 402 ㎡で、次いで大田原学童保育館の 254 ㎡です。また、学童保育館のうち、フルコストが最も高いのは、西原学童保育館の 20,924 千円で、次いで市野沢学童保育館の 14,188 千円です。

図 4-11-4 学童保育館の児童数とフルコスト

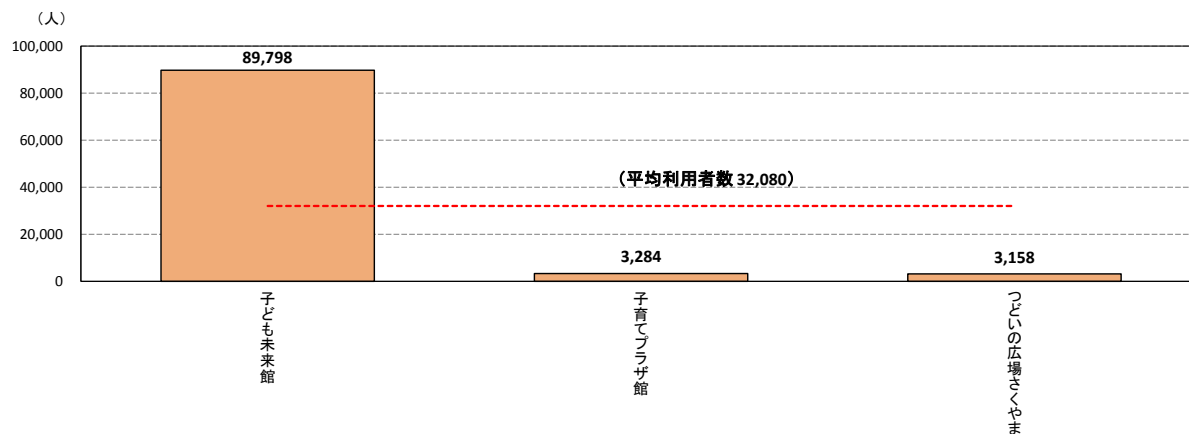


学童保育館は7施設あり、全て本市による運営管理です。また、大田原学童保育館、湯津上学童保育館は、昭和50年代建築であり、老朽化が進んでいます。

西原学童保育館以外の施設は、児童数が100人を下回っており、児童数が最も少ないのは黒羽学童保育館の11人です。しかし、延床面積が最も広いのも黒羽学童保育館であるため、今後の児童数の動向も踏まえた検討が必要です。

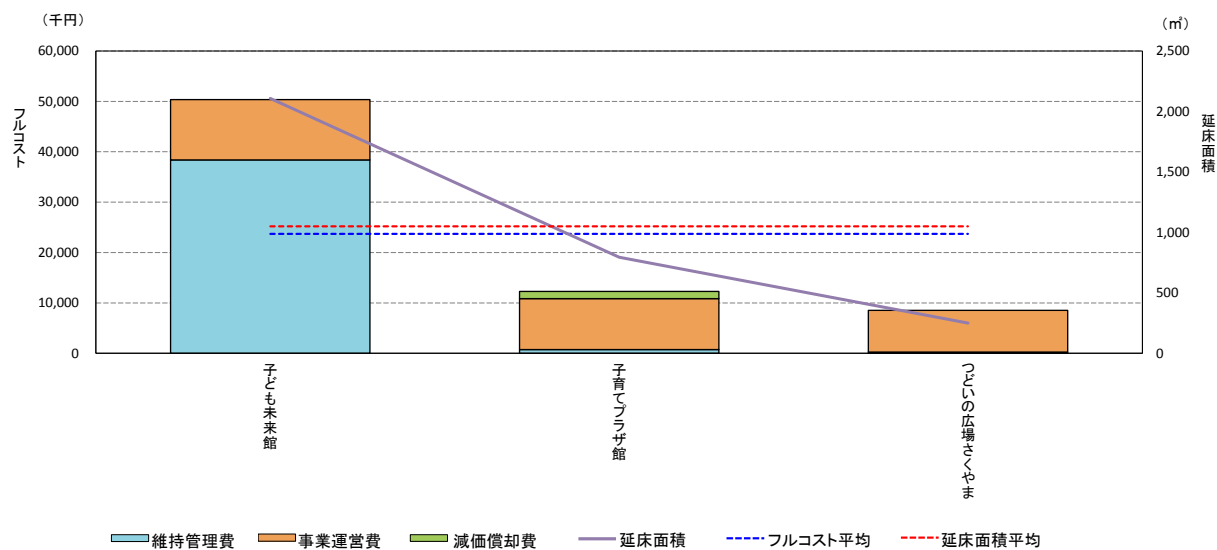
② 〔幼児・児童施設〕子育て支援センターの状況

図 4-11-5 子育て支援センターの利用者数



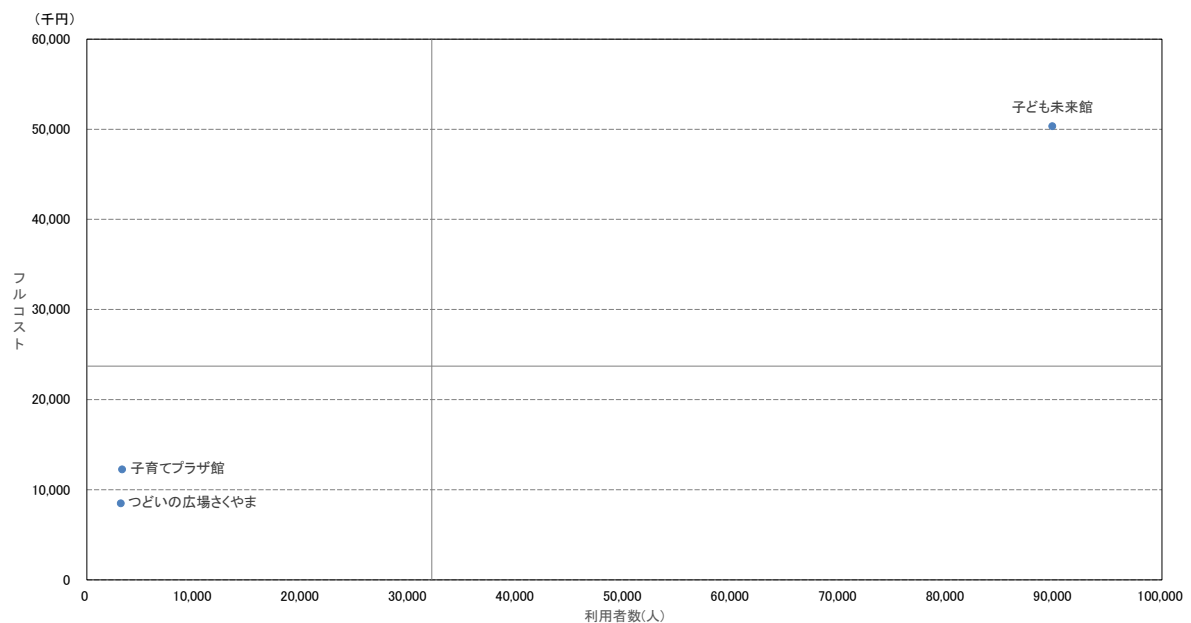
子育て支援センターのうち、年間の利用者数が最も多いのは、子ども未来館の 89,798 人で、次いで子育てプラザ館の 3,284 人です。

図 4-11-6 子育て支援センターのフルコストと延床面積



子育て支援センターのうち、延床面積が最も広いのは、子ども未来館の 2,108 ㎡で、次いで子育てプラザ館の 794 ㎡です。また、子育て支援センターのうち、フルコストが最も高いのは、子ども未来館の 50,352 千円で、次いで子育てプラザ館の 12,272 千円です。

図 4-11-7 子育て支援センターの利用者数とフルコスト



子育て支援センターは3施設あり、子ども未来館は指定管理者による運営管理、残り2施設は本市による運営管理です。

利用者数とフルコストの関係では、子ども未来館のフルコストは60,000千円を超えていますが、年間利用者数も90,000人近くいるため、利用者一人当たりのフルコストは684円と低い水準です。

つどいの広場さくやまは、昭和42年度建築で老朽化が進んでおり、早急な対応が必要です。

1 2 高齢福祉施設の状況

表 4-12-1 高齢福祉施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
生きがい活動センター	大田原	1	仲町高齢者ほほえみセンター	直営		76	平成 26年度	木造
	大田原	2	元町高齢者ほほえみセンター	直営		144	平成 18年度	木造
	大田原	3	大手清水町高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 18年度	軽量鉄骨造
	大田原	4	寺町高齢者ほほえみセンター	直営		78	昭和 45年度	木造
	大田原	5	工房わかくさ	直営		118	昭和 58年度	鉄骨造
	大田原	6	深川高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 13年度	軽量鉄骨造
	大田原	7	若草高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 13年度	軽量鉄骨造
	大田原	8	西原高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 12年度	軽量鉄骨造
	金田	9	中田原高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 12年度	軽量鉄骨造
	金田	10	市野沢高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 13年度	軽量鉄骨造
	金田	11	福寿草高齢者ほほえみセンター	直営		121	平成 24年度	軽量鉄骨造
	金田	12	金丸高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 12年度	軽量鉄骨造
	金田	13	鹿畑高齢者ほほえみセンター	直営		71	平成 14年度	軽量鉄骨造
	親園	14	親園高齢者ほほえみセンター	直営		68	平成 11年度	軽量鉄骨造
	野崎	15	下石上高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 12年度	軽量鉄骨造
	野崎	16	薄葉高齢者ほほえみセンター	直営		68	平成 11年度	軽量鉄骨造
	佐久山	17	佐久山高齢者ほほえみセンター	直営		73	平成 12年度	軽量鉄骨造
	湯津上	18	佐良土高齢者ほほえみセンター	直営	●	1,086	昭和 49年度	鉄筋コンクリート
	湯津上	19	蛭田高齢者ほほえみセンター	直営		83	平成 19年度	軽量鉄骨造
	黒羽	20	シニアプラザ清流荘	直営		381	平成 11年度	木造
	黒羽	21	希望の家	直営		96	平成 5年度	木造
	黒羽	22	黒羽高齢者ほほえみセンター	直営		133	平成 22年度	軽量鉄骨造
	川西	23	川西高齢者ほほえみセンター	直営		121	平成 20年度	軽量鉄骨造
	両郷	24	両郷高齢者ほほえみセンター	直営	●	128	平成 21年度	鉄骨造
	須賀川	25	川上地域高齢者ほほえみセンター	直営		103	平成 22年度	軽量鉄骨造
	須賀川	26	須佐木高齢者ほほえみセンター	直営		74	平成 18年度	木造
	須賀川	27	須賀川高齢者ほほえみセンター	直営		261	昭和 45年度	木造

生きがい活動センターは 27 施設あり、延床面積は合計 3,867 ㎡です。

図 4-12-1 高齢福祉施設の配置状況

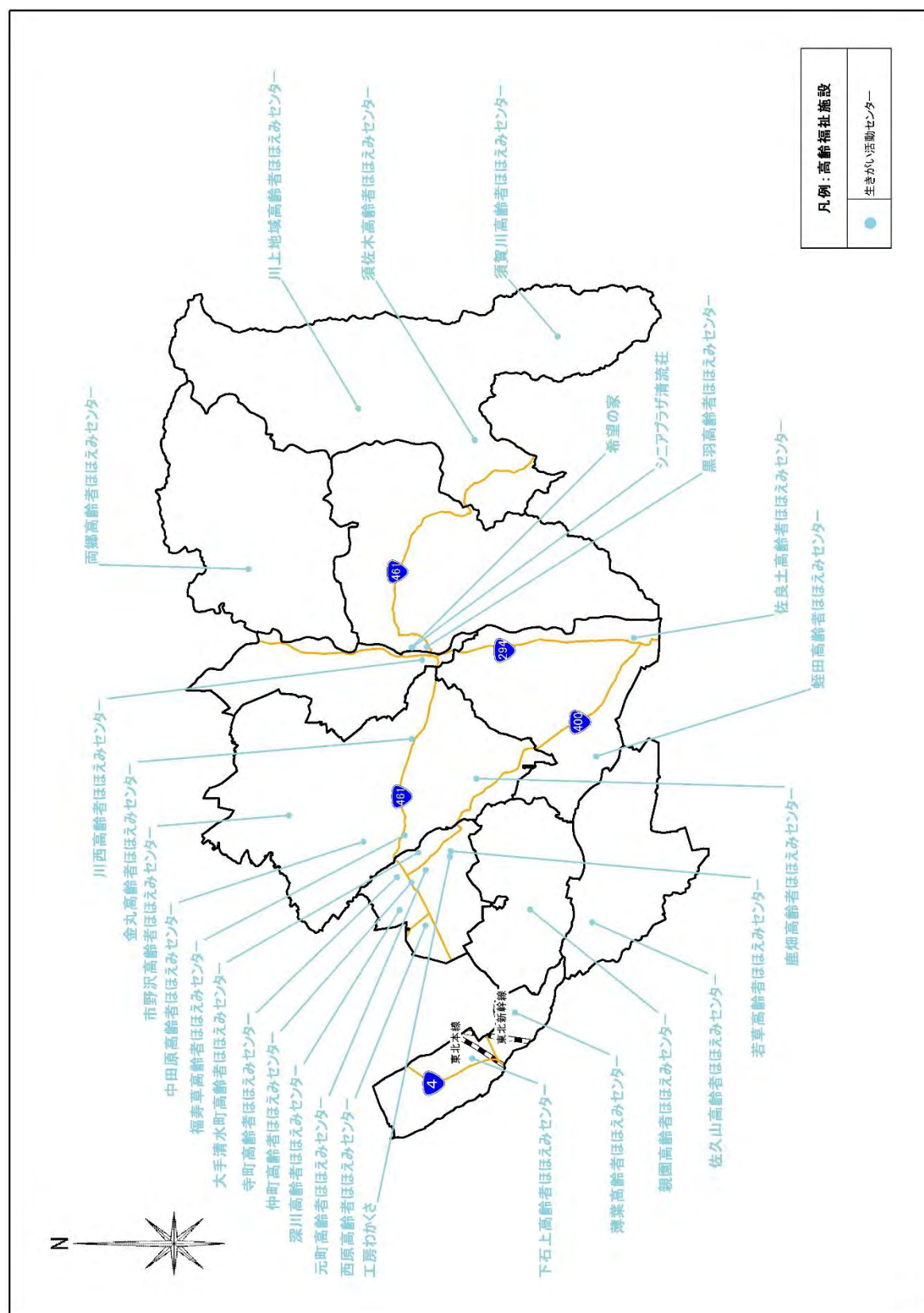


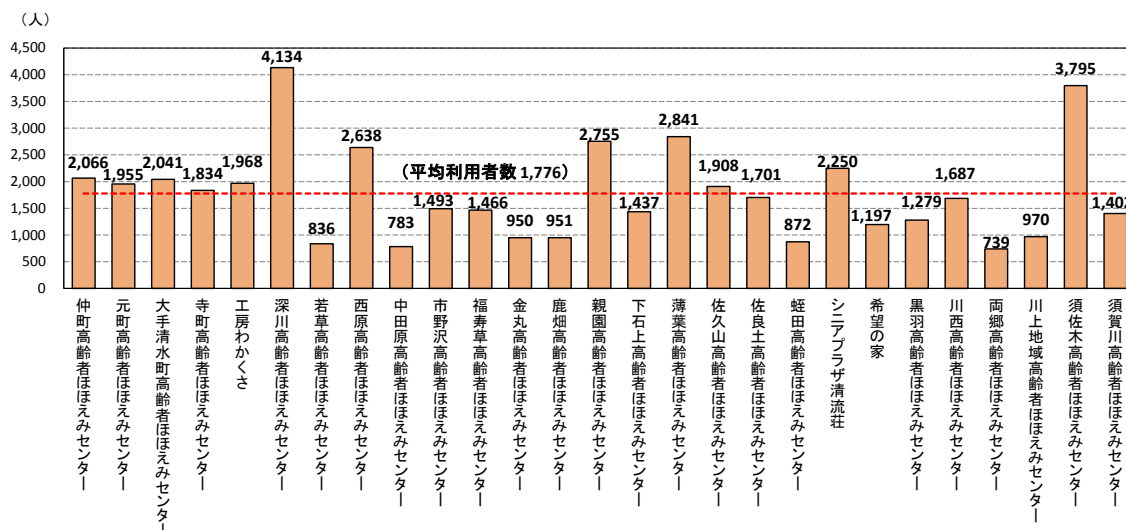
表 4-12-2 高齢福祉施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
生きがい活動センター											
仲町高齢者ほほえみセンター	1,420	1,322	2,742	2,066	1,327	314	3,057	1,479	0	3,057	—
元町高齢者ほほえみセンター	811	816	1,627	1,955	832	597	2,225	1,138	0	2,225	—
大手清水町高齢者ほほえみセンター	260	770	1,030	2,041	504	468	1,498	734	0	1,498	—
寺町高齢者ほほえみセンター	266	850	1,117	1,834	609	0	1,117	609	0	1,117	—
工房わかさ	0	91	91	1,968	46	577	668	339	0	668	—
深川高齢者ほほえみセンター	361	967	1,328	4,134	321	466	1,794	434	0	1,794	—
若草高齢者ほほえみセンター	297	897	1,194	836	1,429	479	1,674	2,002	0	1,674	—
西原高齢者ほほえみセンター	272	1,019	1,292	2,638	489	481	1,773	672	0	1,773	—
中田原高齢者ほほえみセンター	237	683	921	783	1,176	489	1,410	1,801	0	1,410	—
市野沢高齢者ほほえみセンター	240	826	1,067	1,493	714	506	1,574	1,054	0	1,574	—
福寿草高齢者ほほえみセンター	745	492	1,237	1,466	844	1,188	2,425	1,654	0	2,425	—
金丸高齢者ほほえみセンター	273	737	1,011	950	1,064	460	1,471	1,548	0	1,471	—
鹿畑高齢者ほほえみセンター	296	861	1,158	951	1,217	638	1,796	1,889	0	1,796	—
親園高齢者ほほえみセンター	240	1,180	1,420	2,755	515	495	1,915	695	0	1,915	—
下石上高齢者ほほえみセンター	295	786	1,082	1,437	753	497	1,579	1,099	0	1,579	—
薄葉高齢者ほほえみセンター	417	780	1,198	2,841	421	444	1,643	578	0	1,643	—
佐久山高齢者ほほえみセンター	260	627	887	1,908	465	530	1,417	742	0	1,417	—
佐良土高齢者ほほえみセンター	1,355	1,085	2,440	1,701	1,434	12,746	15,187	8,928	0	15,187	—
蛭田高齢者ほほえみセンター	327	934	1,262	872	1,447	627	1,889	2,167	0	1,889	—
シニアプラザ清流荘	1,413	706	2,119	2,250	942	1,578	3,698	1,643	1	3,696	—
希望の家	0	443	443	1,197	370	0	443	370	0	443	—
黒羽高齢者ほほえみセンター	465	820	1,286	1,279	1,005	1,083	2,369	1,852	0	2,369	—
川西高齢者ほほえみセンター	396	972	1,369	1,687	811	950	2,319	1,375	0	2,319	—
両郷高齢者ほほえみセンター	63	1,178	1,242	739	1,681	53	1,295	1,752	0	1,295	—
川上地域高齢者ほほえみセンター	476	755	1,232	970	1,270	887	2,119	2,185	0	2,119	—
須佐木高齢者ほほえみセンター	221	1,010	1,231	3,795	324	305	1,536	404	0	1,536	—
須賀川高齢者ほほえみセンター	396	728	1,124	1,402	802	146	1,271	906	0	1,271	—
小計	11,813	22,347	34,161	47,948	712	27,014	61,176	1,275	1	61,174	0
合計	11,813	22,347	34,161	47,948	712	27,014	61,176	1,275	1	61,174	0

生きがい活動センターの延利用者数は合計 47,948 人で、施設にかかるフルコストは合計 61,176 千円です。

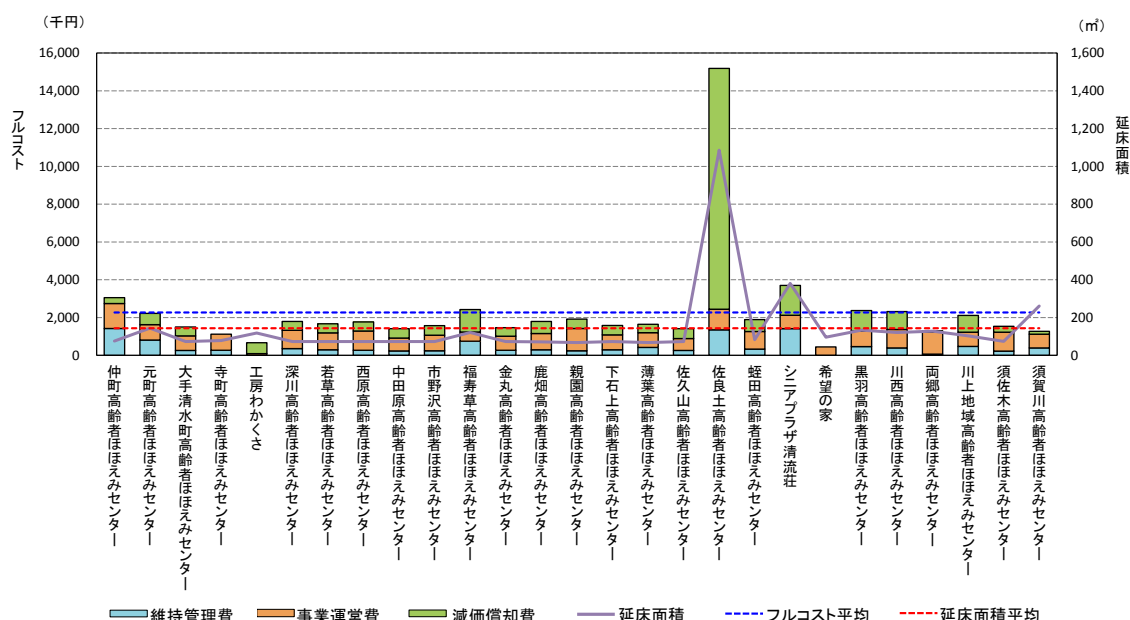
① 〔高齢福祉施設〕生きがい活動センターの状況

図 4-12-2 生きがい活動センターの利用者数



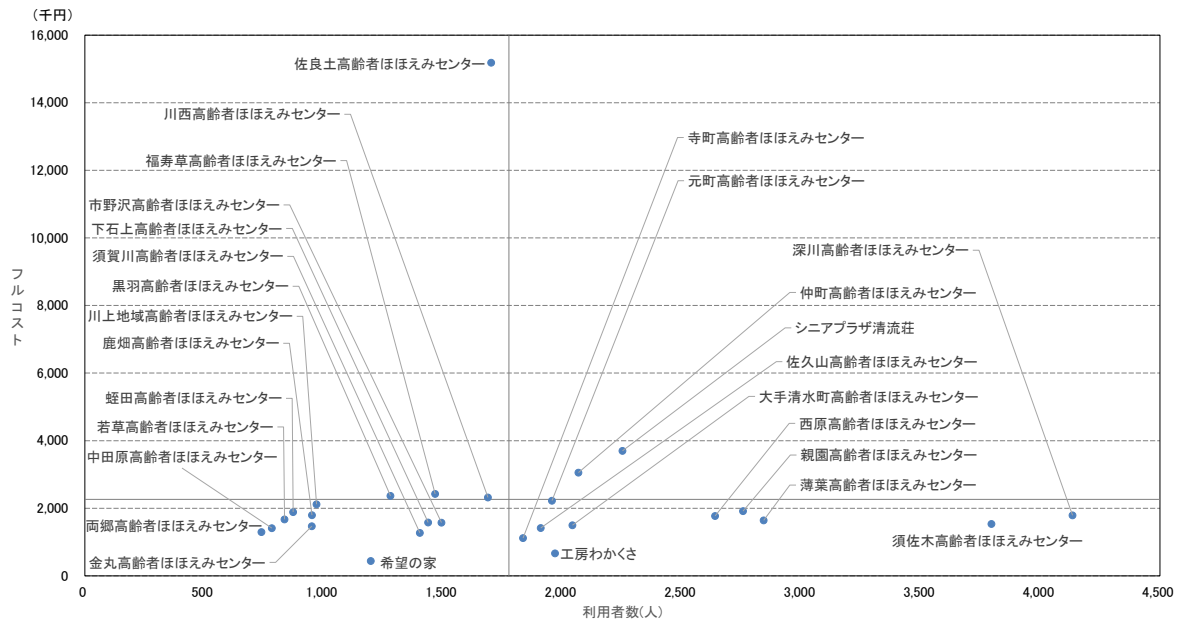
生きがい活動センターのうち、年間の利用者数が最も多いのは、深川高齢者ほほえみセンターの 4,134 人で、次いで須佐木高齢者ほほえみセンターの 3,795 人です。また、最も利用者数が少ないのは、両郷高齢者ほほえみセンターの 739 人で、次いで中田原高齢者ほほえみセンターの 783 人です。

図 4-12-3 生きがい活動センターのフルコストと延床面積



生きがい活動センターのうち、延床面積が最も広いのは、佐良土高齢者ほほえみセンターの 1,086 ㎡で、次いでシニアプラザ清流荘の 381 ㎡です。また、生きがい活動センターのうち、フルコストが最も高いのは、佐良土高齢者ほほえみセンターの 15,187 千円で、次いでシニアプラザ清流荘の 3,698 千円です。

図 4-12-4 生きがい活動センターの利用者数とフルコスト



高齢福祉施設は全部で 27 施設あり、8 施設が大田原地域にあります。また、寺町高齢者ほほえみセンター、佐良土高齢者ほほえみセンター、須賀川高齢者ほほえみセンターは昭和 40 年代建築のため、老朽化が進んでいます。

減価償却費が年間で 27,014 千円計上されていることから分かるように、今後の建替えにあたっては、多額の費用負担が見込まれます。特に佐良土高齢者ほほえみセンターは、延床面積が大きいことから、現在でも多額の減価償却費が計上されているため、大規模修繕・更新にあたっては、多額の費用負担が見込まれます。

高齢者福祉施設については、介護保険制度の成立から期間も経過し、民間事業者も育ってきている社会環境を踏まえて、今後の施設の更新について検討が必要です。

1 3 保健施設の状況

表 4-13-1 保健施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
保健施設	大田原	1	大田原保健センター	直営	●	1,014	昭和 57 年度	鉄筋コンクリート
	須賀川	2	川上健康増進センター	直営		639	平成 8 年度	鉄骨造

保健施設は 2 施設あり、延床面積は合計 1,653 ㎡です。

図 4-13-1 保健施設の配置状況

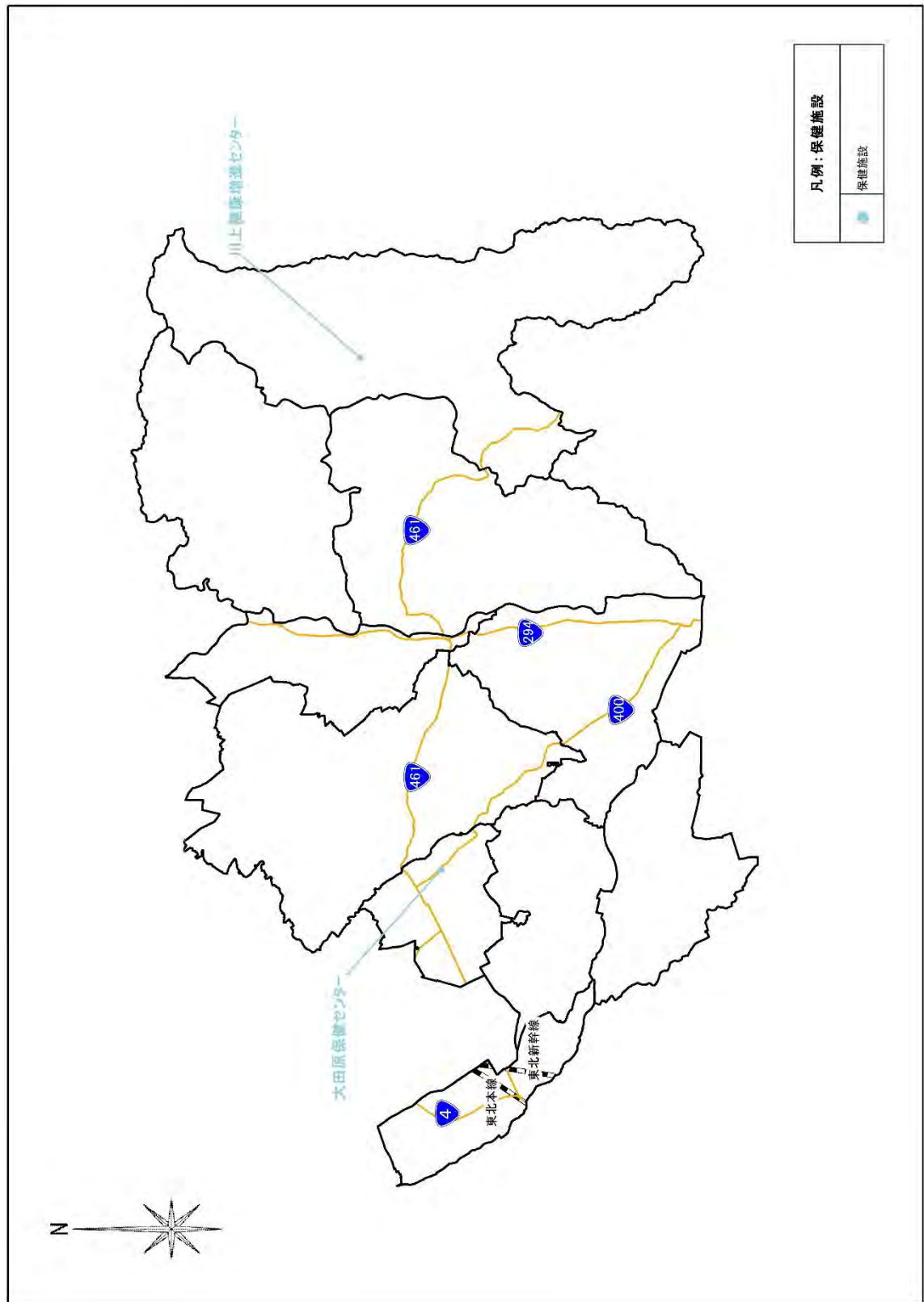


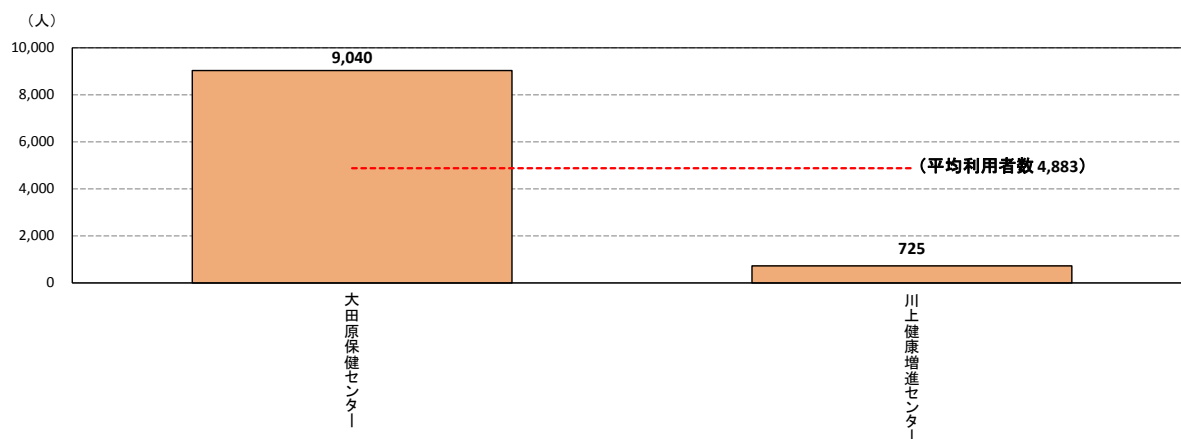
表 4-13-2 保健施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
保健施設											
大田原保健センター	4,012	127	4,139	9,040	457	6,466	10,605	1,173	0	10,605	—
川上健康増進センター	837	0	837	725	1,155	3,179	4,017	5,540	0	4,017	—
小計	4,849	127	4,977	9,765	509	9,645	14,622	1,497	0	14,622	0
合計	4,849	127	4,977	9,765	509	9,645	14,622	1,497	0	14,622	0

保健施設の延利用者数は合計 9,765 人で、施設にかかるフルコストは合計 14,622 千円です。

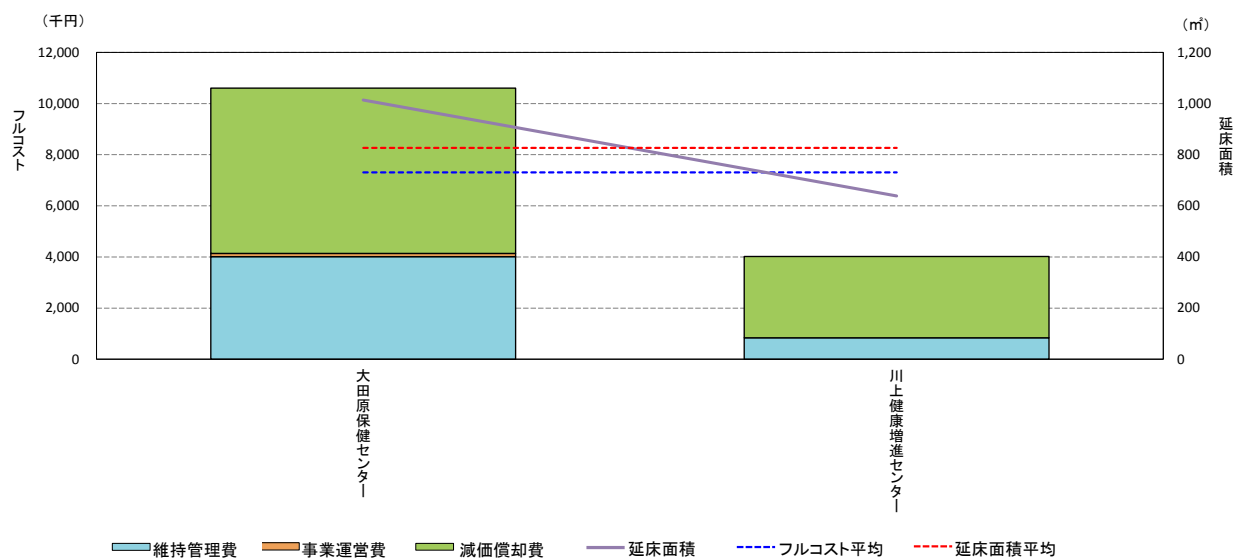
① 〔保健施設〕 保健施設の状況

図 4-13-2 保健施設の利用者数



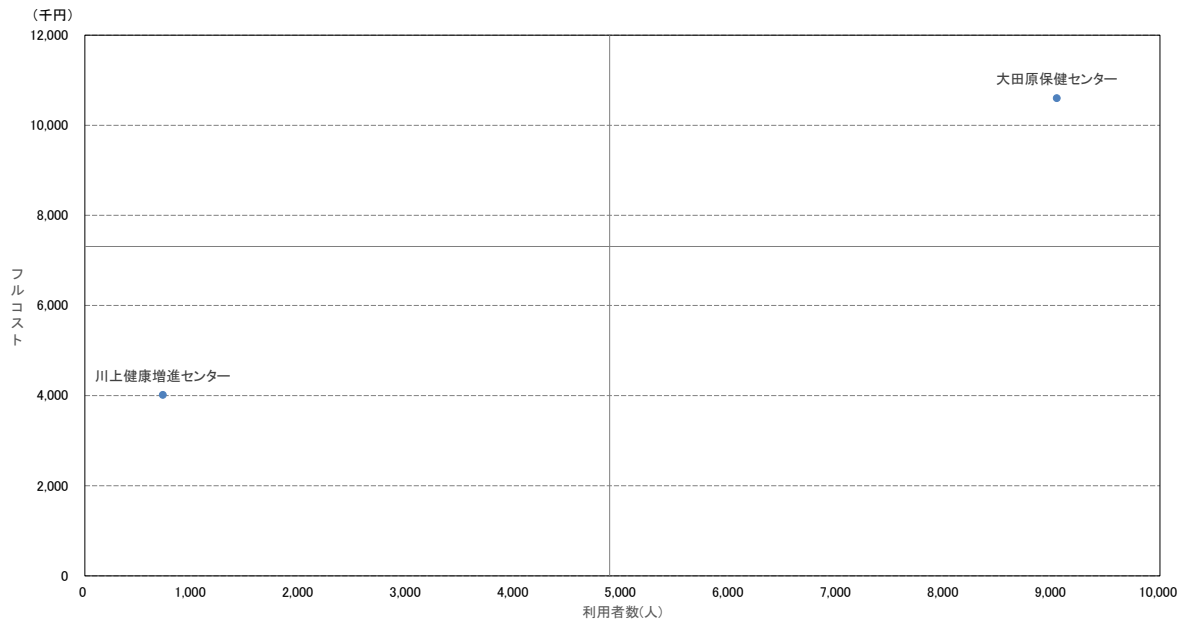
保健施設の年間利用者数は、大田原保健センターが 9,040 人で、川上健康増進センターが 725 人です。

図 4-13-3 保健施設のフルコストと延床面積



保健施設の延床面積は、大田原保健センターが 1,014 ㎡で、川上健康増進センターが 639 ㎡です。また、フルコストは、大田原保健センターが 10,605 千円で、川上健康増進センターが 4,017 千円です。

図 4-13-4 保健施設の利用者数とフルコスト



保健施設は、大田原保健センターと川上健康増進センターの2施設あり、どちらも本市による運営管理です。

利用者数とフルコストの関係では、大田原保健センターのフルコストは10,000千円を超えていますが、年間利用者数も9,000人近くいるため、利用者一人当たりのフルコストは1,173円と低い水準です。また、川上健康増進センターの年間利用者数は725人であるため、フルコストは約4,000千円と大田原保健センターの半分以下ですが、利用者一人当たりのフルコストは5,540円と、大田原保健センターより高い水準です。

大田原保健センターは、昭和50年代建築で老朽化が進んでいます。また、川上健康増進センターは、平成8年度建築のため老朽化は進んでいませんが、施設のあり方について検討が必要です。

1 4 その他社会保険施設の状況

表 4-14-1 その他社会保険施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
福祉センター	大田原	1	福祉センター	指定管理者		743	平成 3 年度	鉄筋コンクリート

福祉センターは 1 施設あり、延床面積は 743 ㎡です。

図 4-14-1 その他社会保険施設の配置状況

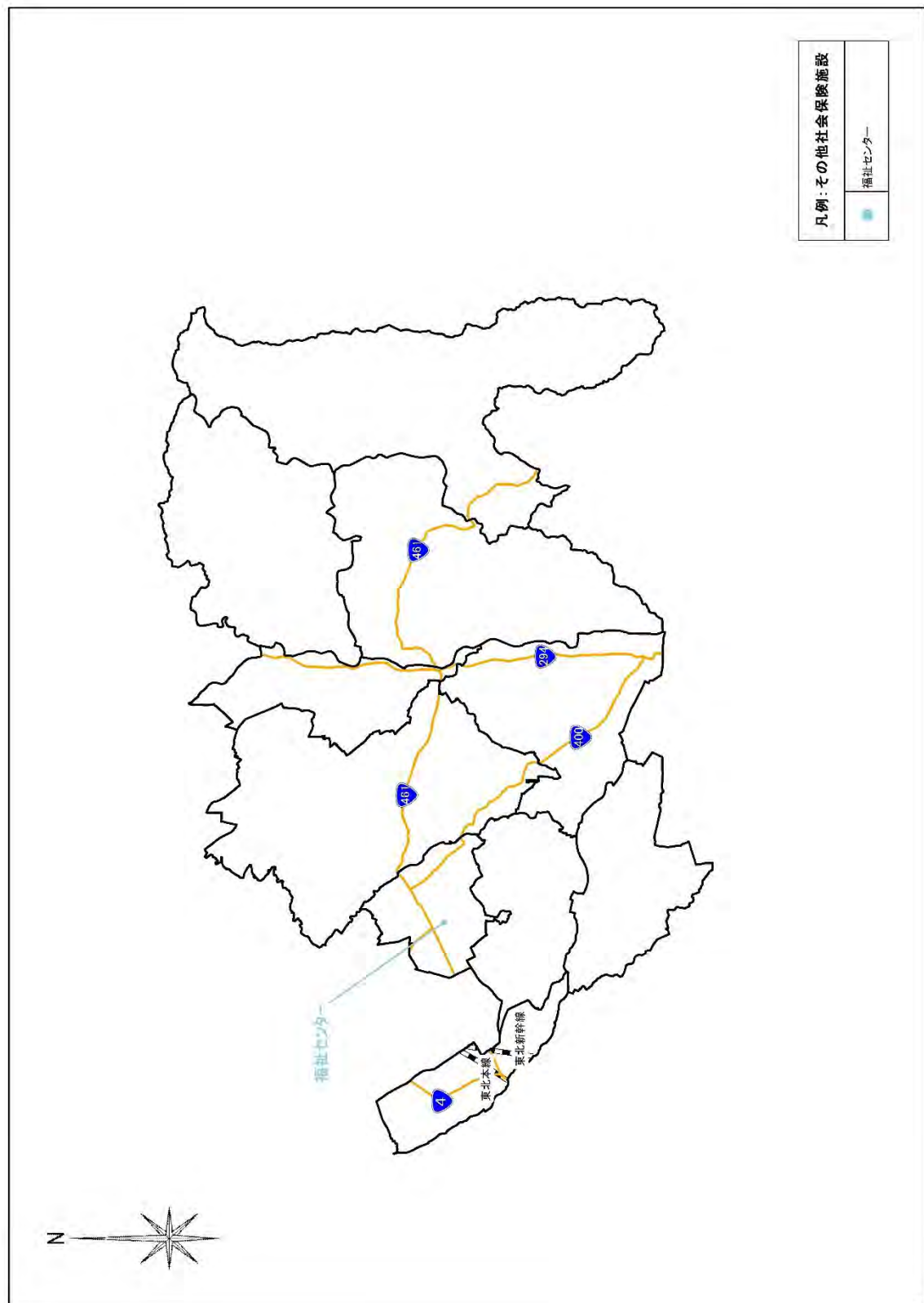


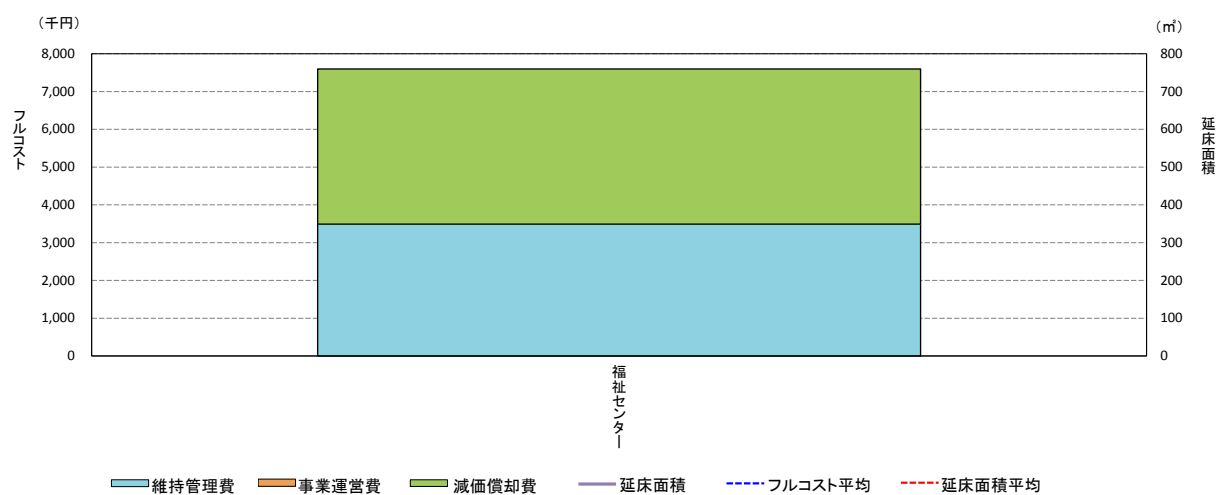
表 4-14-2 その他社会保険施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
福祉センター											
福祉センター	3,491	0	3,491	5,200	671	4,104	7,595	1,460	3,491	4,104	3,700
小計	3,491	0	3,491	5,200	671	4,104	7,595	1,460	3,491	4,104	3,700
合計	3,491	0	3,491	5,200	671	4,104	7,595	1,460	3,491	4,104	3,700

福祉センターの延利用者数の合計は 5,200 人で、施設にかかるフルコストは 7,595 千円です。

① 〔その他社会保険施設〕福祉センターの状況

図 4-14-2 福祉センターのフルコストと延床面積



福祉センターの延床面積は 743 ㎡で、フルコストは 7,595 千円です。

その他社会保険施設は、福祉センターの 1 施設であり、指定管理者による運営管理です。

なお、平成 3 年度建築であることから、老朽化が逼迫しているという状況ではありませんが、市内に 1 施設しかないことから、長寿命化に向けた予防保全的な取組を今から進め、維持更新費用の抑制に努める必要があります。

15 庁舎等の状況

表 4-15-1 庁舎等の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
庁舎	大田原	1	大田原市役所	直営		6,821	昭和 38 年度	鉄筋コンクリート
支所・出張所	湯津上	1	大田原市役所湯津上支所	直営	●	3,615	平成 16 年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	2	大田原市役所黒羽庁舎(観光交流センター・黒羽川西地区コミュニティセンター・黒羽支所)	直営	●	812	平成 20 年度	鉄骨造
	両郷	3	大田原市役所両郷出張所(両郷地区コミュニティセンター)	直営	●	235	平成 21 年度	鉄骨造
	須賀川	4	大田原市役所須賀川出張所(農業構造改善センター)	直営	●	83	平成 1 年度	木造

庁舎は、本庁舎 1 施設で、延床面積は 6,821 ㎡です。

支所・出張所は 4 施設あり、延床面積は合計 4,745 ㎡です。

図 4-15-1 庁舎等の配置状況

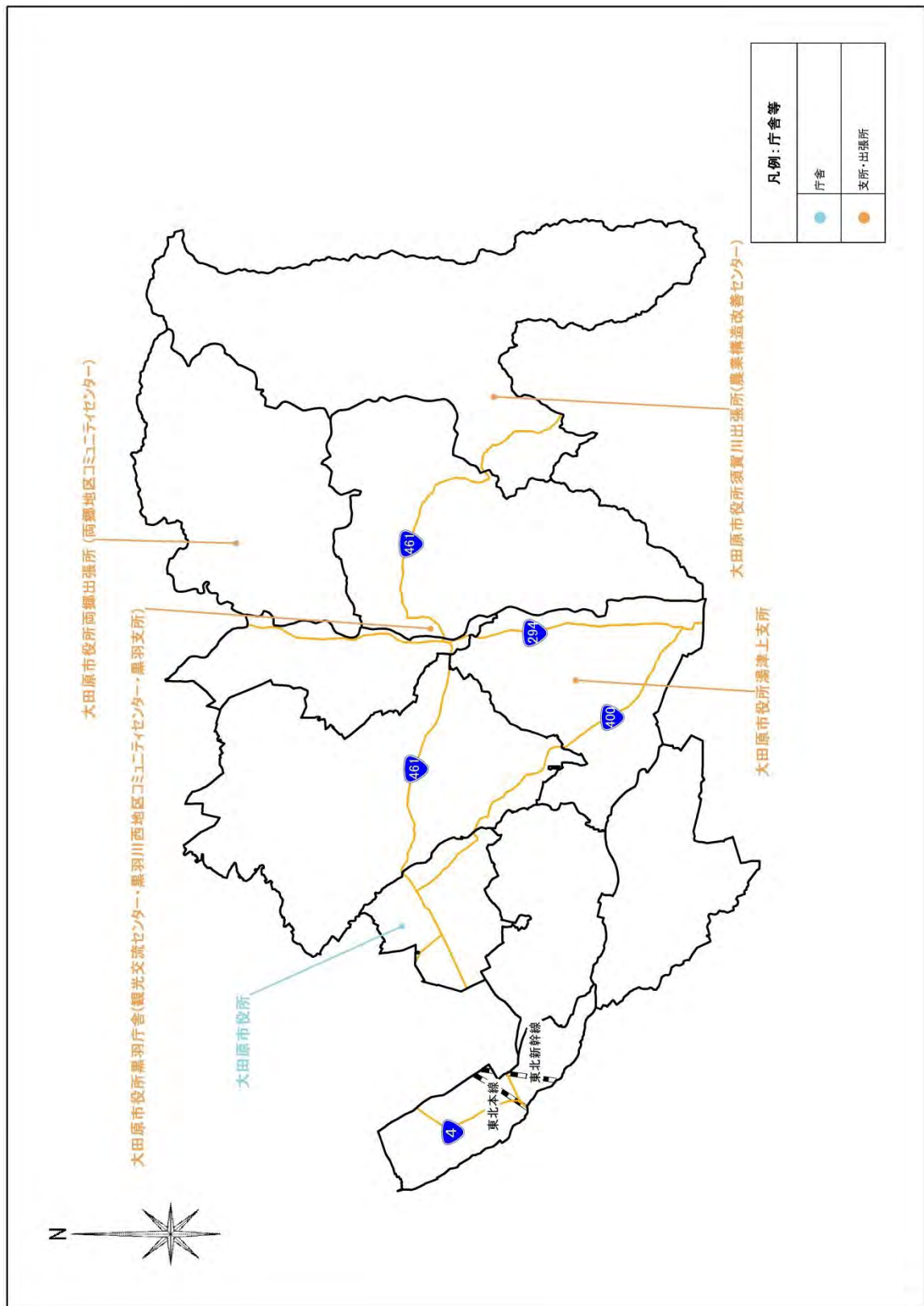


表 4-15-2 庁舎等の利用度とコストの一覧

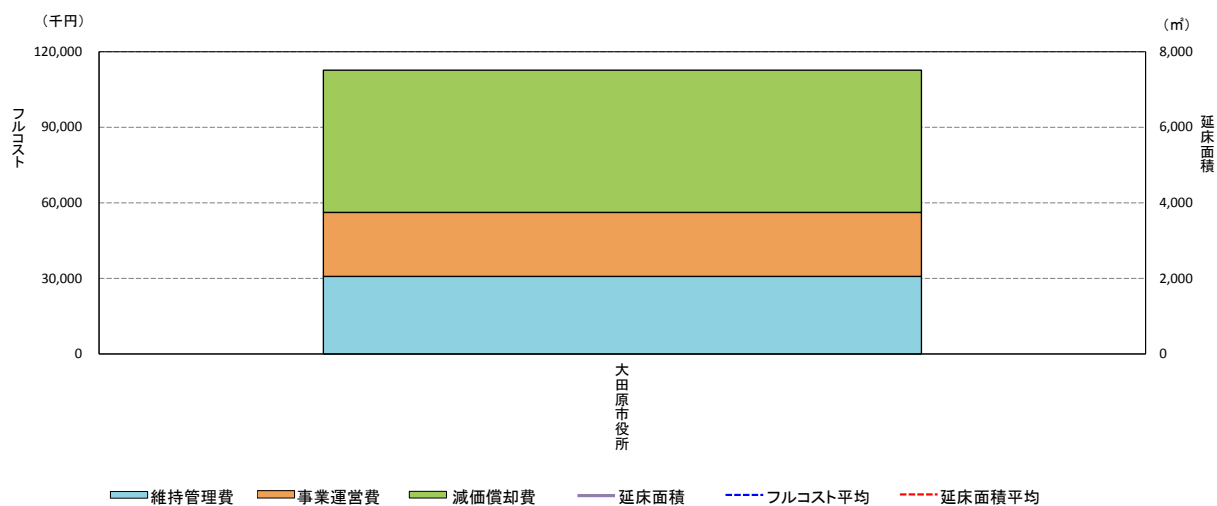
施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
庁舎											
大田原市役所	30,831	25,385	56,217	—	—	56,495	112,712	—	0	112,712	—
小計	30,831	25,385	56,217	0	0	56,495	112,712	0	0	112,712	0
支所・出張所											
大田原市役所湯津上支所	14,149	18,144	32,293	—	—	19,296	51,590	—	51	51,538	—
大田原市役所黒羽庁舎(観光交流センター・ 黒羽川西地区コミュニティセンター・黒羽支所)	5,691	28,679	34,370	—	—	5,884	40,254	—	244	40,010	—
大田原市役所両郷出張所 (両郷地区コミュニティセンター)	1,974	6,339	8,314	—	—	1,969	10,284	—	261	10,023	—
大田原市役所須賀川出張所 (農業構造改善センター)	1,733	5,728	7,461	—	—	4,659	12,121	—	3	12,118	—
小計	23,548	58,892	82,441	0	0	31,810	114,251	0	560	113,690	0
合計	54,380	84,277	138,658	0	0	88,305	226,964	0	560	226,403	0

庁舎にかかるフルコストは 112,712 千円です。

支所・出張所にかかるフルコストは合計 114,251 千円です。

① 〔庁舎等〕庁舎の状況

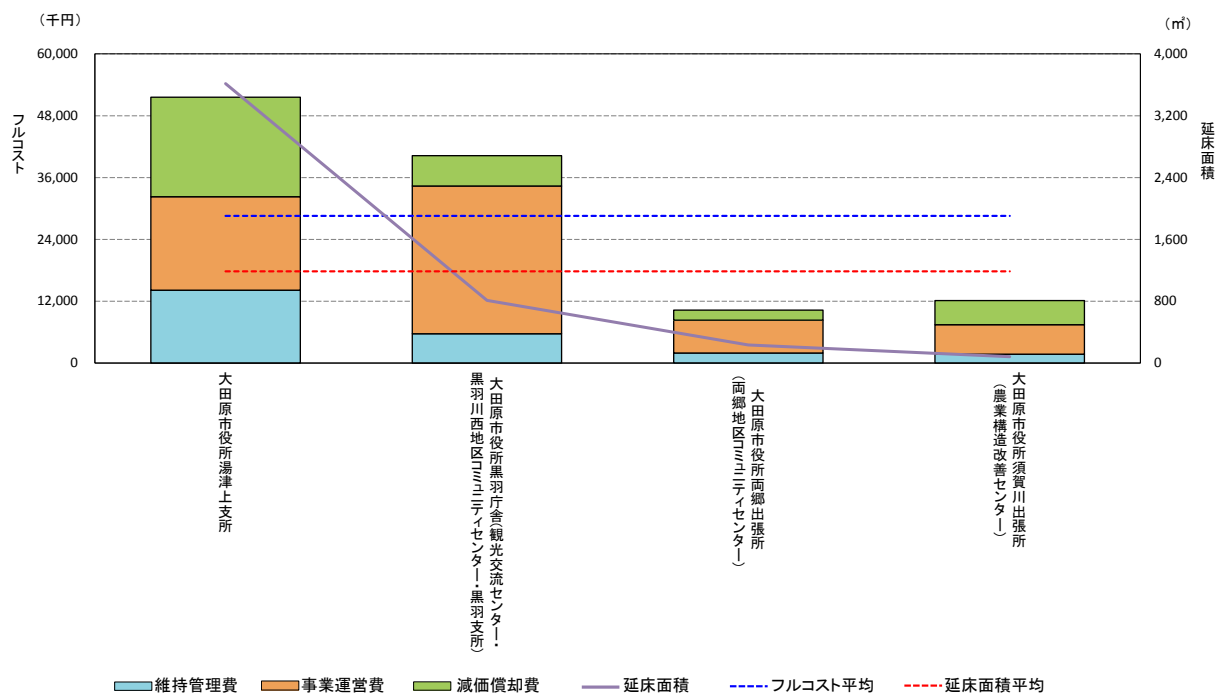
図 4-15-2 庁舎のフルコストと延床面積



大田原市役所の延床面積は 6,821 ㎡で、フルコストは 112,712 千円です。

② 〔庁舎等〕支所・出張所の状況

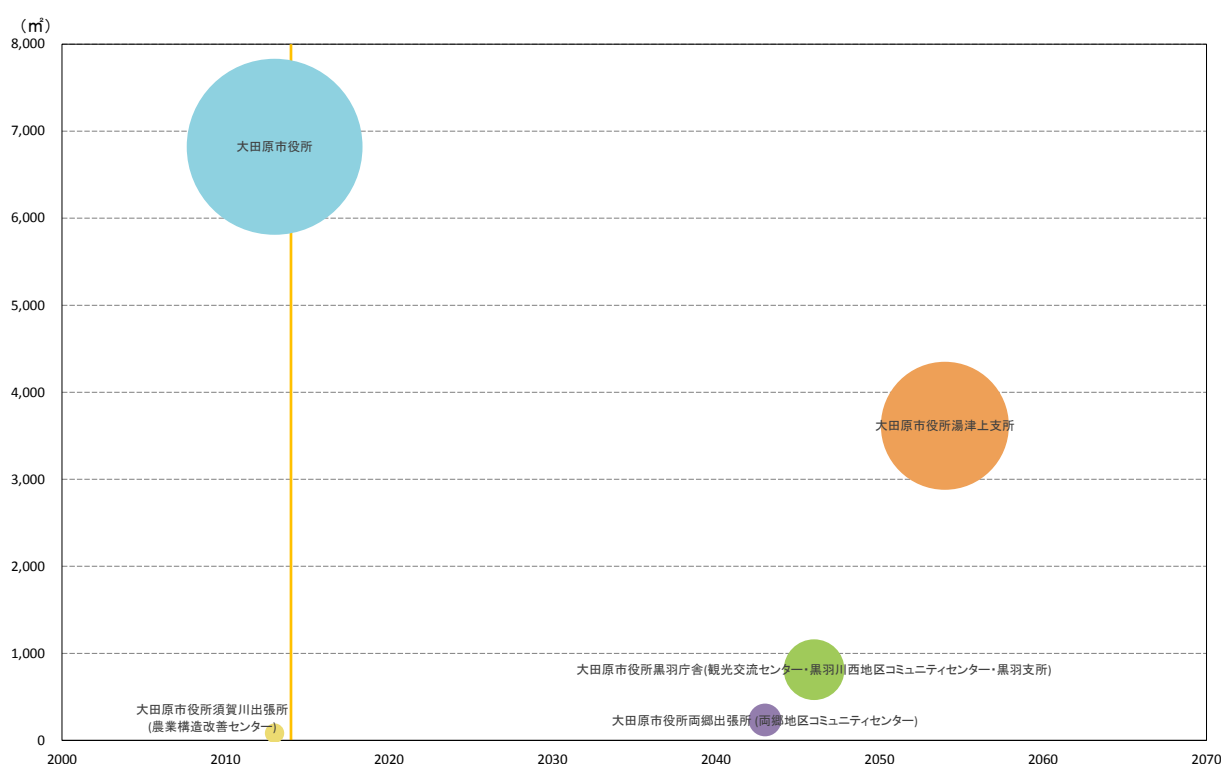
図 4-15-3 支所・出張所のフルコストと延床面積



支所・出張所のうち、延床面積が最も広いのは、大田原市役所湯津上支所の 3,615 m²で、次いで大田原市役所黒羽庁舎(観光交流センター・黒羽川西地区コミュニティセンター・黒羽支所)の 812 m²です。

また、支所・出張所のうち、フルコストが最も高いのは、大田原市役所湯津上支所の 51,590 千円で、次いで大田原市役所黒羽庁舎(観光交流センター・黒羽川西地区コミュニティセンター・黒羽支所)の 40,254 千円です。

図 4-15-4 庁舎等の延床面積と耐用年数到来年度



庁舎等は、庁舎と支所・出張所で構成されています。市役所本庁舎は昭和38年度建築ですが、先の東日本大震災による被災により損壊したことから、大田原市庁舎復興再整備基本構想に基づき、庁舎再建に向けて取り組んでいるところです。

支所・出張所は、須賀川出張所が既に耐用年数を過ぎているため、今後の更新についての検討が必要です。なお、その他の支所・出張所は比較的新しい施設であるため、更新対策は喫緊の課題ではないと考えられますが、減価償却費が年間 30,000 千円以上計上されていることから分かるように、将来の建替えにあたっては、多額の費用負担が見込まれます。

16 消防施設の状況

表 4-16-1 消防施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
消防センター・詰所	大田原	1	第1分団第1部コミュニティ消防センター	直営		76	平成 8年度	木造
	大田原	2	第1分団第2部コミュニティ消防センター	直営		78	平成 16年度	木造
	大田原	3	第1分団第3部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 11年度	木造
	金田	4	第3分団第1部コミュニティ消防センター	直営		83	平成 11年度	木造
	金田	5	第3分団第2部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 18年度	木造
	金田	6	第3分団第3部コミュニティ消防センター	直営		80	平成 19年度	木造
	金田	7	第3分団第4部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 10年度	木造
	金田	8	第3分団第5部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 14年度	木造
	金田	9	第6分団第1部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 14年度	木造
	金田	10	第6分団第2部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 7年度	木造
	金田	11	第6分団第3部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 15年度	木造
	親園	12	第2分団第1部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 10年度	木造
	親園	13	第2分団第2部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 13年度	木造
	親園	14	第2分団第3部コミュニティ消防センター	直営		75	平成 9年度	木造
	親園	15	第2分団第4部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 12年度	木造
	野崎	16	第4分団第1部コミュニティ消防センター	直営		82	平成 13年度	木造
	野崎	17	第4分団第2部機械器具置場	直営		64	昭和 61年度	鉄骨造
	野崎	18	第4分団第3部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 7年度	木造
	野崎	19	第4分団第4部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 12年度	木造
	佐久山	20	第5分団第1部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 12年度	木造
	佐久山	21	第5分団第2部コミュニティ消防センター	直営		87	平成 9年度	木造
	佐久山	22	第5分団第3部コミュニティ消防センター	直営		70	平成 8年度	木造
	佐久山	23	第5分団第4部コミュニティ消防センター	直営		92	平成 16年度	木造
	湯津上	24	湯津上水防倉庫	直営		13	昭和 61年度	軽量鉄骨造
	湯津上	25	第11分団第1・2・3部消防詰所	直営		211	平成 17年度	鉄骨造
	湯津上	26	第11分団第4部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 25年度	木造
	湯津上	27	第12分団第1部消防詰所	直営		18	昭和 51年度	れんが造
	湯津上	28	第12分団第2部コミュニティ消防センター	直営		20	平成 23年度	木造
	湯津上	29	第12分団第3部消防詰所	直営		26	平成 6年度	れんが造
	湯津上	30	第13分団第1部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 22年度	木造
	湯津上	31	第13分団第2部消防詰所	直営		79	昭和 43年度	コンクリートブロック
	湯津上	32	第13分団第3部消防詰所	直営		33	昭和 61年度	コンクリートブロック
	黒羽	33	第7分団第1部コミュニティ消防センター	直営		92	平成 22年度	木造
	黒羽	34	第7分団第2部消防詰所	直営		52	昭和 60年度	木造
	黒羽	35	第7分団第3部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 23年度	木造
	黒羽	36	第7分団第4部消防コミュニティセンター	直営		68	平成 6年度	無筋コンクリート
	黒羽	37	第7分団第5部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 13年度	木造
	黒羽	38	第7分団第6部消防詰所	直営		55	昭和 62年度	木造
	黒羽	39	第7分団第7部コミュニティ消防センター	直営		69	平成 4年度	木造
	川西	40	第8分団第1部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 17年度	木造
	川西	41	第8分団第2部消防詰所	直営		79	平成 10年度	木造
	川西	42	第8分団第3部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 20年度	木造
	川西	43	第8分団第4部消防詰所	直営		70	平成 1年度	木造
	川西	44	第8分団第5部消防詰所	直営		79	平成 10年度	木造
	両郷	45	第9分団第1部消防詰所	直営		70	平成 7年度	木造
	両郷	46	第9分団第2部消防詰所	直営		69	平成 1年度	木造
	両郷	47	第9分団第3部消防詰所	直営		69	平成 3年度	木造
	両郷	48	第9分団第4部消防詰所	直営		69	平成 4年度	木造
	両郷	49	第9分団第5部消防詰所	直営		69	平成 4年度	木造
	須賀川	50	第10分団第1部消防詰所	直営		66	平成 13年度	木造
	須賀川	51	第10分団第2部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 25年度	木造
	須賀川	52	第10分団第3部消防詰所	直営		79	平成 11年度	木造
	須賀川	53	第10分団第4部消防詰所	直営		79	平成 16年度	木造
	須賀川	54	第10分団第5部コミュニティ消防センター	直営		79	平成 18年度	木造

消防センター・詰所は 54 施設あり、延床面積は合計 3,872 ㎡です。

図 4-16-1 消防施設の配置状況

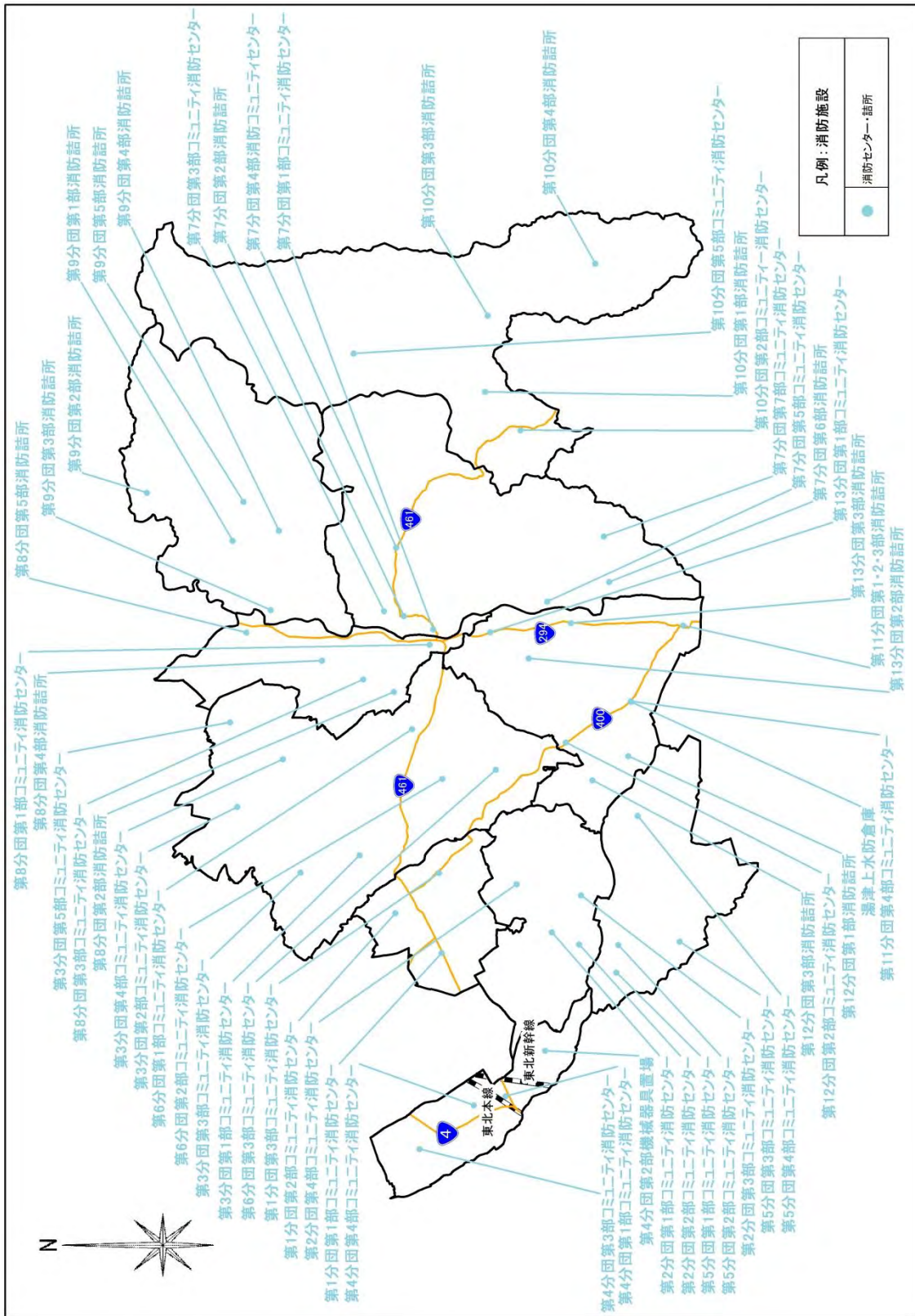


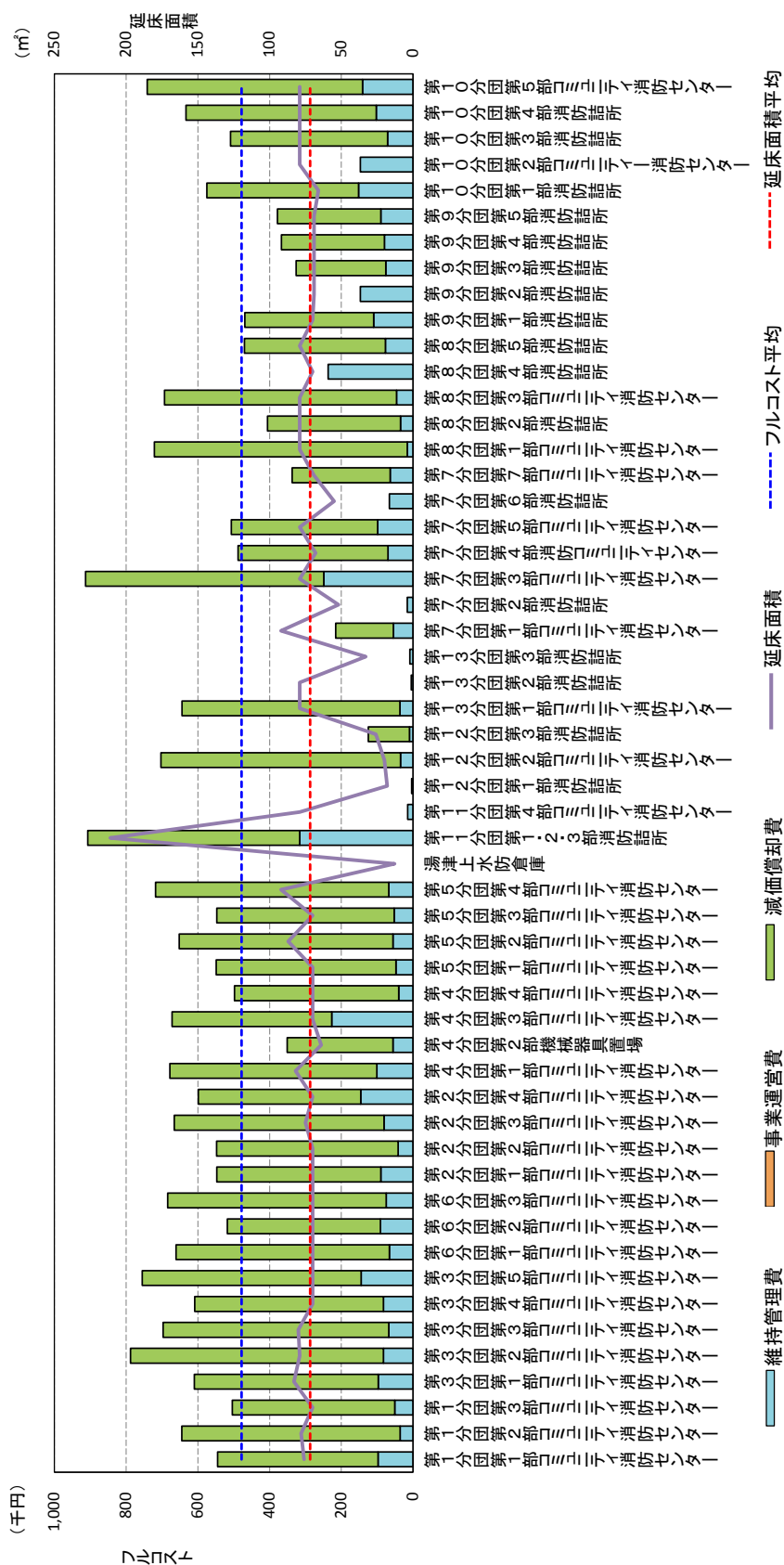
表 4-16-2 消防施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
消防センター・詰所											
第1分団第1部コミュニティ消防センター	98	0	98	—	—	447	545	—	0	545	—
第1分団第2部コミュニティ消防センター	36	0	36	—	—	609	646	—	0	646	—
第1分団第3部コミュニティ消防センター	51	0	51	—	—	453	505	—	0	505	—
第3分団第1部コミュニティ消防センター	97	0	97	—	—	513	611	—	0	611	—
第3分団第2部コミュニティ消防センター	83	0	83	—	—	705	789	—	0	789	—
第3分団第3部コミュニティ消防センター	68	0	68	—	—	629	698	—	0	698	—
第3分団第4部コミュニティ消防センター	83	0	83	—	—	526	610	—	0	610	—
第3分団第5部コミュニティ消防センター	145	0	145	—	—	610	755	—	0	755	—
第6分団第1部コミュニティ消防センター	66	0	66	—	—	595	662	—	0	662	—
第6分団第2部コミュニティ消防センター	91	0	91	—	—	427	518	—	0	518	—
第6分団第3部コミュニティ消防センター	75	0	75	—	—	609	685	—	0	685	—
第2分団第1部コミュニティ消防センター	90	0	90	—	—	457	547	—	0	547	—
第2分団第2部コミュニティ消防センター	42	0	42	—	—	506	549	—	0	549	—
第2分団第3部コミュニティ消防センター	81	0	81	—	—	585	666	—	0	666	—
第2分団第4部コミュニティ消防センター	146	0	146	—	—	453	599	—	0	599	—
第4分団第1部コミュニティ消防センター	101	0	101	—	—	577	679	—	0	679	—
第4分団第2部機械器具置場	56	0	56	—	—	295	352	—	0	352	—
第4分団第3部コミュニティ消防センター	227	0	227	—	—	445	672	—	0	672	—
第4分団第4部コミュニティ消防センター	40	0	40	—	—	458	499	—	0	499	—
第5分団第1部コミュニティ消防センター	48	0	48	—	—	501	549	—	0	549	—
第5分団第2部コミュニティ消防センター	56	0	56	—	—	596	652	—	0	652	—
第5分団第3部コミュニティ消防センター	53	0	53	—	—	494	548	—	0	548	—
第5分団第4部コミュニティ消防センター	68	0	68	—	—	650	719	—	0	719	—
湯津上水防倉庫	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
第11分団第1・2・3部消防詰所	316	0	316	—	—	591	907	—	0	907	—
第11分団第4部コミュニティ消防センター	15	0	15	—	—	0	15	—	0	15	—
第12分団第1部消防詰所	4	0	4	—	—	0	4	—	0	4	—
第12分団第2部コミュニティ消防センター	35	0	35	—	—	668	704	—	0	704	—
第12分団第3部消防詰所	10	0	10	—	—	115	125	—	0	125	—
第13分団第1部コミュニティ消防センター	37	0	37	—	—	607	644	—	0	644	—
第13分団第2部消防詰所	5	0	5	—	—	0	5	—	0	5	—
第13分団第3部消防詰所	9	0	9	—	—	0	9	—	0	9	—
第7分団第1部コミュニティ消防センター	55	0	55	—	—	161	216	—	0	216	—
第7分団第2部消防詰所	16	0	16	—	—	0	16	—	0	16	—
第7分団第3部コミュニティ消防センター	249	0	249	—	—	664	913	—	0	913	—
第7分団第4部消防コミュニティセンター	70	0	70	—	—	418	488	—	0	488	—
第7分団第5部コミュニティ消防センター	99	0	99	—	—	408	508	—	0	508	—
第7分団第6部消防詰所	66	0	66	—	—	0	66	—	0	66	—
第7分団第7部コミュニティ消防センター	64	0	64	—	—	273	337	—	0	337	—
第8分団第1部コミュニティ消防センター	16	0	16	—	—	705	721	—	0	721	—
第8分団第2部消防詰所	35	0	35	—	—	371	406	—	0	406	—
第8分団第3部コミュニティ消防センター	46	0	46	—	—	647	694	—	0	694	—
第8分団第4部消防詰所	237	0	237	—	—	0	237	—	0	237	—
第8分団第5部消防詰所	77	0	77	—	—	393	471	—	0	471	—
第9分団第1部消防詰所	110	0	110	—	—	359	469	—	0	469	—
第9分団第2部消防詰所	147	0	147	—	—	0	147	—	0	147	—
第9分団第3部消防詰所	76	0	76	—	—	250	327	—	0	327	—
第9分団第4部消防詰所	80	0	80	—	—	287	368	—	0	368	—
第9分団第5部消防詰所	90	0	90	—	—	288	379	—	0	379	—
第10分団第1部消防詰所	152	0	152	—	—	423	575	—	0	575	—
第10分団第2部コミュニティ消防センター	147	0	147	—	—	0	147	—	0	147	—
第10分団第3部消防詰所	71	0	71	—	—	438	510	—	0	510	—
第10分団第4部消防詰所	103	0	103	—	—	530	634	—	0	634	—
第10分団第5部コミュニティ消防センター	141	0	141	—	—	600	741	—	0	741	—
小計	4,507	0	4,507	0	0	21,358	25,865	0	0	25,865	0
合計	4,507	0	4,507	0	0	21,358	25,865	0	0	25,865	0

消防センター・詰所の施設にかかるフルコストは 25,865 千円です。

① 〔消防施設〕消防センター・詰所の状況

図 4-16-2 消防センター・詰所のフルコストと延床面積



消防センター・詰所のうち、延床面積が最も広いのは、第11分団第1・2・3部消防詰所の211㎡で、次いで第5分団第4部コミュニティ消防センターと第7分団第1部コミュニティ消防センターの92㎡です。

また、フルコストが最も高いのは、第7分団第3部コミュニティ消防センターの913千円で、次いで第11分団第1・2・3部消防詰所の907千円です。

17 その他行政系施設の状況

表 4-17-1 その他行政系施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
行政系施設	大田原	1	しんとみ安心安全ステーション	直営		53	昭和 50年度	コンクリートブロック
	大田原	2	ストックヤード	直営		453	平成 21年度	鉄骨造
	大田原	3	消費生活センター	直営		150	平成 5年度	鉄骨造
	金田	4	今泉補修基地	直営		166	昭和 57年度	鉄骨造
	黒羽	5	緑資源リサイクル施設	直営		547	平成 18年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	6	黒羽補修基地	直営		170	平成 18年度	鉄骨造
	須賀川	7	旧須賀川小学校	直営		1,654	昭和 30年度	木造

行政系施設は 7 施設あり、延床面積は合計 3,193 ㎡です。

図 4-17-1 その他行政系施設の配置状況

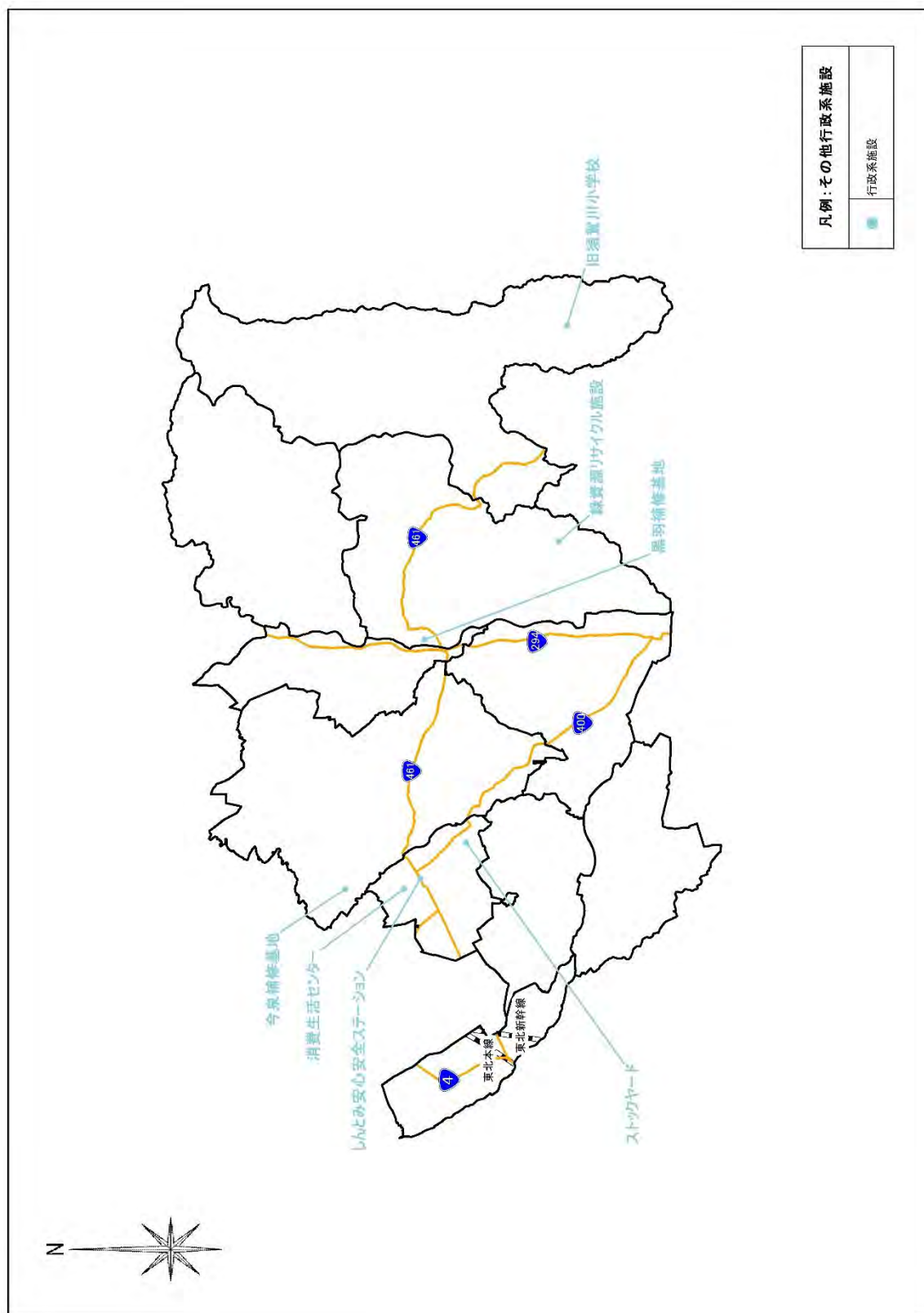


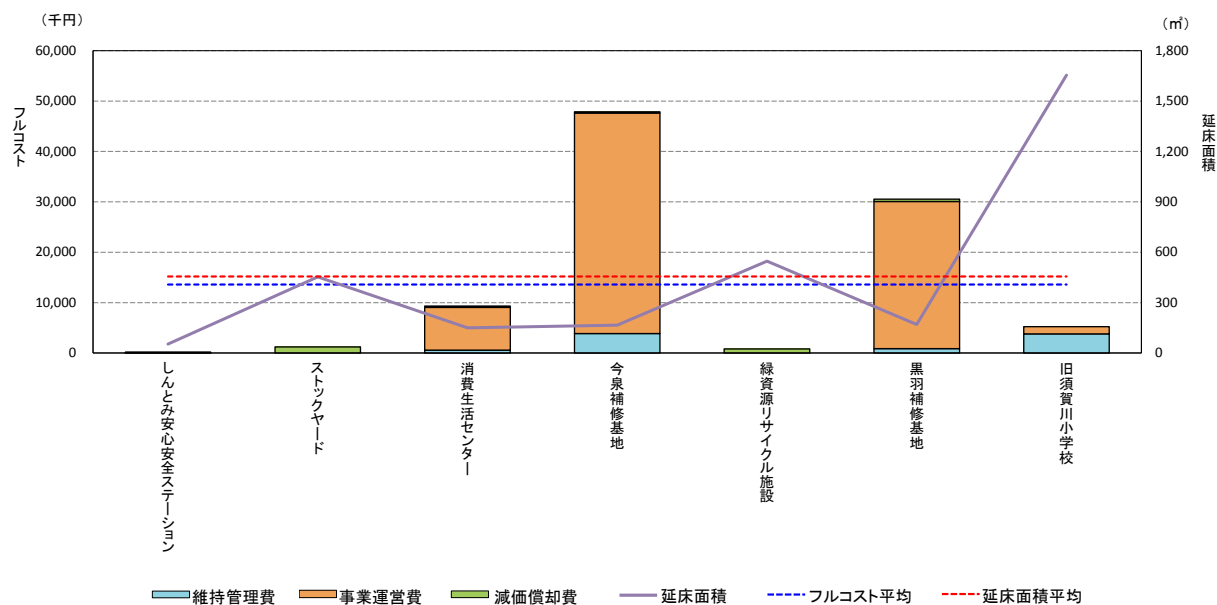
表 4-17-2 その他行政系施設の利用率とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
行政系施設											
しんとみ安心安全ステーション	96	0	96	107	900	25	121	1,138	0	121	—
ストックヤード	0	0	0	—	—	1,222	1,222	—	0	1,222	—
消費生活センター	571	8,502	9,073	474	19,143	240	9,314	19,650	2,409	6,904	—
今泉補修基地	3,870	43,773	47,644	—	—	223	47,867	—	0	47,867	—
緑資源リサイクル施設	0	0	0	—	—	806	806	—	0	806	—
黒羽補修基地	889	29,182	30,071	—	—	451	30,522	—	0	30,522	—
旧須賀川小学校	3,793	1,435	5,229	493	10,606	0	5,229	10,606	28	5,200	—
小計	9,220	82,894	92,115	1,074	85,768	2,969	95,084	88,533	2,438	92,646	0
合計	9,220	82,894	92,115	1,074	85,768	2,969	95,084	88,533	2,438	92,646	0

行政系施設の延利用者数は合計 1,074 人で、施設にかかるフルコストは合計 95,084 千円です。

① 〔その他行政系施設〕 行政系施設の状況

図 4-17-2 行政系施設のフルコストと延床面積



行政系施設のうち、延床面積が最も広いのは、旧須賀川小学校の 1,654 ㎡で、次いで緑資源リサイクル施設の 547 ㎡です。また、行政系施設のうち、フルコストが最も高いのは、今泉補修基地の 47,867 千円で、次いで黒羽補修基地の 30,522 千円です。

なお、旧須賀川小学校は、昭和 30 年代建築の木造建物であるため、老朽化が進んでいます。また、他に昭和 50 年代建築の施設もあるため、今後の施設の更新について検討が必要です。

18 公営住宅の状況

表 4-18-1 公営住宅の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
公営住宅	大田原	1	市営若草団地	直営		4,091	昭和 58年度	鉄筋コンクリート
	大田原	2	市営西原団地	直営		11,284	昭和 48年度	鉄筋コンクリート
	金田	3	市営中田原団地	直営		6,531	昭和 45年度	プレキャストコンクリート
	金田	4	市営東雲団地	直営		4,490	平成 2年度	鉄筋コンクリート
	親園	5	市営実取団地	直営		10,591	昭和 59年度	鉄筋コンクリート
	野崎	6	市営野崎団地	直営		1,103	昭和 34年度	コンクリートブロック
	佐久山	7	市営佐久山団地	直営		631	昭和 45年度	プレキャストコンクリート
	黒羽	8	市営旭ヶ丘団地	直営		2,223	昭和 46年度	プレキャストコンクリート
	黒羽	9	市営星ヶ丘団地	直営		480	昭和 44年度	木造
	川西	10	市営ひばりヶ丘団地	直営		133	昭和 45年度	木造
	川西	11	市営大豆田団地	直営		2,108	昭和 56年度	鉄筋コンクリート
	川西	12	市営大豆田団地	直営		1,011	昭和 59年度	木造

公営住宅は 12 施設あり、延床面積は合計 44,676 ㎡です。

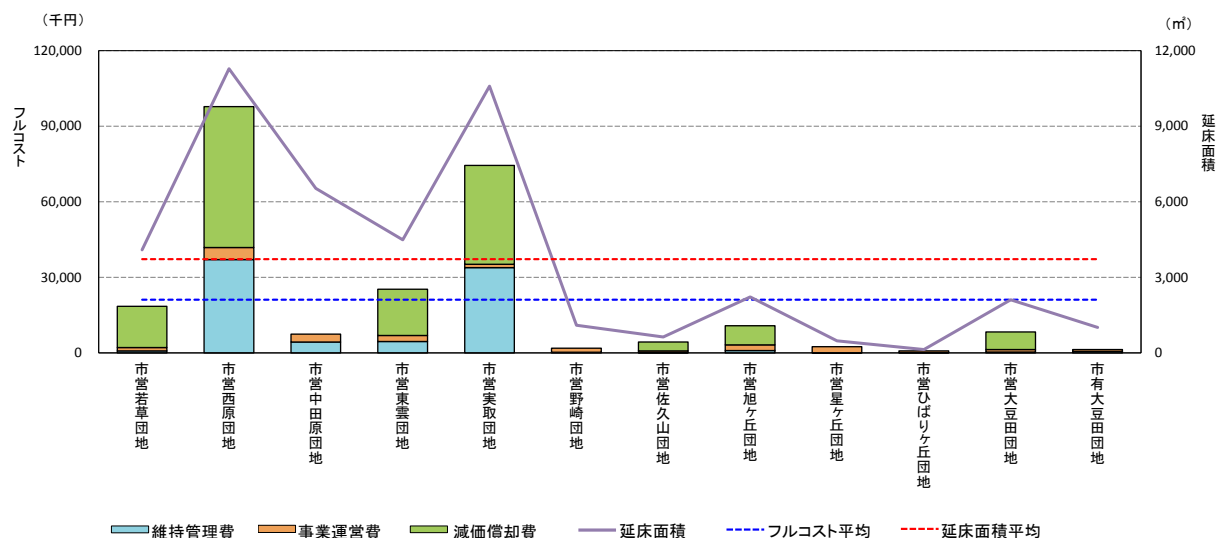
表 4-18-2 公営住宅の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
公営住宅											
市営若草団地	795	1,363	2,158	—	—	16,347	18,506	—	10,625	7,881	—
市営西原団地	37,087	4,772	41,860	—	—	55,947	97,807	—	35,093	62,714	—
市営中田原団地	4,373	3,068	7,441	—	—	0	7,441	—	9,010	-1,568	—
市営東雲団地	4,523	2,386	6,909	—	—	18,385	25,294	—	14,204	11,090	—
市営実取団地	33,860	1,363	35,224	—	—	39,225	74,449	—	43,754	30,695	—
市営野崎団地	320	1,534	1,854	—	—	0	1,854	—	304	1,549	—
市営佐久山団地	146	681	828	—	—	3,514	4,342	—	820	3,521	—
市営旭ヶ丘団地	978	2,216	3,194	—	—	7,581	10,775	—	3,781	6,994	—
市営星ヶ丘団地	77	2,386	2,464	—	—	0	2,464	—	557	1,907	—
市営ひばりヶ丘団地	133	681	815	—	—	0	815	—	14	800	—
市営大豆田団地	333	1,022	1,356	—	—	7,009	8,365	—	6,462	1,903	—
市有大豆田団地	654	681	1,336	—	—	0	1,336	—	5,698	-4,361	—
小計	83,284	22,160	105,444	0	0	148,010	253,454	0	130,326	123,127	0
合計	83,284	22,160	105,444	0	0	148,010	253,454	0	130,326	123,127	0

公営住宅にかかるフルコストは合計 253,454 千円です。

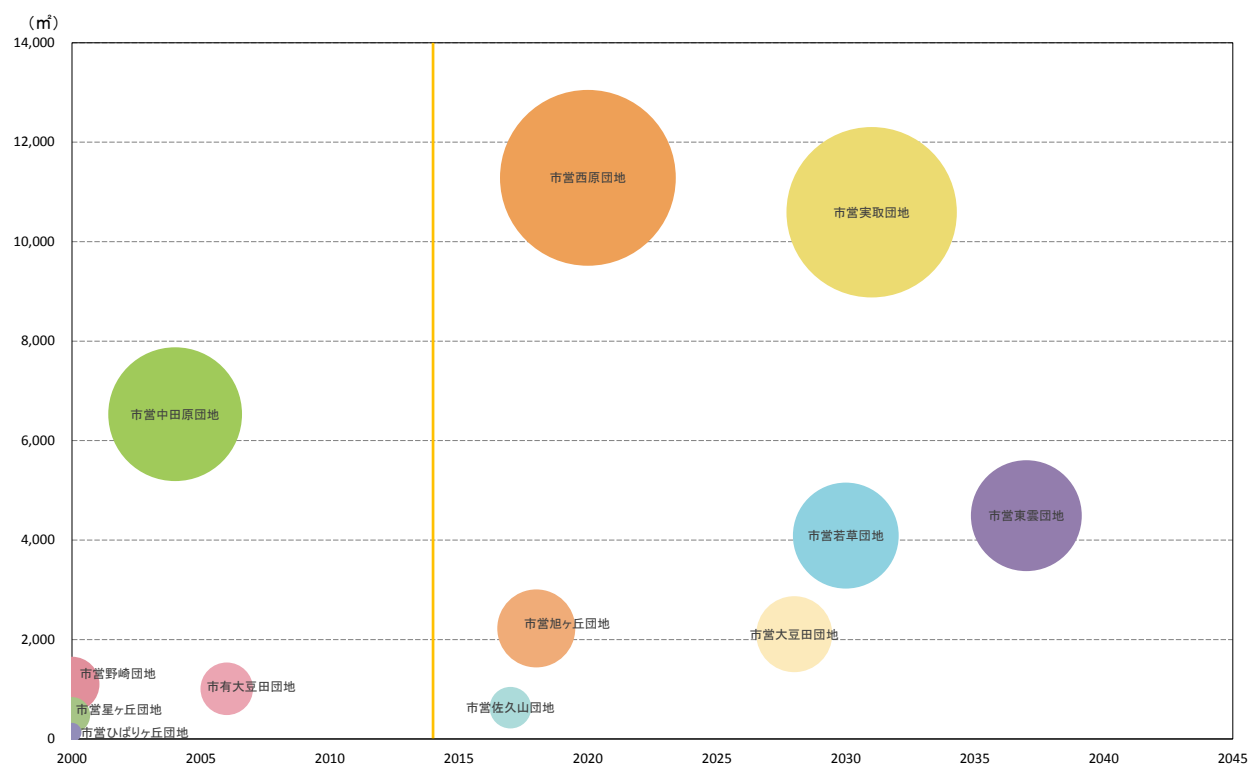
① 〔公営住宅〕 公営住宅の状況

図 4-18-2 公営住宅のフルコストと延床面積



公営住宅のうち、延床面積が最も広いのは、市営西原団地の 11,284 ㎡で、次いで市営実取団地の 10,591 ㎡です。また、公営住宅のうち、フルコストが最も高いのは、市営西原団地の 97,807 千円で、次いで市営実取団地の 74,449 千円です。

図 4-18-3 公営住宅の延床面積と耐用年数到来年度



建築年度は、市営東雲団地の平成 2 年度を除き、多くが昭和 30 年代、40 年代であり、また、木造の建物も存在しており、老朽化が進んでいます。

今後、老朽化が進んでいく中で、建替えのための負担を踏まえ、公営住宅の適正な供給や家賃補助など、他の手段への転換の検討も必要です。

19 公園の状況

表 4-19-1 公園の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
四阿・公衆便所	大田原	1	しんとみなかよし公園	直営		21	平成 5 年度	鉄筋コンクリート
	大田原	2	しんとみりフレッシュパーク	直営		31	平成 17 年度	鉄筋コンクリート
	大田原	3	しんとみ親水公園	直営		12	平成 5 年度	木造
	大田原	4	ぼっぼ公園	直営		21	昭和 63 年度	鉄筋コンクリート
	大田原	5	中央多目的公園	直営		101	平成 24 年度	コンクリートブロック
	大田原	6	富士見公園	直営		4	昭和 55 年度	軽量鉄骨造
	大田原	7	水元児童公園	直営		10	平成 3 年度	鉄筋コンクリート
	大田原	8	金燈籠ポケット公園	直営		4	平成 23 年度	木造
	大田原	9	鶯谷公園	直営		24	平成 2 年度	鉄筋コンクリート
	大田原	10	龍城公園	直営		286	昭和 61 年度	鉄筋コンクリート
	大田原	11	龍頭公園	直営		5	平成 4 年度	鉄筋コンクリート
	金田	12	中田原工業団地南公園	直営		3	平成 16 年度	鉄骨造
	金田	13	中田原工業団地東公園	直営		29	平成 16 年度	コンクリートブロック
	金田	14	富池公園	直営		14	昭和 58 年度	木造
	金田	15	岡公園	直営		5	平成 3 年度	鉄筋コンクリート
	金田	16	羽田沼野鳥公園	直営		27	平成 5 年度	木造
	金田	17	鹿畑公園	直営		14	昭和 61 年度	木造
	野崎	18	上石上公園	直営		46	平成 2 年度	鉄筋コンクリート
	野崎	19	下石上公園	直営		94	平成 19 年度	木造
	野崎	20	中薄葉児童公園	直営		5	平成 11 年度	鉄筋コンクリート
	野崎	21	薄葉児童公園	直営		12	平成 22 年度	鉄筋コンクリート
	野崎	22	野崎公園	直営		52	平成 20 年度	木造
	野崎	23	野崎東町交流公園	直営		52	平成 23 年度	木造
	野崎	24	駅前西公園	直営		50	平成 23 年度	木造
	佐久山	25	与一公園	直営		37	平成 6 年度	木造
	佐久山	26	御殿山公園	直営		68	昭和 40 年度	木造
	湯津上	27	しながわ台公園	直営		12	平成 5 年度	鉄骨造
	黒羽	28	御亭山緑地公園	直営		158	平成 18 年度	木造
	黒羽	29	芭蕉の広場	直営		25	平成 6 年度	木造
	黒羽	30	芭蕉公園	直営		143	平成 21 年度	木造
	黒羽	31	鮎の里公園	直営		13	平成 21 年度	木造
	黒羽	32	黒羽城址公園	直営		342	平成 5 年度	木造
	黒羽	33	黒羽田町公園	直営		143	平成 20 年度	鉄骨造
	川西	34	川西堂川公園	直営		29	平成 20 年度	鉄骨造
	川西	35	黒羽グリーンパーク	直営		12	平成 9 年度	木造
	両郷	36	高館公園	直営		29	昭和 63 年度	木造

四阿・公衆便所は 36 施設あり、延床面積は合計 1,933 ㎡です。

図 4-19-1 公園の配置状況

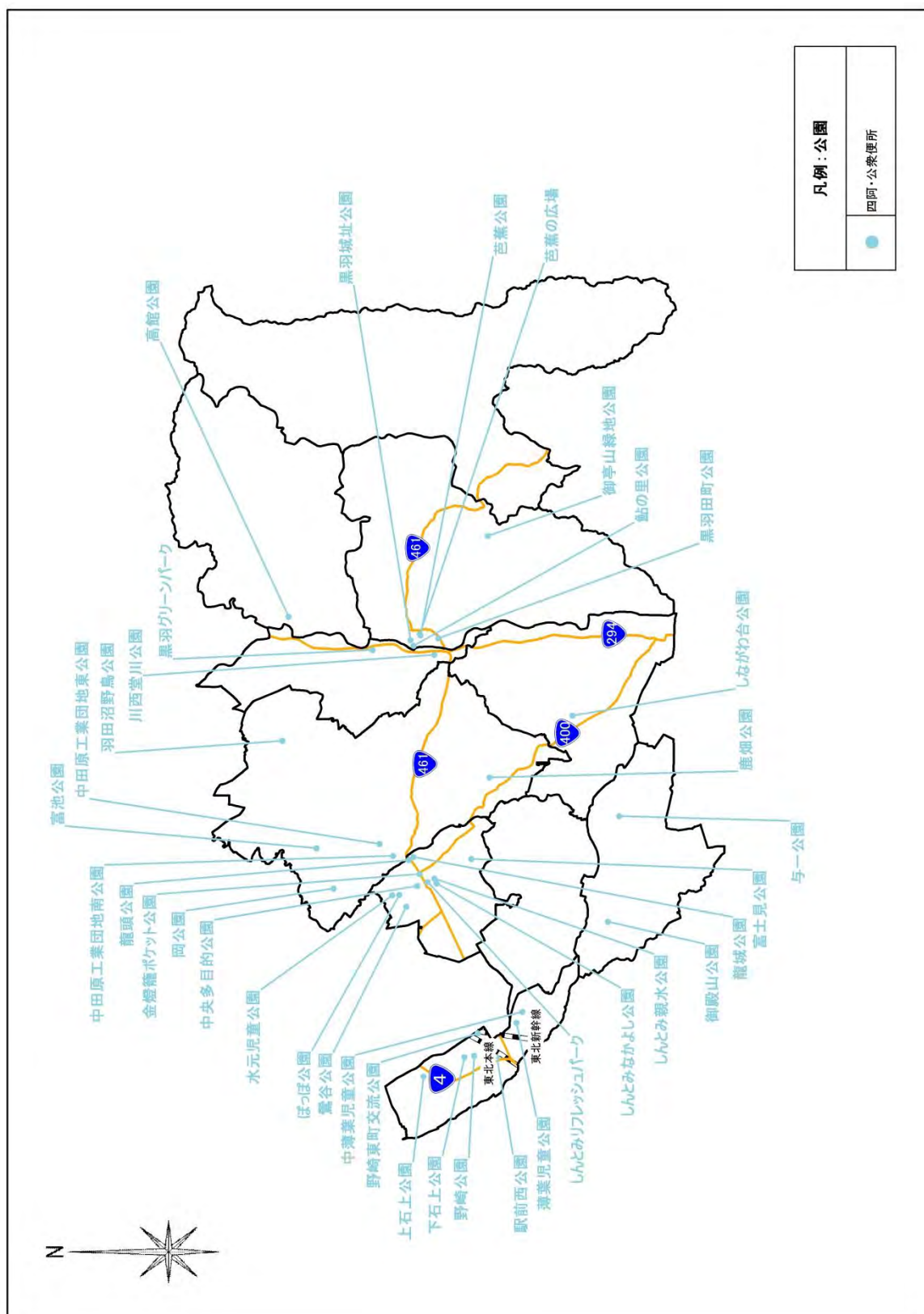


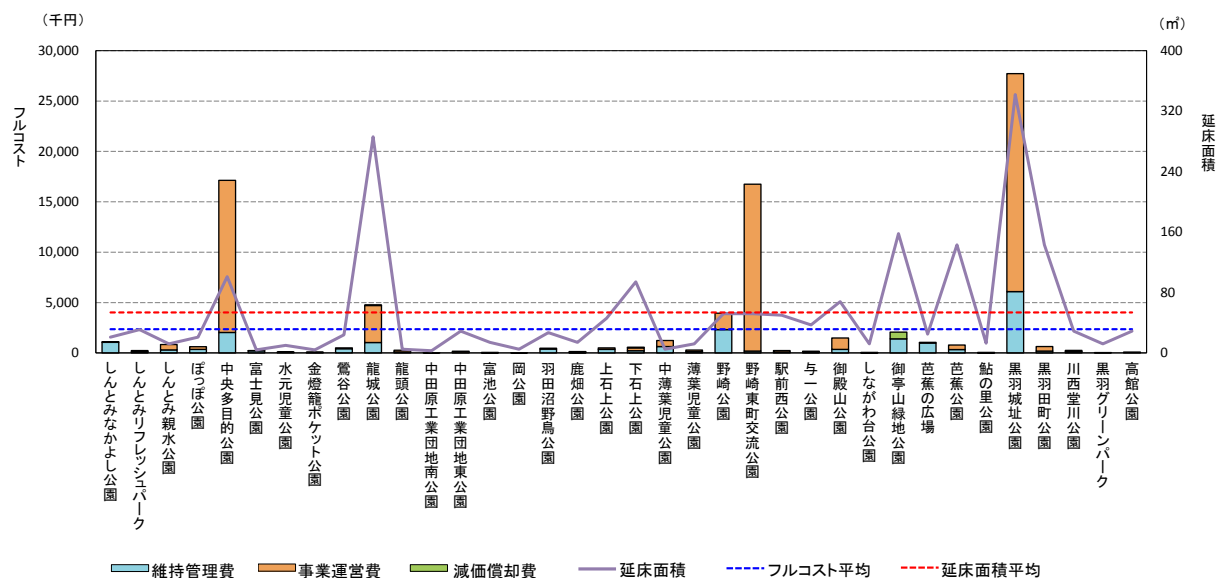
表 4-19-2 公園の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
四阿・公衆便所											
しんとみなかよし公園	1,048	65	1,113	—	—	0	1,113	—	0	1,113	—
しんとみりフレッシュパーク	147	97	245	—	—	0	245	—	0	245	—
しんとみ親水公園	297	532	829	—	—	0	829	—	0	829	—
ぼっぼ公園	350	279	630	—	—	0	630	—	0	630	—
中央多目的公園	2,041	15,086	17,127	—	—	0	17,127	—	0	17,127	—
富士見公園	218	12	231	—	—	0	231	—	0	231	—
水元児童公園	66	31	97	—	—	0	97	—	0	97	—
金燈籠ポケット公園	57	12	70	—	—	0	70	—	0	70	—
鶯谷公園	425	74	500	—	—	0	500	—	0	500	—
龍城公園	1,033	3,673	4,707	—	—	62	4,769	—	34	4,735	—
龍頭公園	107	158	266	—	—	0	266	—	0	266	—
中田原工業団地南公園	0	9	9	—	—	0	9	—	0	9	—
中田原工業団地東公園	79	90	170	—	—	0	170	—	0	170	—
富池公園	16	43	60	—	—	0	60	—	0	60	—
岡公園	0	15	15	—	—	0	15	—	0	15	—
羽田沼野鳥公園	380	84	465	—	—	0	465	—	0	465	—
鹿畑公園	46	90	137	—	—	0	137	—	0	137	—
上石上公園	358	143	502	3,368	149	0	502	149	0	502	—
下石上公園	216	293	509	4,654	109	69	578	124	0	578	—
中薄葉児童公園	636	607	1,244	—	—	0	1,244	—	0	1,244	—
薄葉児童公園	135	158	294	—	—	0	294	—	0	294	—
野崎公園	2,320	1,629	3,949	—	—	0	3,949	—	0	3,949	—
野崎東町交流公園	190	16,552	16,742	5,162	3,243	0	16,742	3,243	0	16,742	—
駅前西公園	87	156	243	—	—	0	243	—	0	243	—
与一公園	55	115	170	—	—	0	170	—	0	170	—
御殿山公園	353	1,134	1,487	—	—	0	1,487	—	0	1,487	—
しながわ台公園	17	37	55	—	—	0	55	—	0	55	—
御亭山緑地公園	1,404	0	1,404	30	46,825	666	2,070	69,027	51	2,019	—
芭蕉の広場	979	78	1,057	—	—	0	1,057	—	0	1,057	—
芭蕉公園	341	446	787	4,067	193	0	787	193	0	787	—
鮎の里公園	13	40	53	—	—	0	53	—	0	53	—
黒羽城址公園	6,085	21,631	27,716	1,091	25,404	0	27,716	25,404	74	27,642	—
黒羽田町公園	189	446	635	604	1,052	0	635	1,052	35	599	—
川西堂川公園	141	120	262	—	—	0	262	—	0	262	—
黒羽グリーンパーク	0	37	37	—	—	0	37	—	0	36	—
高館公園	0	90	90	—	—	0	90	—	0	90	—
小計	19,844	64,079	83,924	18,976	4,422	797	84,721	4,464	195	84,525	0
合計	19,844	64,079	83,924	18,976	4,422	797	84,721	4,464	195	84,525	0

四阿・公衆便所の延利用者数は合計 18,976 人で、施設にかかるフルコストは合計 84,721 千円です。

① 〔公園〕四阿・公衆便所の状況

図 4-19-2 四阿・公衆便所のフルコストと延床面積



四阿・公衆便所は、各地域に設置されていますが、大田原地域が 11 施設と最も多く設置されています。

四阿・公衆便所のうち、延床面積が最も広いのは、黒羽城址公園の 342 ㎡で、次いで龍城公園の 286 ㎡です。また、フルコストが最も高いのは、黒羽城址公園の 27,716 千円で、次いで中央多目的公園の 17,127 千円です。

20 その他施設の状況

表 4-20-1 その他施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営 主体	複合 施設	延床 面積 (㎡)	主要建物 建築年度	主要 建物構造
火葬場・駐車場・霊園	大田原	1	中央立体駐車場	直営		3,889	平成 25年度	鉄骨造
	大田原	2	大田原市火葬場	指定管理者	●	1,093	昭和 62年度	鉄筋コンクリート
	金田	3	中田原霊園	直営		13	平成 15年度	木造
	親園	4	実取墓地	直営		8	昭和 54年度	木造
	黒羽	5	北山霊園	直営		15	平成 7年度	木造
公衆便所	大田原	1	下町公衆便所	直営		5	昭和 53年度	コンクリートブロック
	大田原	2	住吉町公衆便所	直営		9	昭和 49年度	コンクリートブロック
	大田原	3	城山公衆便所	直営		8	昭和 59年度	木造
	大田原	4	新富町公衆便所	直営		5	昭和 49年度	コンクリートブロック
	大田原	5	本町公衆便所	直営		39	平成 3年度	鉄筋コンクリート
	野崎	6	野崎駅前公衆便所	直営		38	平成 21年度	木造
	佐久山	7	佐久山公衆便所	直営		18	平成 7年度	コンクリートブロック
	黒羽	8	前田集会所脇公衆便所	直営		6	平成 5年度	コンクリートブロック
	黒羽	9	田町ロータリー待合室トイレ	直営		73	平成 22年度	木造
	川西	10	余瀬集会所前公衆便所	直営		15	平成 5年度	木造
	川西	11	桧木沢公衆便所	直営		5	平成 3年度	木造
	川西	12	玉藻稲荷神社前公衆便所	直営		20	平成 5年度	木造
	川西	13	高岩神社前公衆便所	直営		15	平成 18年度	木造
	川西	14	黒羽商工会館前公衆便所	直営		10	平成 5年度	木造
	両郷	15	旧両郷出張所公衆便所	直営		10	昭和 49年度	コンクリートブロック
	須賀川	16	雲岩寺前公衆便所	直営		24	平成 11年度	木造
	須賀川	17	須佐木公衆便所	直営		5	平成 5年度	コンクリートブロック
	須賀川	18	須賀川ポケットパーク公衆便所	直営		20	平成 6年度	コンクリートブロック
普通財産	大田原	1	あらまち蔵屋敷	直営		509	明治 34年度	土蔵造
	大田原	2	すずらん作業所	直営		66	平成 9年度	軽量鉄骨造
	大田原	3	シルバー人材センター・土地改良区事務所	直営		470	平成 12年度	木造
	大田原	4	催事関連物品保管倉庫	直営		24	平成 23年度	軽量鉄骨造
	大田原	5	城山倉庫	直営		50	昭和 55年度	コンクリートブロック
	大田原	6	旧住吉自修館	直営		60	平成 18年度	軽量鉄骨造
	大田原	7	旧大田原労働基準監督署	直営		99	昭和 29年度	木造
	親園	8	旧親園児童館	直営		199	昭和 41年度	鉄骨造
	湯津上	9	シルバー人材センター業務作業所	直営		115	昭和 49年度	木造
	黒羽	10	南区東・南区西自治公民館	直営		218	昭和 31年度	木造
	黒羽	11	旧片田小学校	直営	●	3,085	昭和 61年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	12	旧黒羽プール	直営		49	昭和 44年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	13	旧黒羽中学校	直営	●	4,978	平成 6年度	鉄筋コンクリート
	黒羽	14	旧黒羽支所	直営		492	平成 7年度	鉄骨造
	黒羽	15	旧黒羽給食センター	直営		267	昭和 41年度	鉄骨造
	黒羽	16	法人活動事務所施設	直営		36	平成 16年度	鉄骨造
	黒羽	17	黒羽石造倉庫	直営		181	平成 5年度	れんが造
	川西	18	下町二区自治公民館	直営		143	昭和 52年度	木造
	川西	19	旧寒井児童館	直営		250	昭和 47年度	木造
	川西	20	旧寒井学童保育館	直営		401	昭和 57年度	鉄骨造
	川西	21	旧寒井小学校	直営	●	2,434	昭和 46年度	鉄筋コンクリート
	川西	22	旧川西中学校	直営	●	4,464	平成 4年度	鉄筋コンクリート
	川西	23	旧蜂巣小学校	直営		1,238	昭和 7年度	木造
	須賀川	24	旧須佐木小学校	直営	●	2,448	昭和 43年度	鉄筋コンクリート

火葬場・駐車場・霊園は5施設あり、延床面積は合計 5,018 ㎡です。

公衆便所は18施設あり、延床面積は合計 325 ㎡です。

普通財産は24施設あり、延床面積は合計 22,276 ㎡です。

図 4-20-1 その他施設の配置状況

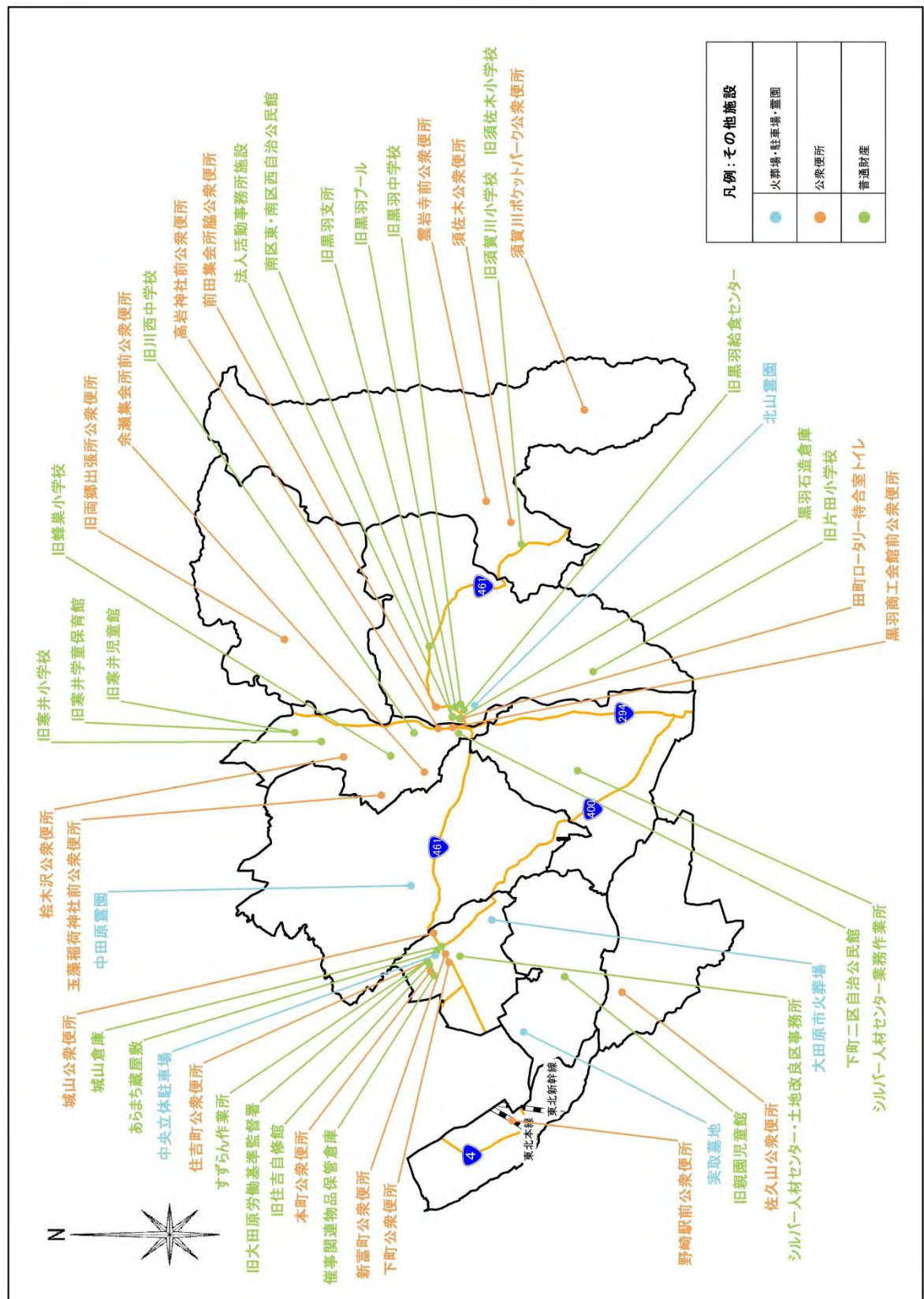


表 4-20-2 その他施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 一人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 一人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
火葬場・駐車場・霊園											
中央立体駐車場	6,505	0	6,505	35,241	184	0	6,505	184	381	6,124	—
大田原市火葬場	27,178	36,082	63,261	1,267	49,930	6,270	69,531	54,879	20,146	49,385	29,000
中田原霊園	2,495	162	2,658	743	3,577	81	2,739	3,687	13,340	-10,600	—
実取墓地	455	8	464	237	1,959	0	464	1,959	708	-244	—
北山霊園	578	68	646	145	4,460	0	646	4,460	435	211	—
小計	37,214	36,322	73,536	37,633	1,954	6,351	79,888	2,122	35,011	44,877	29,000
公衆便所											
下町公衆便所	291	0	291	—	—	0	291	—	0	291	—
住吉町公衆便所	274	0	274	—	—	0	274	—	0	274	—
城山公衆便所	292	0	292	—	—	0	292	—	0	292	—
新富町公衆便所	280	0	280	—	—	0	280	—	0	280	—
本町公衆便所	849	0	849	—	—	161	1,010	—	0	1,010	—
野崎駅前公衆便所	496	0	496	—	—	238	734	—	0	734	—
佐久山公衆便所	538	0	538	—	—	55	593	—	0	593	—
前田集会所脇公衆便所	168	0	168	—	—	18	186	—	0	186	—
田町ロータリー待合室トイレ	793	0	793	—	—	1,556	2,349	—	0	2,349	—
余瀬集会所前公衆便所	294	0	294	—	—	0	294	—	0	294	—
桧木沢公衆便所	15	0	15	—	—	0	15	—	0	15	—
玉藻稲荷神社前公衆便所	189	0	189	—	—	0	189	—	0	189	—
高岩神社前公衆便所	198	0	198	—	—	93	291	—	0	291	—
黒羽商工会館前公衆便所	232	0	232	—	—	0	232	—	0	232	—
旧両郷出張所公衆便所	620	0	620	—	—	0	620	—	0	620	—
雲岩寺前公衆便所	1,329	0	1,329	—	—	147	1,476	—	0	1,476	—
須佐木公衆便所	158	0	158	—	—	13	171	—	0	171	—
須賀川ポケットパーク公衆便所	133	0	133	—	—	60	193	—	0	193	—
小計	7,149	0	7,149	0	0	2,345	9,494	0	0	9,494	0
普通財産											
あらまち蔵屋敷	1,339	0	1,339	—	—	0	1,339	—	0	1,339	—
すずらん作業所	0	0	0	—	—	444	444	—	0	444	—
シルバー人材センター・土地改良区事務所	0	0	0	—	—	379	379	—	0	379	—
催事関連物品保管倉庫	0	0	0	—	—	60	60	—	0	60	—
城山倉庫	2	0	2	—	—	146	149	—	0	149	—
旧住吉自修館	0	0	0	—	—	173	173	—	0	173	—
旧大田原労働基準監督署	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧親園児童館	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
シルバー人材センター業務作業所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
南区東・南区西自治公民館	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧片田小学校	1,196	38	1,235	—	—	16,566	17,801	—	0	17,801	—
旧黒羽プール	0	0	0	—	—	1,041	1,041	—	0	1,041	—
旧黒羽中学校	2,324	54	2,379	—	—	20,700	23,079	—	0	23,079	—
旧黒羽支所	0	0	0	—	—	2,235	2,235	—	0	2,235	—
旧黒羽給食センター	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
法人活動事務所施設	0	0	0	—	—	105	105	—	0	105	—
黒羽石造倉庫	30	1	32	—	—	308	340	—	0	340	—
下町二区自治公民館	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧寒井児童館	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
旧寒井学童保育館	0	0	0	—	—	2,165	2,165	—	0	2,165	—
旧寒井小学校	1,016	28	1,045	—	—	10,037	11,082	—	0	11,082	—
旧川西中学校	1,360	54	1,414	—	—	16,325	17,740	—	0	17,740	—
旧蜂巢小学校	861	65	927	—	—	1,053	1,980	—	0	1,980	—
旧須佐木小学校	1,161	31	1,193	—	—	11,662	12,855	—	0	12,855	—
小計	9,295	273	9,569	0	0	83,407	92,976	0	0	92,976	0
合計	53,658	36,596	90,255	37,633	2,398	92,104	182,359	4,845	35,011	147,348	29,000

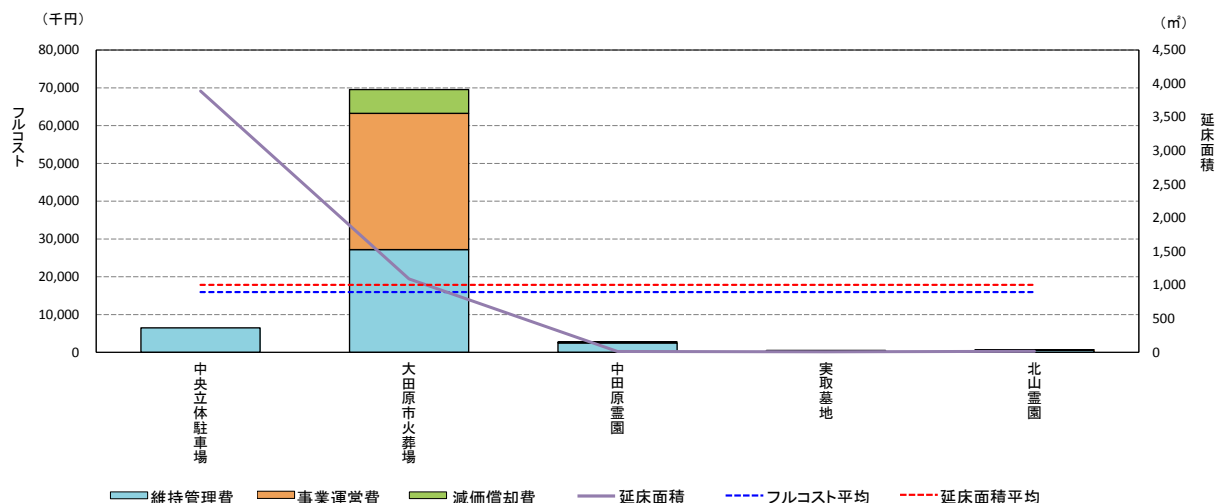
火葬場・駐車場・霊園の延利用者数は合計 37,633 人で、施設にかかるフルコストは合計 79,888 千円です。

公衆便所の施設にかかるフルコストは 9,494 千円です。

普通財産の施設にかかるフルコストは 92,976 千円です。

① 〔その他施設〕火葬場・駐車場・霊園の状況

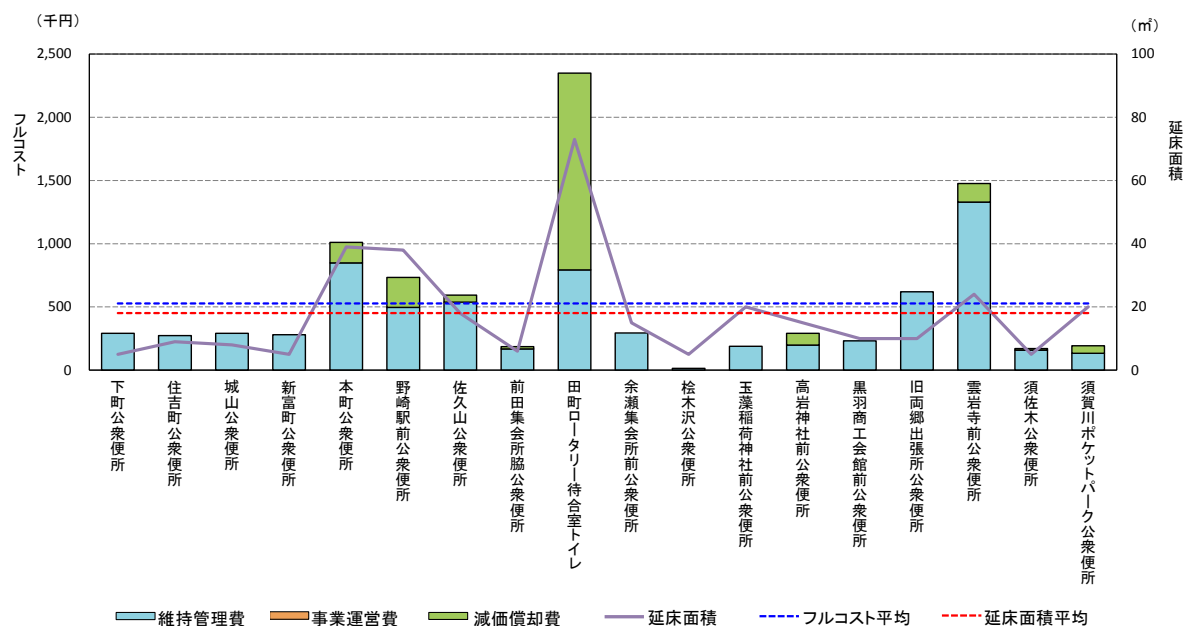
図 4-20-2 火葬場・駐車場・霊園のフルコストと延床面積



火葬場・駐車場・霊園のうち、延床面積が最も広いのは、中央立体駐車場の 3,889 ㎡で、次いで大田原市火葬場の 1,093 ㎡です。また、フルコストが最も高いのは、大田原市火葬場の 69,531 千円で、次いで中央立体駐車場の 6,505 千円です。

② 〔その他施設〕公衆便所の状況

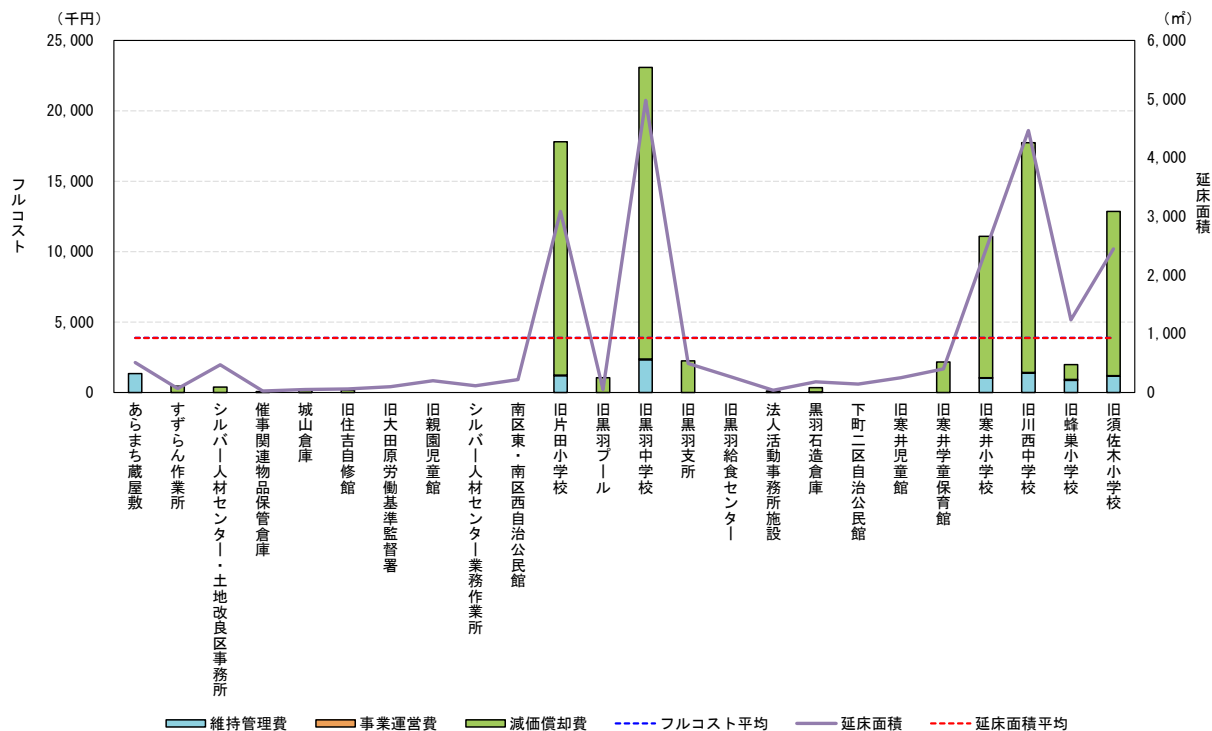
図 4-20-3 公衆便所のフルコストと延床面積



公衆便所のうち、延床面積が最も広いのは、田町ロータリー待合室トイレの 73 ㎡で、次いで本町公衆便所の 39 ㎡です。また、公衆便所のうち、フルコストが最も高いのは、田町ロータリー待合室トイレの 2,349 千円で、次いで雲岩寺前公衆便所の 1,476 千円です。

③ 〔その他施設〕普通財産¹⁵の状況

図 4-20-4 普通財産のフルコストと延床面積



普通財産のうち、延床面積が最も広いのは、旧黒羽中学校の 4,978 ㎡で、次いで旧川西中学校の 4,464 ㎡です。また、フルコストが最も高いのは、旧黒羽中学校の 23,079 千円で、次いで旧片田小学校の 17,801 千円です。

なお、普通財産は、売却も含めた検討が必要です。

¹⁵ 普通財産とは、行政財産以外の一切の国有財産と公有財産をいいます。(国有財産法 3 条 3 項, 地方自治法 238 条 3 項) 例としては、行政財産であったものが不用となった財産などであり、原則として特定の行政目的に直接供されることがない財産のことをいいます。